

豊田市美術館年報

平成10年度

No.3

目次

常設展

- 4 ―― 平成10年度第1期常設展示
- 7 ―― テーマ展示 アルテ・ポーヴェラ
- 9 ―― 平成10年度第2期常設展示
- 13 ―― テーマ展示 李禹煥
- 15 ―― テーマ展示 ウィーンのデザイン
- 17 ―― 平成10年度第3期常設展示
- 21 ―― 平成10年度第4期常設展示
- 25 ―― テーマ展示 トニー・クラッグ
- 27 ―― テーマ展示 M.C.エッシャー
- 29 ―― テーマ展示 池田恒象
- 31 ―― 高橋節郎館 (常設展示)

企画展

- 35 ―― デ・スタイル 1917-1932
- 44 ―― なぜ、これがアートなの？
- 48 ―― ヴァチカン美術館展 中世のフレスコ画
- 50 ―― ジャン・アルプ&ゾフィー・トイベル=アルプ

作品管理

- 56 ―― 所蔵作品一覧
- 57 ―― 平成10年度購入作品・寄贈作品
- 68 ―― 平成10年度作品貸出実績

教育普及

- 69 ―― 講座、カタログ、ミュージアムグッズ、広報用印刷
- 70 ―― 視聴覚資料一覧
- 71 ―― 視聴覚資料一覧・蔵書数一覧
- 72 ―― 美術館学習・博物館学習

利用実績

- 73 ―― 観覧者数
- 74 ―― ギャラリー・図書閲覧室

組織

- 75 ―― 組織図
- 76 ―― 美術品選定委員会、ボランティア

関係法規

- 77 ―― 豊田市美術館条例
- 78 ―― 豊田市美術館管理規則

- 80 ―― 沿革

凡例

・常設展示、企画展示の出品作品および購入作品・寄贈作品のデータは、原則として以下の通りに記した。
作家名(デザイン作品においては設計者名)
作品名
制作年
技法/素材
寸法(縦×横×奥行、高さはH、直径はφで表示、単位cm)
所蔵者
不明な項目は記載していない。また、常設展示と購入作品・寄贈作品における所蔵者「豊田市美術館」の記載も省略した。

平成10年度第1期常設展示

平成10年3月31日(火)―6月21日(日) 《73日間》

出品作品

展示室2

1
宮島達男
カウンター・ルーム
1989-96年
発光ダイオード、I C、電線、アルミニウム・パネル
18.0×680.0×680.0

展示室3

2
トニー・クラッグ
スペクトラム
1979年
拾集されたプラスチックの破片
250.0×500.0

3
トニー・クラッグ
無題(棚に置いた5本のボトル)
1982年
プラスチック・ボトル
26.0×60.5×11.0

4
プリンキー・パレルモ
無題(セロニアス・モンクに捧げる)
1973年
合板、塗料、鏡
22.2×89.6×3.2

5
ジュゼッペ・ペノーネ
解剖学3
1993年
大理石、水、モーター
130.0×60.0×60.0

6
ジュゼッペ・ペノーネ
まぶた
1989-91年
木炭/布、石膏
800.0×400.0

7
ジュゼッペ・ペノーネ
息吹 No.7
1978年
テラコッタ
168.0×72.0×65.0

展示室4

8
ジャン・アルブ
ひと、ひげ、へそ
1928-29年
木に着色
80.0×78.8

9
ジェームズ・アンソール
愛の園
1888年
油彩/カンヴァス
96.0×112.0

10
ジェームズ・アンソール
キリストのブリュッセル入城
1898年
エッチング/紙
24.8×35.6

11
マックス・エルンスト
子供、馬そして蛇
1927年
油彩/カンヴァス
71.5×82.0

12
ユースフ・カーシュ
アルベルト・ジャコメティ
1965年
ゼラチン・シルバープリント
48.9×39.1

13
グスタフ・クリムト
オイゲニア・プリマフェージの肖像
1913/14年
油彩/カンヴァス
140.0×85.0

14
マックス・クリンガー
ミュースの頭部
1890年以降
大理石に着色
H31.8

15
オスカー・ココシユカ
絵筆を持つ自画像
1914年
油彩/カンヴァス
82.3×66.0

16
オスカー・ココシユカ
コロナ II
1918年
リトグラフ、クレヨン/紙
60.6×47.0

17
エゴン・シーレ
カール・グリュンヴァルトの肖像
1917年
油彩/カンヴァス
140.7×110.2

18
エゴン・シーレ
座る少女:ステファニー・グリュンヴァルト
1918年
クレヨン/紙
47.0×30.1

19
アルベルト・ジャコメティ
ディエゴの頭部
1953-54年
インク/紙
22.0×14.0

20
アルベルト・ジャコメティ
ディエゴの胸像
1954年
ブロンズ
H39.5

21
イヴ・タンギー
失われた鐘
1929年
油彩/カンヴァス
64.2×53.2

22
ウィレム・デ・クーニング
二人の人物
1967年
油彩/紙
90.8×60.3

23
ジャン・デュビュッフェ
存在の漏出
1950年
油彩/ハードボード
55.0×46.0

24
ゲオルグ・ハベリッツ
羊
1964年
油彩/カンヴァス
159.0×129.0

25
フランシス・ペーコン
スフィンクス
1954年
油彩/カンヴァス
151.0×116.0

26
ルネ・マグリット
人間の条件
1935年
油彩/カンヴァス
24.0×19.0
寄託作品

アルテ

平成10年7月

展示室5

27
ジョアン・ミロ
コンポジション
1933年
油彩/カンヴァス
128.0×162.0

28
エドヴァルト・ムンク
接吻
1895年
エッチング、ドライポイント/紙
32.8×26.3

29
エドヴァルト・ムンク
魅惑
1896年
リトグラフ/紙
47.2×35.8

展示室5

30
今村 紫紅
大井川
1913年
膠彩/絹布
136.0×56.0

31
梅原 龍三郎
カンヌ
1956年
油彩/カンヴァス
49.4×99.4

32
小茂田 青樹
芍薬
1925年
膠彩/絹布
127.0×43.0

33
国吉 康雄
花飾りをつけた女
1932年
油彩/カンヴァス
66.0×81.3

34
熊谷 守一
高原の秋
1935年
油彩/板
37.9×45.5

35
熊谷 守一
シヂミ蝶
1958年
油彩/板
23.6×32.8

展示室6

36
小杉 放庵
老君出関
1929年
墨、膠彩/絹布
127.7×36.0

37
富田 溪仙
吉野彩雨
1927年
墨、膠彩/絹布
128.3×42.0

38
中村 彝
髑髏のある静物
1923年
油彩/ボードカンヴァス
32.5×23.7

39
中村 正義
老子散策之図
1974年
膠彩/紙

40
藤田 嗣治
美しいスペイン女
1949年
油彩/カンヴァス
76.0×63.5

41
前田 寛治
I子像
1928年
油彩/カンヴァス
90.6×72.8

42
安田 靱彦
波上巖光
1942年
膠彩/紙
151.0×56.0

43
山口 長男
三ツ円A
1949年
油彩/カンヴァス
195.0×300.0

44
李 禹煥
廢墟へ
1986年
ドライポイント/紙
49.5×39.3

展示室6

45
小堀 四郎
ツウールの朝
1928年
油彩/カンヴァス
54.5×65.0

46
小堀 四郎
修道士の顔
1930年
油彩/カルトン
41.0×33.0

47
小堀 四郎
想ひ
1931年
油彩/カルトン
55.0×46.3

48
小堀 四郎
厨房(アトリエの一隅)
1931年
油彩/カンヴァス
55.0×46.0

49
小堀 四郎
赤衣の女 I
1931年
油彩/カンヴァス
79.0×61.0

50
小堀 四郎
パロー街の夕暮れ
1932年
油彩/カンヴァス
116.0×164.5

51
小堀 四郎
黄衣の女
1932年
油彩/カンヴァス
161.5×114.0

52
小堀 四郎
赤衣の女 II
1932年
油彩/カルトン
46.0×38.0

53
小堀 四郎
フェスの門(モロッコ)
1932年
油彩/カンヴァス
46.3×38.3

54
小堀 四郎
ナポリ風景
1933年
油彩/カンヴァス
38.3×55.3

展示室7

55
宮脇 綾子
たち魚とやがら
1961年
アブリケ
24.6×96.3

56
宮脇 綾子
熱帯魚
1969年
アブリケ
29.8×60.0

57
宮脇 綾子
洋酒瓶
1970年
アブリケ
65.5×53.3

58
宮脇 綾子
山うど
1976年
アブリケ
26.7×23.6

59
宮脇 綾子
リーガルベゴニア
1980年
アブリケ
56.5×50.5

60
宮脇 綾子
小魚の群れ
1985年
アブリケ
30.7×46.7

61
宮脇 綾子
骨・美味なり
1986年
アブリケ
54.5×49.5

62
宮脇 晴
ハンモックの少女
1933年
油彩/カンヴァス
90.9×116.7

63
宮脇 晴
少女の像
1923年
油彩/カンヴァス
45.5×37.9

64
宮脇 晴
藪の道
1921年
油彩/カンヴァス
45.5×37.9

65
宮脇 晴
子供たちと母
1942年
油彩/カンヴァス
97.0×130.3

66
宮脇 晴
葡萄を食べる子
1934年
油彩/カンヴァス
73.0×100.0

67
宮脇 晴
庭の浴室
1976年
油彩/カンヴァス
72.7×60.6

アルテ・ポーヴェラ

平成9年7月1日(火)ー平成10年6月21日(日) 《301日間》 展示室1

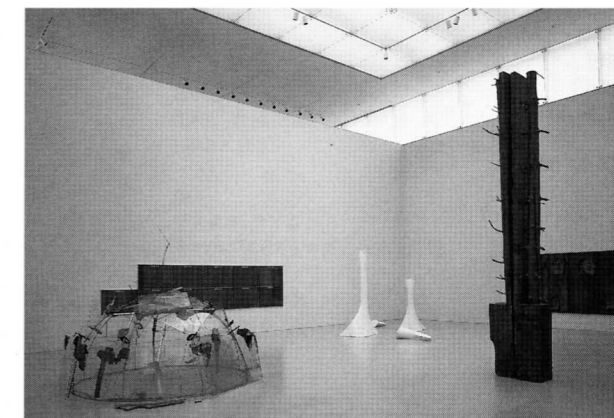
1960年代末から70年代初頭にかけて、高度なテクノロジーと資本主義社会を背景にもつ国々で、伝統的な芸術の技巧や形式によらずに日常的な素材の直接的な使用によって、新たな表現の可能性を追究した国際的な美術動向が興隆した。この動向をイタリアで代表した一派が「アルテ・ポーヴェラ(貧しい芸術)」である。この名称は評論家ジェルマーノ・チェラントによる造語であり、彼が1967年にジェノヴァで開催したグループ展のタイトルとして用いられた。以来、アルテ・ポーヴェラはイタリア戦後芸術の最も重要な美術動向として位置づけられることになった。

本展では、当時チェラントによって組織されたこの美術動向に対し、類似の課題や様式で結ばれていた6作家を取り上げ、紹介した。

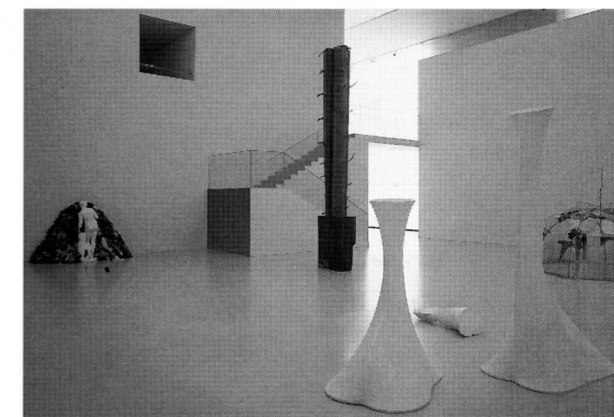
[主催] 豊田市美術館

[出品作品] 6点

[担当学芸員] 都筑正敏



展示風景



展示風景

出品作品

- 1
ヤニス・クネリス
無題
1986年
鉄、鉛、麻袋
200.0×542.0
- 2
ビーノ・パスカーリ
麒麟の斬首
1966年
美術
270.0×250.0×250.0
- 3
ミケランジェロ・ピストレット
ぼろぎれのヴィーナス
1967年
石膏、ぼろぎれ
160.0×100.0×200.0
- 4
ジュゼッペ・ペノーネ
12メートルの木
1982年
マツ
600.0×50.0×50.0
- 5
アリギエロ・ボエッティ
ONONIMO
1972-73年
インク、青のボールペン/紙
70.0×100.0、12枚組
- 6
マリオ・メルツ
明晰と不分明/不分明と明晰
1988年
ミクストメディア/鉄、ガラス、鉄、鉛、ガラス、万力、木、竹、石、ネオン管、靴、蜜蝋
H280.0 φ300.0

平成10年度第2期常設展示

平成10年6月30日(火)ー9月27日(日) 《79日間》

出品作品

展示室2

- 1
ローマン・オノヰルカ
OPALKA 1965/1-∞ デティール 2601104-2626001
1977年
アクリル/カンヴァス
192.0×135.0
- 2
ローマン・オノヰルカ
OPALKA 1965/1-∞ デティール 3395602-3411010
1981年
アクリル/カンヴァス
192.0×135.0
- 3
ローマン・オノヰルカ
OPALKA 1965/1-∞ デティール 4968512-4988005
1994年
アクリル/カンヴァス
192.0×135.0

展示室3

- 4
若林 奮
大風景
1964、91年
鉄、アルミニウム、木
54.0×134.5×55.0
- 5
若林 奮
熱変へ II
1965、92年
鉄
101.0×30.0×42.0

- 6
若林 奮
立体ノートー気体、固体、液体、現在 1
1973年
木、グワッシュ、インク
35.1×14.9×5.5

- 7
若林 奮
立体ノートー気体、固体、液体、現在 2
1974年
木、釘
21.5×15.1×15.3

- 8
若林 奮
立体ノートー気体、固体、液体、現在 3
1974年
木、グワッシュ
35.2×15.0×8.0

9

- 若林 奮
立体ノートー気体、固体、液体、現在 4
1974年
木
24.0×19.3×19.7

- 10
若林 奮
立体ノートー気体、固体、液体、現在 5
1974年
木、グワッシュ、インク
13.0×14.0×21.3

- 11
若林 奮
立体ノートー気体、固体、液体、現在 6
1974年
木、インク
23.3×16.9×17.0

- 12
若林 奮
立体ノートー気体、固体、液体、現在 7
1974年
木、インク
6.5×6.7×40.1

- 13
若林 奮
立体ノートー気体、固体、液体、現在 8
1974年
木、インク
19.0×14.0×6.8

- 14
若林 奮
胡桃の葉
1994-96年
胡桃の葉、銅、紙、木、鉄、アルミニウム、インク
インスタレーション・サイズ

展示室4

- 15
マックス・エルンスト
王妃とチェスをする王
1944年(1954年鑄造)
ブロンズ
97.8×52.3×46.4

- 16
マックス・エルンスト
子供、馬そして蛇
1927年
油彩/カンヴァス
71.5×82.0

- 17
ユーサフ・カーシュ
アルベルト・ジャコメッティ
1965年
ゼラチン・シルバープリント
48.9×39.1

18

- イヴ・クライン
モノクローム プルー
1960年
顔料、合成樹脂/カンヴァス
199.0×152.5

- 19
グスタフ・クリムト
オイゲニア・ブリマフェージュの肖像
1913/14年
油彩/カンヴァス
140.0×85.0

- 20
マックス・クリンガー
ミュースの頭部
1890年以降
大理石に着色
H31.8

- 21
オスカー・ココシユカ
絵筆を持つ自画像
1914年
油彩/カンヴァス
82.3×66.0

- 22
エゴン・シーレ
レオポルト・ツイハチェックの肖像
1907年
油彩/カンヴァス
149.8×49.7

- 23
エゴン・シーレ
カール・グリュンヴァルトの肖像
1917年
油彩/カンヴァス
140.7×110.2

- 24
アルベルト・ジャコメッティ
ディエゴの頭部
インク/紙
1953-54年
22.0×14.0

- 25
アルベルト・ジャコメッティ
ディエゴの胸像
1954年
ブロンズ
H39.5

- 26
イヴ・タンギー
失われた鐘
1929年
油彩/カンヴァス
64.2×53.2

27
ウィレム・デ・クーニング
二人の人物
1967年
油彩/紙
90.8×60.3

28
ジャン・デュブッフ
存在の漏出
1950年
油彩/ハードボード
55.0×46.0

29
ゲオルグ・パゼリッツ
羊
1964年
油彩/カンヴァス
159.0×129.0

30
ルーチョ・フォンターナ
空間概念 N3
1959, 60年
ブロンズ
φ 60.0

31
フランシス・ペーコン
スフィンクス
1954年
油彩/カンヴァス
151.0×116.0

32
マリノ・マリーニ
奇跡 (小)
1955年
ブロンズ
43.5×45.4×15.9

33
ピエロ・マンゾーニ
無色
1960年
カオリン/カンヴァス
80.0×60.0

34
ジョアン・ミロ
コンポジション
1933年
油彩/カンヴァス
128.0×162.0

展示室5

35
香月 泰男
里芋
1959年
油彩/カンヴァス
41.0×24.3
寄託作品

10

36
香月 泰男
山茶花
1960年頃
油彩/カンヴァス
29.3×21.5
寄託作品

37
香月 泰男
脱衣
1960年頃
油彩/カンヴァス
33.5×21.3
寄託作品

38
香月 泰男
鯛
1960年頃
油彩/カンヴァス
19.5×14.5
寄託作品

39
杉全 直
作品 10
1960年
油彩、アクリル/カンヴァス
145.5×96.0

40
斎藤 義重
作品 10
1961年
油彩/合板
181.4×121.2

41
猪熊 弦一郎
都市概念
1966年
油彩/カンヴァス
194.0×112.0

42
小清水 漸
Relief 80-1
1980年
サクラ
198.0×180.0×7.5

43
河井 寛次郎
鐵葉菱花文喰籠
1943年頃
陶磁
14.5×17.5×17.0

44
河井 寛次郎
象嵌草花扁壺
1941年頃
陶磁
22.3×24.0×14.5

45
河井 寛次郎
鉄軸赤青碗
1960年頃
陶磁
H9.9、φ 10.2

46
河井 寛次郎
碧釉扁壺
1964年
陶磁
19.5×21.0×21.0

47
黒田 辰秋
赤漆彫華紋飾手篋
1941年
赤漆/ヒノキ
17.0×33.0×23.5

48
黒田 辰秋
螺鈿牡丹紋手篋
1941年頃
螺鈿/鮑貝、漆
13.8×36.3×20.6

49
黒田 辰秋
拭漆文櫛木飾棚
1960年
拭漆/ケヤキ
102.0×176.5×45.4

50
黒田 辰秋
拭漆櫛飾棚
1970年
拭漆/ケヤキ
98.1×175.2×33.5

51
黒田 辰秋
拭漆栴檀李飾篋
1974年
拭漆/トチ
17.8×27.6×12.0

52
黒田 辰秋
楠李拭漆器局
1970年代
拭漆/クス
51.0×48.5×36.7

53
黒田 辰秋
鳶金輪寺茶器
1961-63年
拭漆/ツタ
H8.2、φ 7.5

54
黒田 辰秋
紙刀
拭漆/トチ
4.5×37.5

55
黒田 辰秋
黒柿紙刀
拭漆/カキ
4.0×36.4×1.8

56
黒田 辰秋
乾漆梅花盆
乾漆/漆
3.1、φ 26.6
寄託作品

57
黒田 辰秋
螺鈿大名縞中次
螺鈿/白蝶貝、漆
6.6、φ 6.0
寄託作品

58
黒田 辰秋
赤漆捻四稜棗
赤漆
8.4、φ 8.2

59
黒田 辰秋
茶杓 銘「松風」
竹
2.0×1.4×21.3

60
黒田 辰秋
飾棚のためのデザイン
1960年頃
鉛筆/紙
25.7×35.5

61
黒田 辰秋
飾棚のためのスケッチ
1960年頃
鉛筆/紙
27.1×37.5

62
黒田 辰秋
接合のためのプラン
1960年頃
鉛筆/紙
27.1×35.5

63
黒田 辰秋
欄金具のためのデザイン
1960年頃
鉛筆/紙
25.0×35.8

64
黒田 辰秋
木取りのためのプラン
1955-64年
鉛筆/紙
38.7×48.6

65
黒田 辰秋
2つの飾棚のためのスケッチ
1955-64年
鉛筆/紙
27.0×37.5

66
黒田 辰秋
香合のためのスケッチ
1945-64年
鉛筆/紙
25.6×33.6

67
黒田 辰秋
器局のためのスケッチ
1955-74年
鉛筆/紙
25.6×34.0

68
黒田 辰秋
茶器のためのデザイン
1955-70年
鉛筆/紙
37.5×54.0

69
黒田 辰秋
飾棚のためのスケッチ
1965-74年
鉛筆/紙
25.7×35.8

70
黒田 辰秋
飾棚のためのデザイン
1965-74年
鉛筆/紙
26.8×35.6

展示室6

71
小堀 四郎
桃
1938年
油彩/カルトン
46.3×55.0

72
小堀 四郎
中勘助像
1938年
油彩/カンヴァス
65.0×53.5

73
小堀 四郎
老人像
1939年
油彩/カンヴァス
62.0×51.0

74
小堀 四郎
早春 (柿生)
1941年
油彩/カンヴァス
60.7×72.7

75
小堀 四郎
鶴川風景 (夏)
1944年
油彩/カンヴァス
73.0×54.0

76
小堀 四郎
鶴川風景 (ひぐらし)
1944年
油彩/カンヴァス
73.0×51.0

77
小堀 四郎
冬の花束
1946年
油彩/カンヴァス
63.0×50.0

78
小堀 四郎
高原の夕陽
1947年
油彩/カンヴァス
65.5×91.0

79
小堀 四郎
妻の像
1949年
油彩/板
41.0×32.0

80
小堀 四郎
小梨と藤
1950年
油彩/カンヴァス
117.0×80.3

81
小堀 四郎
秋の星
1953年
油彩/カンヴァス
41.0×53.0

82
小堀 四郎
冬の星
1953年
油彩/カンヴァス
45.5×65.5

83
小堀 四郎
花火
1955年
油彩/カンヴァス
80.5×60.0

展示室7

84
宮脇 綾子
ごぼう
1986年
アブリケ
49.5×43.2

85
宮脇 綾子
日野菜
1970年
アブリケ
32.5×19.5

86
宮脇 綾子
吊った干しえび
1983年
アブリケ
76.8×59.0

87
宮脇 綾子
筍
1977年
アブリケ
97.2×72.5

88
宮脇 綾子
鱈の裏
1977年
アブリケ
37.8×28.7

89
宮脇 綾子
切った玉ねぎ
1965年
アブリケ
31.5×28.5

90
宮脇 綾子
たこ
1965年
アブリケ
94.5×71.6

91
宮脇 綾子
うど
1970年
アブリケ
89.0×60.0

92
宮脇 綾子
もようはた
1974年
アブリケ
33.6×31.5

93
宮脇 綾子
がらてや
1975年
アブリケ
22.0×14.7

94
宮脇 綾子
えんどう
1977年
アブリケ
13.5×44.6

95
宮脇 綾子
ひの菜
1978年
アブリケ
45.7×43.8

96
宮脇 綾子
甘夏みかんと柚子
1978年
アブリケ
34.0×34.5

97
宮脇 綾子
鶴亀模様の鯛
1979年
アブリケ
45.3×82.4

98
宮脇 綾子
赤い蟹
1981年
アブリケ
29.5×57.5

99
宮脇 綾子
横向きのえび
1982年
アブリケ
53.0×74.5

100
宮脇 綾子
とうもろこし
1983年
アブリケ
42.2×32.0

101
宮脇 綾子
ひょうたんと唐辛子
1984年
アブリケ
34.5×44.5

ギャラリー

102
トニー・クラッグ
無題(棚に置いた5本のボトル)
1982年
プラスチック・ボトル
26.0×60.5×11.0

103
堀内 正和
D氏の骨ぬきサイコロ
1964年
ブロンズ
53.5×18.0×18.0

李 禹煥

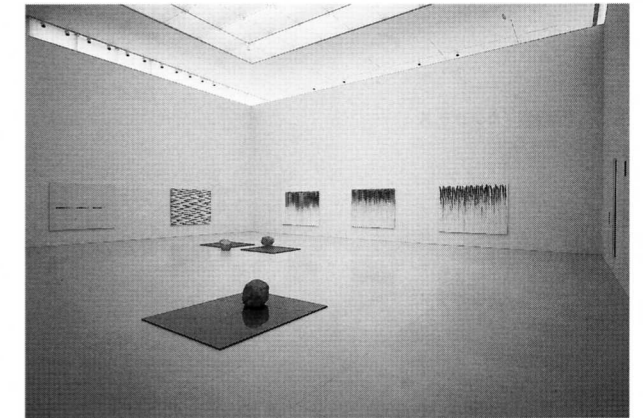
平成10年6月30日(火)ー12月24日(木) 《155日間》 展示室1

李禹煥の絵画が明快な展開を示すのは、1973年に始まった《点より》《線より》のシリーズ以降である。82年には《風より》、87年には《風と共に》、さらに92年には《照応》のシリーズが登場する。李禹煥は、本館において最も充実したコレクションが形成されている作家のひとりである。このテーマ展はコレクションの中から選んだ絵画9点と、新たに再制作された彫刻《関係項》3点によって、70年代から現在にいたる李禹煥の「感性と論理の軌跡」を作家自身の展示によって、概観しようとしたものである。

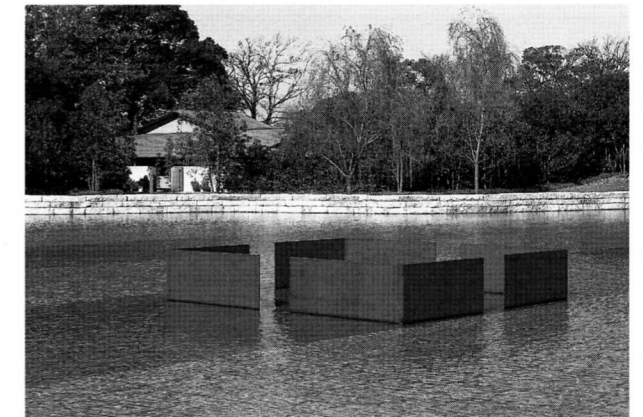
[主催] 豊田市美術館

[出品作品] 12点

[担当学芸員] 青木正弘



展示風景



展示風景

出品作品

1
李 禹煥
照応
1993年
油彩、岩絵具/カンヴァス
218.0×291.0

2
李 禹煥
照応
1995年
油彩、岩絵具/カンヴァス
259.0×194.0

3
李 禹煥
線より
1981年
膠彩/カンヴァス
194.0×259.0

4
李 禹煥
点より
1978年
膠彩/カンヴァス
181.5×227.2

5
李 禹煥
線より
1978年
膠彩/カンヴァス
194.0×259.0

6
李 禹煥
点より
1980年
182.0×227.0

7
李 禹煥
線より
1977年
油彩、岩絵具
182.0×227.0

8
李 禹煥
関係項
1969, 1998年

9
李 禹煥
風より
1985年

10
李 禹煥
関係項
1991, 1998年

11
李 禹煥
関係項
1968, 1998年

12
李 禹煥
照応
1998年
H280.0 φ 300.0

ウィーン的设计

平成10年7月7日(火)ー8月16日(日) 《36日間》 展示室9

合理的で機能性を重視した建築家オットー・ヴァグナーの郵便貯金局や、その弟子のヨーゼフ・ホフマンが設計したサナトリウム・プルカースドルフを、当時実際に使われていた家具を通して紹介。また、ホフマンが友人コロマン・モーザーとともに設立したウィーン工房の活動も取り上げ、19世紀末から今世紀にかけてウィーンで活躍した建築家やデザイナーの作品を展示した。

[主催] 豊田市美術館/(財)豊田市美術文化振興財団

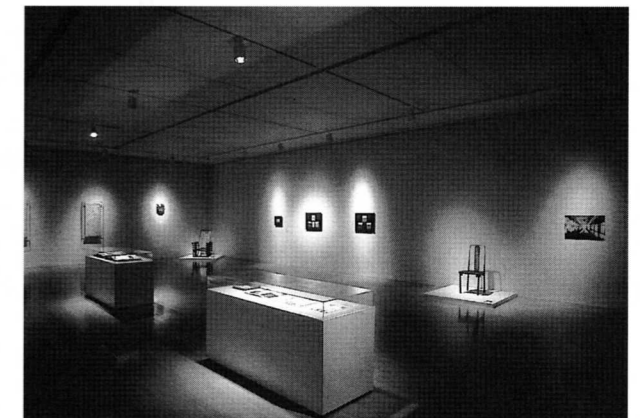
[出品作品] 17点

[印刷物] カタログ:A4判変形(29.7×22.4cm/20ページ)

[担当学芸員] 田境志保



カタログ



展示風景

出品作品

- 1
オットー・ヴァーグナー
郵便貯金局内証券取引所のアームチェア
1912-13年頃
ブナ、ビロード
79.0×58.5×51.5
- 2
オットー・ヴァーグナー
郵便貯金局会議室のアームチェア
1906年
ブナ、ビロード、アルミニウム
77.8×56.3×56.0
- 3
オットー・ヴァーグナー
郵便貯金局大ホールの筆記机
1904-06年頃
ブナ、アルミニウム
109.5×108.5×67.0
- 4
ヨーゼフ・ホフマン
サナトリウム・ブルカースドルフの食堂の椅子
1904年
ブナ、革
98.7×43.8×40.5
- 5
ヨーゼフ・ホフマン
サナトリウム・ブルカースドルフの待合室の壁面照明器具
1904-05年
洋銀、ガラス
30.0×30.0×15.7
- 6
ヨーゼフ・ホフマン
リクライニング・チェア“座るためのマシーン”
1905年頃
ブナ
112.0×64.0
- 7
コロマン・モーザー
花入れ
1904年
銀、ガラス
H21.6、φ 8.5
- 8
コロマン・モーザー
椅子
1902/03年
カシ、陶
122.0×42.5×53.0
- 9
コロマン・モーザー
アームチェア
1903年頃
ブナ、藤
71.3×67.3×65.7
- 10
ウィーン工房の封筒(5種類)
紙に印刷
- 11
ウィーン工房の便箋(2種類)
紙に印刷
- 12
ダゴベルト・ベッヒェ
壁紙“ダフネ”
1914年頃
紙に印刷
- 13
ダゴベルト・ベッヒェ
壁紙“アンティノウス”
1922年
紙に印刷
- 14
フライズ織見本帳(2冊)
紙に印刷
45.5×32.5×8.0
- 15
壁紙色見本(7種類)
紙に印刷
各15.8×13.5
- 16
『ディ・フレッヒェ』
1903-04年
リトグラフ/紙
32.5×20.5
- 17
『ウィーン工房：近代工芸とその歩み』
構成：マチルデ・フレグル
装丁：ヴァリー・ヴィーゼルチール、
グドルン・ハウディッシュ
1929年
23.0×22.0

平成10年度第3期常設展示

平成10年9月29日(火)～12月24日(木) 《76日間》

出品作品

- 展示室2
- 1
ローマン・オノバルカ
OPALKA 1965/1-∞ デティール 2601104-2626001
1977年
アクリル/カンヴァス
192.0×135.0
- 2
ローマン・オノバルカ
OPALKA 1965/1-∞ デティール 3395602-3411010
1981年
アクリル/カンヴァス
192.0×135.0
- 3
ローマン・オノバルカ
OPALKA 1965/1-∞ デティール 4968512-4988005
1994年
アクリル/カンヴァス
192.0×135.0
- 展示室3
- 4
若林 奮
大風景
1964, 91年
鉄、アルミニウム、木
54.0×134.5×55.0
- 5
若林 奮
熱変へ II
1965, 92年
鉄
101.0×30.0×42.0
- 6
若林 奮
立体ノートー気体、固体、液体、現在1
1973年
木、グワッシュ、インク
35.1×14.9×5.5
- 7
若林 奮
立体ノートー気体、固体、液体、現在2
1974年
木、釘
21.5×15.1×15.3
- 8
若林 奮
立体ノートー気体、固体、液体、現在3
1974年
木、グワッシュ
35.2×15.0×8.0
- 9
若林 奮
立体ノートー気体、固体、液体、現在4
1974年
木
24.0×19.3×19.7
- 10
若林 奮
立体ノートー気体、固体、液体、現在5
1974年
木、グワッシュ、インク
13.0×14.0×21.3
- 11
若林 奮
立体ノートー気体、固体、液体、現在6
1974年
木、インク
23.3×16.9×17.0
- 12
若林 奮
立体ノートー気体、固体、液体、現在7
1974年
木、インク
6.5×6.7×40.1
- 13
若林 奮
立体ノートー気体、固体、液体、現在8
1974年
木、インク
19.0×14.0×6.8
- 14
若林 奮
胡桃の葉
1994-96年
胡桃の葉、銅、紙、木、鉄、アウミニウム、インク
インスタレーション・サイズ
- 展示室4
- 15
マックス・エルンスト
子供、馬そして蛇
1927年
油彩/カンヴァス
71.5×82.0
- 16
グスタフ・クリムト
《オイゲニア・プリマフェージュの肖像》のための
デッサン
1913/14年
鉛筆、クレヨン/紙
45.2×31.6
- 17
グスタフ・クリムト
オイゲニア・プリマフェージュの肖像
1913/14年
油彩/カンヴァス
140.0×85.0
- 18
グスタフ・クリムト
《エルミース・ガリアの肖像》の習作
1903/04年
鉛筆/紙
45.2×31.6
- 19
マックス・クリンガー
ミュージズの頭部
1890年以降
大理石に着色
H31.8
- 20
オスカー・ココシュカ
絵筆を持つ自画像
1914年
油彩/カンヴァス
82.3×66.0
- 21
オスカー・ココシュカ
コロナ I
1918年
リトグラフ、クレヨン/紙
55.7×40.3
- 22
エゴン・シーレ
レオポルト・ツィノチェックの肖像
1907年
油彩/カンヴァス
149.8×49.7
- 23
エゴン・シーレ
カール・グリュンヴァルトの肖像
1917年
油彩/カンヴァス
140.7×110.2
- 24
エゴン・シーレ
男性裸像(自画像) I
1912年
リトグラフ/和紙
44.8×40.0
- 25
イヴ・タンギー
失われた鐘
1929年
油彩/カンヴァス
64.2×53.2
- 26
ウィレム・デ・クーニング
二人の人物
1967年
油彩/紙
90.8×60.3

- 27
 ジャン・デュビュッフェ
 存在の漏出
 1950年
 油彩/ハードボード
 55.0×46.0
- 28
 ゲオルグ・ハゼリッツ
 羊
 1964年
 油彩/カンヴァス
 159.0×129.0
- 29
 フォンターナ
 空間概念 N3
 1959-60年
 ブロンズ
 φ 60.0
- 30
 コンスタンティン・ブランクーシ
 眠る幼児
 1907年(1960-62年鑄造)
 ブロンズ
 10.6×16.3×14.2
- 31
 コンスタンティン・ブランクーシ
 若い男のトルソ II
 1924(1973年鑄造)
 ブロンズ
 41.7×27.6×13.9
- 32
 フランシス・ペーコン
 スフィンクス
 1954年
 油彩/カンヴァス
 151.0×116.0
- 33
 ルネ・マグリット
 人間の条件
 1935年
 油彩/カンヴァス
 24.0×19.0
 寄託作品
- 34
 マリノ・マリーニ
 奇跡(小)
 1955年
 ブロンズ
 43.5×45.4×15.9
- 35
 アルトゥーロ・マルティーニ
 少年の胸像
 1928年(1950年頃鑄造)
 ブロンズ
 77.2×36.7×21.8

- 36
 ジョアン・ミロ
 コンポジション
 1933年
 油彩/カンヴァス
 128.0×162.0

展示室5

- 37
 今村 紫紅
 秋風五丈原
 1907年
 膠彩/絹布
 165.0×112.4

- 38
 香月 泰男
 里芋
 1959年
 油彩/カンヴァス
 41.0×24.3
 寄託作品

- 39
 香月 泰男
 山茶花
 1960年
 油彩/カンヴァス
 29.3×21.5
 寄託作品

- 40
 香月 泰男
 脱衣
 1960年
 油彩/カンヴァス
 33.5×21.3
 寄託作品

- 41
 香月 泰男
 鮎
 1960年
 油彩/カンヴァス
 19.5×14.5
 寄託作品

- 42
 国吉 康雄
 花飾りをつけた女
 1932年
 油彩/カンヴァス
 66.0×81.3

- 43
 熊谷 守一
 高原の秋
 1935年
 油彩/板
 37.9×45.5

- 44
 小杉 放庵
 老君出関
 1929年
 墨、膠彩/絹布
 127.7×36.0

- 45
 島海 青児
 家竝
 1955年
 油彩/カンヴァス
 49.0×60.0
 寄託作品

- 46
 中村 彝
 少女の像
 1912年
 油彩/カンヴァス
 32.5×23.0

- 47
 中村 彝
 欄腰のある静物
 1923年
 油彩/ボードカンヴァス
 32.5×23.7

- 48
 速水 御舟
 菊に猫
 1922年
 膠彩/絹布
 130.6×50.1

- 49
 菱田 春草
 鹿
 1909年
 膠彩/絹布
 128.0×51.0

- 50
 藤田 嗣治
 美しいスペイン女
 1949年
 油彩/カンヴァス
 76.0×63.5

- 51
 藤田 嗣治
 自画像
 1943年
 油彩/カンヴァス
 23.0×15.0

- 52
 前田 寛治
 I子像
 1928年
 油彩/カンヴァス
 90.6×72.8

- 53
 山口 長男
 三ツノ門A
 1949年
 油彩/カンヴァス
 195.0×300.0

- 54
 横山 大観
 達磨
 1907年
 膠彩/絹布
 148.2×57.2

- 55
 横山 大観
 焚火
 1914年
 膠彩、墨/絹布
 162.7×183.8

展示室6

- 56
 小堀 四郎
 桃
 1938年
 油彩/カルトン
 46.3×55.0

- 57
 小堀 四郎
 中勘助像
 1938年
 油彩/カンヴァス
 65.0×53.5

- 58
 小堀 四郎
 老人像
 1939年
 油彩/カンヴァス
 62.0×51.0

- 59
 小堀 四郎
 早春(柿生)
 1941年
 油彩/カンヴァス
 60.7×72.7

- 60
 小堀 四郎
 鶴川風景(夏)
 1944年
 油彩/カンヴァス
 73.0×54.0

- 61
 小堀 四郎
 鶴川風景(ひぐらし)
 1944年
 油彩/カンヴァス
 73.0×51.0

- 62
 小堀 四郎
 冬の花束
 1946年
 油彩/カンヴァス
 63.0×50.0

- 63
 小堀 四郎
 高原の夕陽
 1947年
 油彩/カンヴァス
 65.5×91.0

- 64
 小堀 四郎
 妻の像
 1949年
 油彩/板
 41.0×32.0

- 65
 小堀 四郎
 小梨と藤
 1950年
 油彩/カンヴァス
 117.0×80.3

- 66
 小堀 四郎
 秋の星
 1953年
 油彩/カンヴァス
 41.0×53.0

- 67
 小堀 四郎
 冬の星
 1953年
 油彩/カンヴァス
 45.5×65.5

- 68
 小堀 四郎
 花火
 1955年
 油彩/カンヴァス
 80.5×60.0

展示室7

- 69
 宮脇 綾子
 稚芽
 1975年
 アプリケ
 90.0×35.5

- 70
 宮脇 綾子
 するめ
 1958年
 アプリケ
 32.5×37.5

- 71
 宮脇 綾子
 枝のついた柿
 1979年
 アプリケ
 33.0×53.3

- 72
 宮脇 綾子
 鴨(背)
 1953年
 アプリケ
 51.5×41.0

- 73
 宮脇 綾子
 鴨(腹)
 1953年
 アプリケ
 51.5×41.0

- 74
 宮脇 綾子
 散歩道でみつけた草
 1986年
 アプリケ
 46.5×31.6

- 75
 宮脇 綾子
 掘りたての馬鈴薯
 1980年
 アプリケ
 36.5×30.5

- 76
 宮脇 綾子
 彼岸花
 1982年
 アプリケ
 55.5×31.5

- 77
 宮脇 綾子
 まんじゅしゃげ
 1982年
 アプリケ
 44.7×29.6

- 78
 宮脇 綾子
 干柿
 1955年
 アプリケ
 59.3×89.5

- 79
 宮脇 綾子
 たち魚とやがら
 1961年
 アプリケ
 24.6×96.3

- 80
宮脇 綾子
洋酒瓶
1970年
アブリケ
65.5×53.3
- 81
宮脇 綾子
あんこう
1975年
アブリケ
44.6×29.8
- 82
宮脇 綾子
きんめ鯛
1979年
アブリケ
26.2×52.5
- 83
宮脇 綾子
リーガルペゴニア
1980年
アブリケ
56.5×50.5
- 84
宮脇 綾子
魚三匹と唐辛子
1982年
アブリケ
31.0×32.5
- 85
宮脇 綾子
一卵性玉ねぎ
1985年
アブリケ
84.0×33.0
- 86
宮脇 綾子
干柿
1986年
アブリケ
43.2×38.5
- ギャラリー
- 87
トニー・クラッグ
無題(棚に置いた5本のボトル)
1982年
プラスチック・ボトル
26.0×60.5×11.0
- 88
堀内 正和
D氏の骨ぬきサイコロ
1964年
ブロンズ
53.5×18.0×18.0

平成10年度第4期常設展示

平成11年1月5日(火)ー3月28日(日) 《73日間》

出品作品

展示室2

- 1
ローマン・オノルカ
OPALKA 1965/1-∞ ディテイル 2601104-2626001
1977年
アクリル/カンヴァス
192.0×135.0
- 2
ローマン・オノルカ
OPALKA 1965/1-∞ ディテイル 3395602-3411010
1981年
アクリル/カンヴァス
192.0×135.0
- 3
ローマン・オノルカ
OPALKA 1965/1-∞ ディテイル 4968512-4988005
1994年
アクリル/カンヴァス
192.0×135.0

展示室3

- 4
河原 温
OCT. 21, 1981
1981年
アクリル/カンヴァス、新聞紙、厚紙
45.5×61.5
- 5
河原 温
MAY 16, 1971
1971年
アクリル/カンヴァス
25.5×33.0
- 6
河原 温
MAY 17, 1971
1971年
アクリル/カンヴァス
25.5×33.0
- 7
河原 温
MAY 18, 1971
1971年
アクリル/カンヴァス
25.5×33.0
- 8
河原 温
MAY 19, 1971
1971年
アクリル/カンヴァス
25.5×33.0
- 9
河原 温
MAY 20, 1971
1971年
アクリル/カンヴァス
25.5×33.0

- 10
河原 温
MAY 21, 1971
1971年
アクリル/カンヴァス
25.5×33.0
- 11
河原 温
MAY 22, 1971
1971年
アクリル/カンヴァス
25.5×33.0
- 12
河原 温
MAY 23, 1971
1971年
アクリル/カンヴァス
25.5×33.0
- 13
河原 温
MAY 24, 1971
1971年
アクリル/カンヴァス
25.5×33.0
- 14
河原 温
MAY 25, 1971
1971年
アクリル/カンヴァス
25.5×33.0
- 15
河原 温
MAY 26, 1971
1971年
アクリル/カンヴァス
25.5×33.0
- 16
河原 温
MAY 27, 1971
1971年
アクリル/カンヴァス
25.5×33.0
- 17
河原 温
MAY 28, 1971
1971年
アクリル/カンヴァス
25.5×33.0
- 18
河原 温
MAY 29, 1971
1971年
アクリル/カンヴァス
25.5×33.0

- 19
野村 仁
宇宙はきのこのように発生したか
1987年
ガラス、大理石
26.0×22.0×22.0
- 20
野村 仁
宇宙は収縮に転ずるか?
1989年
ガラス、大理石
38.0×23.5×28.5
- 21
野村 仁
赤道上の太陽
1989年
ゼラチン・シルバープリント/プラスチック
140.0×352.0×60.0
- 22
スタンリー・ブラウン
1×1フット上の1/10×1/10メートル
1991年
アルミニウム・シート
26.0×26.0×0.1
- 23
スタンリー・ブラウン
1×1フット上の1/10×1/10ステップ
1991年
アルミニウム・シート
26.0×26.0×0.1
- 24
スタンリー・ブラウン
1×1フット上の1/10×1/10エル
1991年
アルミニウム・シート
26.0×26.0×0.1
- 展示室4
- 25
マックス・エルンスト
子供、馬そして蛇
1927年
油彩/カンヴァス
71.5×82.0
- 26
ユーサフ・カーシュ
アルベルト・ジャコメッティ
1965年
ゼラチン・シルバープリント
48.9×39.1
- 27
イヴ・クライン
モノクローム ブルー
1960年
顔料、合成樹脂/カンヴァス
199.0×152.5

28
グスタフ・クリムト
オイゲニア・ブリマフェージの肖像
1913/14年
油彩/カンヴァス
140.0×85.0

29
マックス・クリンガー
裸婦
1914年
鉛筆, 白色のハイライト彩色/紙
71.0×32.0

30
オスカー・ココシュカ
絵筆を持つ自画像
1914年
油彩/カンヴァス
82.3×66.0

31
エゴン・シーレ
レオポルト・ツイハチェックの肖像
1907年
油彩/カンヴァス
149.8×49.7

32
エゴン・シーレ
カール・グリュンヴァルトの肖像
1917年
油彩/カンヴァス
140.7×110.2

33
アルベルト・ジャコメッティ
ディエゴの頭部
1953-54年
インク/紙
22.0×14.0

34
アルベルト・ジャコメッティ
ディエゴの胸像
1954年
ブロンズ
H39.5

35
イブ・タンギー
失われた鐘
1929年
油彩/カンヴァス
64.2×53.2

36
ウィレム・デ・クーニング
二人の人物
1967年
油彩/紙
90.8×60.3

37
ジャン・デュビュッフェ
存在の漏出
1950年
油彩/ハードボード
55.0×46.0

38
ゲオルグ・ハゼリック
羊
1964年
油彩/カンヴァス
159.0×129.0

39
ルーチョ・フォンターナ
空間概念 N3
1959-60年
ブロンズ
φ 60.0

40
フランシス・ベーコン
スフィンクス
1954年
油彩/カンヴァス
151.0×116.0

41
ルネ・マグリット
人間の条件
1935年
油彩/カンヴァス
24.0×19.0
寄託作品

42
ピエロ・マンゾーニ
無色
1960年
カオリン/カンヴァス
80.0×60.0

43
ジョアン・ミロ
コンポジション
1933年
油彩/カンヴァス
128.0×162.0

44
メダルド・ロッシ
門番女
1883-84年
ブロンズ
38.0×35.0×16.0

展示室5

45
梅原 龍三郎
カンス
1956年
油彩/カンヴァス
49.4×99.4

46
国吉 康雄
花飾りをつけた女
1932年
油彩/カンヴァス
66.0×81.3

47
熊谷 守一
高原の秋
1935年
油彩/板
37.9×45.5

48
小林 古径
羅浮仙
1920年
膠彩/紙
150.0×48.0

49
竹内 栖鳳
獅子巖壁
1904年
墨、膠彩/紙
170.0×720.0

50
中村 彝
少女の像
1912年
油彩/カンヴァス
32.5×23.0

51
中村 彝
髑髏のある静物
1923年
油彩/ボードカンヴァス
32.5×23.7

52
速水 御舟
鯉
1922-33年
鉛筆/紙
54.5×69.5

53
速水 御舟
林檎(果物)
1920年
膠彩/絹布
26.4×23.9

54
菱田 春草
春色
1905年
膠彩/絹布
70.9×49.4

55
藤田 嗣治
美しいスペイン女
1949年
油彩/カンヴァス
76.0×63.5

56
藤田 嗣治
自画像
1943年
油彩/カンヴァス
23.0×15.0

57
前田 寛治
I子像
1928年
油彩/カンヴァス
90.6×72.8

58
牧野 義雄
ピカデリー・サーカスの夜景
1906-07年
水彩/紙
32.3×26.4

59
牧野 義雄
雨の日のスローン・スクエア
1906-07年
水彩/紙
22.8×30.4

60
牧野 義雄
チェルシー・エンバンクメント
1909-10年
水彩/紙
27.2×50.3

61
牧野 義雄
ブロンプトン通りのオラトリー教会
1906-07年
水彩/紙
18.5×W24.7

62
牧野 義雄
バックingham宮殿の夕暮れ
1906-07年
水彩/紙
21.5×30.3

63
安田 靉彦
梅花定窯瓶
1963年
膠彩/紙
53.0×45.5

64
山口 長男
三ツノ円A
1949年
油彩/カンヴァス
195.0×300.0

展示室6

65
小堀 四郎
待漁
1934年
油彩/カンヴァス
200.0×402.0

66
小堀 四郎
高原の星夜
1961年
油彩/カンヴァス
91.0×117.0

67
小堀 四郎
風雨波濤
1968年
油彩/カンヴァス
162.5×97.3

68
小堀 四郎
赫光
1969年
油彩/カンヴァス
149.0×162.0

69
小堀 四郎
十三湖の月
1978年
油彩/カンヴァス
112.0×162.0

70
小堀 四郎
人生とは
1982年
油彩/カンヴァス
162.0×112.0

71
小堀 四郎
滝・動中静(命の振源)
1991年
油彩/カンヴァス
193.5×113.0

展示室7

72
宮脇 綾子
干柿
1955年
アブリケ
59.3×89.5

73
宮脇 綾子
たこと並ぶ魚たち
1957年
アブリケ
37.7×51.2

74
宮脇 綾子
メキシコの鳥
1962年
アブリケ
75.0×112.0

75
宮脇 綾子
洋酒瓶
1970年
アブリケ
65.5×53.3

76
宮脇 綾子
ふたり
1979年
アブリケ
42.0×141.4

77
宮脇 綾子
リーガルベゴニア
1980年
アブリケ
56.5×50.5

78
宮脇 綾子
ぼうふらのいる瓶
1981年
アブリケ
106.5×112.5

79
宮脇 綾子
フィルターのするめ
1985年
アブリケ
152.5×108.0

80
宮脇 綾子
いい形・いい布
1986年
アブリケ
90.5×157.2

ギャラリー

81
イアン・ハミルトン・フィンレイ
森の小径
1990年
石彫/石
各29.0×38.0×60.0(3点)

トニー・クラッグ

平成11年1月5日(火)ー3月28日(日) 《73日間》 展示室1

1970年代末にプラスチックの破片を用いた作品によってデビューし、その後、1980年代後半から広範囲な素材による彫刻を展開してきたイギリス人作家トニー・クラッグ(1949年-)。彼の関心は、初期の頃から一貫して「身の回りの素材や物に新たな意味と神話と詩情を加えること」に向けられてきた。クラッグの作品は、彫刻素材を物質と生命の進化史という視点から洞察することで世界の重層的な成り立ちを明らかにし、自然と社会と人間の新たな関係を提起するものである。

本展では初期から近作にわたる館藏品9点によって、科学的見識に裏付けられた豊かな想像力から生み出されるクラッグの表現を紹介した。



展示風景

[主催] 豊田市美術館

[出品点数] 9点

[担当学芸員] 北川智昭

- 1
トニー・クラッグ
テリス・ノヴァーリス
1992年
鉄
160.0×287.0×150.0、
245.0×208.0×136.0
- 2
トニー・クラッグ
スパイロジャイラ
1992年
鉄、ガラス
220.0×220.0×220.0
- 3
トニー・クラッグ
アフリカの文化神話
1984年
拾集されたプラスチックの破片
320.0×125.0×13.0
- 4
トニー・クラッグ
無題(棚に置いた5本のボトル)
1982年
プラスチック・ボトル
26.0×60.5×11.0
- 5
トニー・クラッグ
無題
1999/96年
鉛筆/紙
42.0×42.0
- 6
トニー・クラッグ
無題
1999/96年
鉛筆/紙
42.0×42.0
- 7
トニー・クラッグ
無題
1999/96年
鉛筆/紙
42.0×42.0
- 8
トニー・クラッグ
無題
1999/96年
鉛筆/紙
42.0×42.0
- 9
トニー・クラッグ
無題
1999/96年
鉛筆/紙
42.0×42.0

M.C.エッシャー展

平成11年2月16日(火)ー4月4日(日) 《43日間》 展示室4

モーリツ・コルネリウス・エッシャー(1898-1972)は、数学的な分析を駆使して、独自の異次元世界を平面において表現した版画家である。このエッシャーの版画世界を、画面構成の軌跡を巡ることのできるドローイング、版木とともに紹介した。

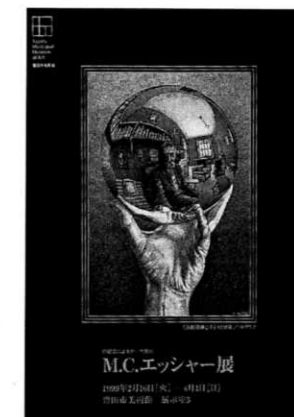
[主催] 豊田市美術館

[出品点数] 25点

[印刷物] 案内はがき: 12×23cm

リーフレット: A5判三折(6p)

[担当学芸員] 能勢陽子



リーフレット



はがき

- 1
M.C.エッシャー
反射球体と手
1935年
リトグラフ/紙
31.8×21.3
- 2
M.C.エッシャー
爬虫類
1943年
リトグラフ/紙
33.4×38.5
- 3
M.C.エッシャー
邂逅
1944年
リトグラフ/紙
34.2×46.4
- 4
M.C.エッシャー
物見の塔
1958年
リトグラフ/紙
46.2×29.5
- 5
M.C.エッシャー
方形の極限
1964年
石版/紙
34.0×34.0
- 6
M.C.エッシャー
《方形の極限》のドローイング 20点
1956年
紙

池田恒象

平成11年3月2日(火)－3月28日(日) 《24日間》 展示室9

西加茂郡拳母町(現豊田市金谷町)に生まれた池田恒象は、16歳のとき京都に出て日本画を学んだ。その後堂本印象の主宰する画塾「東丘社」に入って教えを受け、その才能を認められた。晩年には海外旅行によって画風に新境地を開き、ヨーロッパの古い家並の風景に主題を求め、抽象的構成要素が骨格をなす作品を描くようになった。

本テーマ展示は、豊田市ゆかりの画家池田恒象の作品を晩年を中心に紹介した。

[主催] 豊田市美術館

[出品点数] 14点

[担当学芸員] 北谷正雄



展示風景

1
池田恒象
中世遺構
1982年
膠彩/紙
180×215

2
池田恒象
如月の田
1978年
膠彩/紙
162.2×130.3

3
池田恒象
雲渡る山湖
1972年
膠彩/紙
168.5×229

4
池田恒象
流木
1965年
膠彩/紙
112.1×162.1

5
池田恒象
秋彩
1958年
膠彩/紙
130.5×193.8

6
池田恒象
冬の川(庭)
1963年
膠彩/紙
162.2×130.8

7
池田恒象
赤壁の家
1957年
膠彩/紙
185.9×125.3

8
池田恒象
厨
1957年
膠彩/紙
145.3×111.8

9
池田恒象
白い刻
1981年
膠彩/紙
150.2×216.2

10
池田恒象
草堤
1971年
膠彩/紙
145×230.4

11
池田恒象
雪残る沼
1973年
膠彩/紙
151.5×230.4

12
池田恒象
風化の丘
1982年
膠彩/紙
112.1×162.1

13
池田恒象
赫秋
1970年
膠彩/紙
178.7×203.3

14
池田恒象
鮎
1977年
膠彩/紙
112×162.3

高橋節郎館

平成10年3月31日(火)ー平成11年3月28日(日)

平成10年3月31日(火)ー平成10年9月27日(日)

1
万化
1991年
鎗金
95.7×116.7

2
花天
1990年
蒔絵
90.7×116.6

3
断層
1962年
漆絵
188.1×182.8

4
化石の年輪
1965年
鎗金
182.8×182.6

5
悠久の記
1971年
鎗金
182.0×182.4

6
遠い森の記憶
1974年
鎗金
115.1×90.8

7
樹下小憩
1980年
鎗金
120.0×87.3

8
遠い記録
1973年
鎗金
120.9×98.0

9
古墳映像
1976年
鎗金
175.5×173.2

10
星座回帰
1986年
鎗金
176.7×173.7

11
乾漆壺 1
1989年
乾漆
91.7、φ 12.2

12
乾漆壺 2
1989年
乾漆
59.4

13
乾漆壺 19
1989年
乾漆
91.5、φ 12.2

14
乾漆壺 20
1989年
乾漆
40.6

15
乾漆壺 21
1989年
乾漆
34.2

16
乾漆壺 5
1989年
乾漆
42.0

17
乾漆壺 6
1981年
乾漆
21.0

18
乾漆壺 8
1989年
乾漆
42.5

19
乾漆壺 11
1989年
乾漆
50.8

20
乾漆壺 15
1989年
乾漆
101.5、φ 19.9

21
乾漆壺 9
1989年
乾漆
20.6

22
乾漆壺 13
1989年
乾漆
46.7

23
乾漆壺 18
乾漆
46.5、φ 18.0

24
乾漆壺 10
乾漆
24.0

25
昆蟲記 I
1989年
染付/陶器
1.5×27.0×34.8

26
昆蟲記 II
1989年
染付/陶器
1.3×27.0×35.0

27
昆蟲記 IV
1989年
染付/陶器
1.4×25.7×32.8

28
花
1994年
墨彩/和紙
60.0×45.0

29
朝霧
1986年
墨彩/和紙
44.3×93.4

30
春霞
1986年
墨彩/和紙
95.0×62.0

31
明けゆく山湖
墨彩/和紙
45.4×46.2

32
日月の筥〜月
呂色塗
14.0×50.5×25.0

33
高原春色
墨彩/和紙
61.9×93.7

34
雨上がる
墨彩/和紙
52.7×94.0

35
旅の印象
墨彩/和紙
46.4×62.8

36
円の中の松(寿松)
1987年
蒔絵
1.4、φ41.2

37
山寺
1986年
墨/和紙
93.8×63.1

38
円の中のさくらんぼ
1987年
鎏金
1.3、φ41.3

39
雲は流れる
墨/和紙
43.0×56.7

40
山陵
1989年
墨彩/和紙
61.3×93.6

41
霧晴れる
1984年
墨/和紙
93.5×182.5

42
古都所見 秋篠寺
1982年以前
墨彩
45.6×29.8

43
古都所見 聖林寺
1982年
墨彩/和紙
30.4×45.7

44
アルプスの見える街
1984年
墨彩/和紙
95.2×63.8

45
旅の印象
メイン河畔
墨彩/和紙
28.4×46.1

46
旅の印象:館
墨彩/和紙
45.8×28.0

47
春色
1984年
墨彩/和紙
47.2×63.4

48
春(色紙)
1996年
墨、水彩/紙
27.5×24.5

49
夏(色紙)
1996年
墨、水彩/紙
27.5×24.5

50
秋(色紙)
1996年
墨、水彩/紙
27.5×24.5

51
冬(色紙)
1996年
墨、水彩/紙
27.5×24.5

52
安曇野
1993年
墨、彩色/紙

53
花のセレナード
鎏金
27.5×22.3

54
日月の小宮 日
金地
4.8×7.0×10.9

55
日月の小宮 月
金地/漆
4.7×6.1×12.3

56
蒔絵棗 新月
1982年
蒔絵/漆
6.7、φ6.0

57
鎏金線紋棗
琴弦
1982年
鎏金
6.4、φ6.7

58
蒔絵香合 霊山
1982年
蒔絵
2.0、φ7.2

平成10年9月29日(日)ー平成11年3月28日(日)

1
蟹気楼
1960年
鎏金
197.5×182.0

2
宙
1977年
鎏金
121.3×85.0

3
標
1977年
鎏金
121.3×85.0

4
花の星座
1949年
彩研出蒔絵
42.0×110.0

5
踊り(A)
鎏金
19.0×19.0

6
踊り(B)
鎏金
19.0×19.0

7
花のセレナード
鎏金
27.5×22.3

8
地久大恵 1
1993年
木芯乾漆
50.0×9.0×24.0

9
地久大恵 2
1993年
木芯乾漆
30.5×13.0×47.5

10
地久大恵 3
1993年
木芯乾漆
54.0×12.5×23.0

11
地久大恵 4
1993年
木芯乾漆
71.0×14.5×14.5

12
地久大恵 5
1993年
木芯乾漆
50.5×10.5×21.0

13
地久大恵 7
1993年
木芯乾漆
40.0×10.0×25.5

14
地久大恵 8
1993年
木芯乾漆
53.0×10.5×27.0

15
地久大恵 10
1993年
木芯乾漆
87.5×19.0×37.0

16
地久大恵 11 a
1993年
木芯乾漆
12.0×17.0×99.5

17
地久大恵 11 b
1993年
木芯乾漆
11.5×17.0×87.0

18
地久大恵 12
1993年
木芯乾漆
27.5×19.0×91.0

19
地久大恵 13
1993年
木芯乾漆
33.0×51.0×78.0

20
地久大恵 14
1993年
木芯乾漆
59.3×10.0×21.8

21
地久大恵 15
1993年
木芯乾漆
24.5×8.0×24.5

22
古墳借景
1978年
鎏金
176.0×170.0

23
古墳月彩
1979年
鎏金
179.2×169.6

24
古墳松韻
1982年
鎏金
176.3×171.0

25
星座回帰
1986年
鎏金
176.7×173.7

26
円の中の海(夏)
1987年
鎏金
1.3、φ41.2

27
昆蟲記 I
1989年
染付/陶器
1.5×27.0×34.8

28
昆蟲記 IV
1989年
染付/陶器
1.4×25.7×32.8

29
昆蟲記 VI
1989年
染付/陶器
1.5×35.0×27.1

30
昆蟲記 VII
1989年
染付/陶器
1.1×32.3×28.0

31
昆蟲記 IX
1989年
染付/陶器
1.1×32.3×28.1

32
酒場
1972年
漆絵
φ27.2

33
婦人像(A)
1972年
漆絵
φ27.3

34
街角
漆絵
φ27.2

35
触
1975年
漆版画/和紙
55.8×82.6

36
邑
1959年
漆版画/和紙
63.3×75.8

37
型
1966年
漆版画/和紙
82.7×55.7

38
深海(A)
漆版画/和紙
63.4×95.3

39
武者(A)~モノタイプ
1961年
漆版画/和紙
44.3×63.2

40
弧
漆版画/和紙
60.1×68.4

41
鏡(B)
漆絵
φ27.1

42
花晨
鎏金
27.5×21.3

43
森の小径
1964年
エッチング/和紙
20.5×13.5

44
獅子舞
1964年
エッチング/和紙
15.3×15.0

45
深海(B)
エッチング/和紙
12.0×12.0

46
風船
エッチング/和紙
18.0×12.0

47
夜の猫
1963年
エッチング/和紙
14.5×14.5

48
態
漆版画/和紙
82.8×55.5

49
踊(タンゴ)
1966年
漆版画/和紙
56.1×82.6

50
生
漆版画/和紙
62.6×55.9

51
洞 2
1963年
漆版画/和紙
55.7×62.6

52
深海(B)
漆版画/和紙
59.5×95.0

53
崖(B)
漆版画/和紙
82.6×55.8

54
街
漆版画/和紙
43.8×63.0

55
武者(B)
漆版画/和紙
44.4×67.3

56
武者(A)
漆版画/和紙
44.8×68.4

57
坤(B)
漆版画/和紙
82.7×55.8

58
坤(A)
1963年
漆版画/和紙
82.5×55.7

デ・スタイル 1917-1932 オランダ・モダニズムの美術と建築

平成10年4月21日(火) - 6月21日(日) 《55日間》 展示室8

デ・スタイルとは、第一次世界大戦直後オランダで起きたモダニズム運動である。1917年に創刊された芸術誌『デ・スタイル』を拠り所に、テオ・ファン・ドゥースブルフをプロモーターとして、絵画、彫刻、建築、インテリアなどあらゆる領域において抽象絵画の持つ単純明快な色と構成を展開することを試みた。デ・スタイルには画家のモンドリアンやファン・デル・レック、リートフェルトなど多くの作家が参加し、その活動は国際的にも注目され様々な分野に大きな影響を与えた。

本展は日本における最初のデ・スタイル展として、池袋のセゾン美術館、兵庫県立近代美術館、豊田市美術館の3館を巡回した。

【観覧料】 一般1,000円<800円> 高校・大学生800円<600円>

小・中学校500円<300円> <>内は20名以上の団体料金

【主催】 豊田市美術館/中日新聞社

【後援】 オランダ大使館/日本建築学会/日本建築家協会/日本インテリアリアルデザイナー協会

【協力】 KLMオランダ航空

【出品点数】 165点

【入場者数】 10,762人

【印刷物】 ポスター:B1判 チラシ:A4判

【グラフィック・デザイン】 松下計

【関連出版物】 『デ・スタイル 1917-1932』、セゾン美術館、兵庫県立近代美術館、豊田市美術館、東京新聞/株式会社河出書房新社発行

【作品輸送・展示】 カトーレック株式会社

【会場設営】 株式会社カトウスタジオ

【担当学芸員】 田境志保 北谷正雄



ポスター



展示風景

1
テオ・ファン・ドゥースブルフ
コンポジション 1 (静物)
1916年
油彩/カンヴァス
67×64
クレラー＝ミュラー美術館

2
テオ・ファン・ドゥースブルフ
スタンドグラスのデザイン、ダンスのモチーフII
1917年
鉛筆、インク、グワッシュ/紙
55.5×29.5
クレラー＝ミュラー美術館

3
テオ・ファン・ドゥースブルフ
トランプをする人たち
1917年
油彩/カンヴァス
120.3×148.8
ハーグ市立美術館

4
テオ・ファン・ドゥースブルフ
コンポジションIX作品18(トランプをする人たち)
1917年
油彩/カンヴァス
116×106.4
ハーグ市立美術館

5
テオ・ファン・ドゥースブルフ
ポートレート
1918-19年頃
グワッシュ/紙
27×17
クレラー＝ミュラー美術館

6
テオ・ファン・ドゥースブルフ
コンポジションXVII
1919年
油彩/カンヴァス
50×50
ハーグ市立美術館

7
テオ・ファン・ドゥースブルフ
コンポジションXVIII (3枚組)
1920年
油彩/カンヴァス
各35×35
クレラー＝ミュラー美術館

8
テオ・ファン・ドゥースブルフ
「カウンター・コンポジションI」のためのスケッチ
1924年
鉛筆、グワッシュ/紙
11.7×11.8
クレラー＝ミュラー美術館

9
テオ・ファン・ドゥースブルフ
「カウンター・コンポジションIV」のためのスケッチ
1924年
鉛筆、グワッシュ/紙
11.7×11.8
クレラー＝ミュラー美術館

10
テオ・ファン・ドゥースブルフ
「カウンター・コンポジションV」のためのスケッチ
1924年
鉛筆、グワッシュ/紙
11.7×11.8
クレラー＝ミュラー美術館

11
テオ・ファン・ドゥースブルフ
「カウンター・コンポジションVI」のためのスケッチ
1924年
鉛筆、グワッシュ/紙
11.7×11.8
クレラー＝ミュラー美術館

12
テオ・ファン・ドゥースブルフ
「カウンター・コンポジションVII」のためのスケッチ
1924年
鉛筆、グワッシュ/紙
11.7×11.8
クレラー＝ミュラー美術館

13
テオ・ファン・ドゥースブルフ
「カウンター・コンポジションXII」のためのスケッチ
1924-25年
鉛筆、グワッシュ/紙
11.7×11.8
クレラー＝ミュラー美術館

14
テオ・ファン・ドゥースブルフ
「カウンター・コンポジションXIII」のためのスケッチ
1926年
鉛筆、グワッシュ/紙
11.7×11.8
クレラー＝ミュラー美術館

15
テオ・ファン・ドゥースブルフ
「カウンター・コンポジションXIV」のためのスケッチ
1925年
鉛筆、グワッシュ/紙
11.7×11.8
クレラー＝ミュラー美術館

16
テオ・ファン・ドゥースブルフ
「カウンター・コンポジションXVI」のためのスケッチ
1924-25年
鉛筆、グワッシュ/紙
11.7×11.8
クレラー＝ミュラー美術館

17
テオ・ファン・ドゥースブルフ
「カウンター・コンポジションXVII、XVII a」のためのスケッチ
1926年
鉛筆、グワッシュ/紙
11.7×11.8
クレラー＝ミュラー美術館

18
テオ・ファン・ドゥースブルフ
カウンター・コンポジションV
1924年
油彩/カンヴァス
100×100
アムステルダム市立美術館

19
テオ・ファン・ドゥースブルフ
不協和のカウンター・コンポジションXVI
1925年
油彩/カンヴァス
100.2×180
ハーグ市立美術館

20
テオ・ファン・ドゥースブルフ
四次元空間の習作
1924年
鉛筆/紙
32.5×30.3
クレラー＝ミュラー美術館

21
テオ・ファン・ドゥースブルフ
「普遍的形態II」の展開六連
1926年頃
鉛筆、墨/紙
155.5×27
クレラー＝ミュラー美術館

22
ビート・モンドリアン
コンポジション
1916年頃
油彩/カンヴァス
124.5×75
京都国立近代美術館

23
ビート・モンドリアン
色面と灰色の線のコンポジション1
1918年
油彩/カンヴァス
49×65
ヤーコブ・ビル氏蔵

24
ビート・モンドリアン
青・赤・黒・黄のコンポジション
1922年
油彩/カンヴァス
42×50
アムステルダム市立美術館

25
ビート・モンドリアン
白と黒のコンポジションII
1930年
油彩/カンヴァス
50.5×50.5
アムステルダム市立美術館

26
ビート・モンドリアン
コンポジション
1921年
シルクスクリーン
31.1×31.1
神奈川県立近代美術館

27
ビート・モンドリアン
パリ、デパール街のモンドリアンのアトリエ、再構成
成模型/縮尺1:10
1926年
木、プラスチック
80×110×100
F.C.M.ポストマ氏蔵

28
ビート・モンドリアン
「一瞬は永遠なり」(1926年)のための舞台デザイン、再構成模型
木 プラスチック
30×40×25
F.C.M.ポストマ氏蔵

29
バート・ファン・デル・レック
《コンポジション1916no.1》の習作
1916年
グワッシュ/紙
46.5×40.5
クレラー＝ミュラー美術館

30
バート・ファン・デル・レック
《コンポジション1916no.1》の習作
1916年
グワッシュ/紙
46.5×40.5
クレラー＝ミュラー美術館

31
バート・ファン・デル・レック
コンポジション1916no.1
1916
カゼイン、エタナイト
50×45
クレラー＝ミュラー美術館

32
バート・ファン・デル・レック
《コンポジション1917no.5》の習作(ロバに乗る人たち)
1917年
グワッシュ/紙
65×159
個人蔵

33
バート・ファン・デル・レック
《コンポジション1917no.5》の習作(ロバに乗る人たち)
1917年
グワッシュ/紙
65×150
個人蔵

34
バート・ファン・デル・レック
《コンポジション1917no.5》の習作(ロバに乗る人たち)
1917年
グワッシュ/紙
61×150
個人蔵

35
バート・ファン・デル・レック
コンポジション1916no.4
1916年
油彩/カンヴァス
113×222
クレラー＝ミュラー美術館

36
バート・ファン・デル・レック
コンポジション1917no.4
1917年
油彩/カンヴァス
94×100
クレラー＝ミュラー美術館

37
バート・ファン・デル・レック
カーペット
1929年
羊毛
129.5×54.5
大阪市立近代美術館(仮称)建設準備室

38
フィルモス・フサール
コンポジション1916「デ・ステイル」
1916年(1921年以降に描かれた可能性あり)
油彩/カンヴァス
60×50
ハーグ市立美術館

39
フィルモス・フサール
白い頭のコンポジション
1917年
泥絵/合板
50.5×44×5
ハーグ市立美術館

40
フィルモス・フサール
静物のコンポジション(槌と鍋)
1917年
泥絵/合板
35×46
ハーグ市立美術館

41
フィルモス・フサール
コンポジション1921
1921年
油彩/木
42×53
ユトレヒト中央美術館

42
フィルモス・フサール
ダンスするカップル
1928/29年
油彩/カンヴァス
70×50
個人蔵

43
フィルモス・フサール
モノタイプ
1924年
グワッシュ/紙
30.5×23.3
個人蔵

44
フィルモス・フサール
モノタイプ
1924年
グワッシュ/紙
23.3×30.5
個人蔵

45
フィルモス・フサール
メカニカル・ダンス人形(復元)
1917-20年
人形: アルミニウム、木、雲母
72×26.5×4、台: 30×20×15
ハーグ市立美術館

46
ジョージ・ファン・トングロー
ヴォリュームの関係
1919年
石
18×12×12
ヤーコブ・ビル氏蔵

47
ジョージ・ファン・トングロー
構成 $y = ax^2 + bx + 18$
ブロンズ、黒く着色
90×55.5×33
ヤーコブ・ビル氏蔵

- 48 ジョージ・ファントンゲルロー
グループ $y=ax^2+bx+cy=2ax+by$ 赤、黄、緑
1931年
油彩/カンヴァス
114×129
ヤコブ・ビル氏蔵
- 49 ジョージ・ファントンゲルロー
赤、茶、緑の線のヴァリエーション
油彩/メゾナイト
81×50
川村記念美術館
- 50 ハンス・リヒター
色のオーケストレーション
1923年
油彩/カンヴァス
177×49
東京国立近代美術館
- 51 ヘリット・トーマス・リートフェルト
レッド/ブルー・チェア(婦人用)
1918年
紫檀
74.5×65×65.5
大阪市立近代美術館(仮称)建設準備室
- 52 ヘリット・トーマス・リートフェルト
レッド/ブルー・チェア
1918年頃
ブナ、モミ
87×60.5×80
豊田市美術館
- 53 ヘリット・トーマス・リートフェルト
レッド/ブルー・チェア
1919年頃
モミ
86.5×65×84
大阪市立近代美術館(仮称)建設準備室
- 54 ヘリット・トーマス・リートフェルト
レッド/ブルー・チェア
1921年頃
モミ
87.5×65.5×86.3
大阪市立近代美術館(仮称)建設準備室
- 55 ヘリット・トーマス・リートフェルト
レッド/ブルー・チェア(再制作)
1918/50年代
ブナ
86.3×65×84
大阪市立近代美術館(仮称)建設準備室
- 56 ヘリット・トーマス・リートフェルト
ハイ・バック・チェア
1919年
カシ
89×59×60.3
大阪市立近代美術館(仮称)建設準備室
- 57 ヘリット・トーマス・リートフェルト
ハイ・チェア(再制作)
1919/55年頃
カシ
90×60×60
豊田市美術館
- 58 ヘリット・トーマス・リートフェルト
ビュッフェ(食器戸棚)(再制作)
1919/51年
ブナ
104×200×45
アムステルダム市立美術館
- 59 ヘリット・トーマス・リートフェルト
サイドボードのデザイン
1919年
鉛筆/紙
21.3×27.7
ユトレヒト中央美術館
- 60 ヘリット・トーマス・リートフェルト
子供用ハイ・チェア(再制作)
1920/71年
ブナ
90×45.3×4
アムステルダム市立美術館
- 61 ヘリット・トーマス・リートフェルト
吊りランプ(再制作)
1920/71年
木、ガラス
140×40×40
アムステルダム市立美術館
- 62 ヘリット・トーマス・リートフェルト
子供用カート(再制作)
1918/71年
モミ
126.5×63×119
アムステルダム市立美術館
- 63 ヘリット・トーマス・リートフェルト
手押し車
1920年
木
30×81×28
アムステルダム市立美術館
- 64 ヘリット・トーマス・リートフェルト
ベルリン・チェア(再制作)
1923/60年頃
ブナ
106.7×55.3×73.7
大阪市立近代美術館(仮称)建設準備室
- 65 ヘリット・トーマス・リートフェルト
ベルリン・チェア(再制作)
1923/60年頃
モミ
105.5×68.5×55.2
豊田市美術館
- 66 ヘリット・トーマス・リートフェルト
エンド・テーブル
1923年
木
61.5×49×49
アムステルダム市立美術館
- 67 ヘリット・トーマス・リートフェルト
ミリタリー・チェア
1923年
モミ
90×39×50
宇都宮美術館
- 68 ヘリット・トーマス・リートフェルト
ミリタリー・スツール
1924年
カシ
45×40×36
宇都宮美術館
- 69 ヘリット・トーマス・リートフェルト
テーブル
1923年
木
104×200×45
アムステルダム市立美術館
- 70 ヘリット・トーマス・リートフェルト
肘掛け椅子(再制作)
1925/74年
木
94×61×63
アムステルダム市立美術館
- 71 ヘリット・トーマス・リートフェルト
安楽椅子(棒切れの椅子)
1927年
モミ
85×68.5×61
大阪市立近代美術館(仮称)建設準備室
- 72 ヘリット・トーマス・リートフェルト
居間の家具価格表
1923年頃
鉛筆、クレヨン/紙
64.8×25
ユトレヒト中央美術館
- 73 ヘリット・トーマス・リートフェルト
ジグザグ・チェア
1932-34/40年
カエデ
75×35.7×43
豊田市美術館
- 74 ヘリット・トーマス・リートフェルト
ジグザグ・チェア
1938年頃
モミ
78×37.5×44.5
大阪市立近代美術館(仮称)建設準備室
- 75 ヘリット・トーマス・リートフェルト
ジグザグ・チェアのデザイン
鉛筆/トレーシングペーパー
14×26.8
オランダ建築美術館
- 76 ヘリット・トーマス・リートフェルト
トゥルース・シュレーダー=シュレーダー夫人邸
最初のスケッチ、外観
1924年
鉛筆、着彩/厚紙
20.7×18.3
ユトレヒト中央美術館
- 77 ヘリット・トーマス・リートフェルト
トゥルース・シュレーダー=シュレーダー夫人邸
2枚目のスケッチ
1924年
鉛筆、水彩/紙
30×40.2
ユトレヒト中央美術館
- 78 ヘリット・トーマス・リートフェルト
トゥルース・シュレーダー=シュレーダー夫人邸
最初のスケッチに基づく模型
1924年
木、厚紙、ガラス
10.5×21.5×9.7
ユトレヒト中央美術館
- 79 ヘリット・トーマス・リートフェルト
トゥルース・シュレーダー=シュレーダー夫人邸
色彩計画(シルクスクリーン用のオリジナル・ドローイング)
1958年
着彩/厚紙
49×65
ユトレヒト中央美術館
- 80 ヘリット・トーマス・リートフェルト
トゥルース・シュレーダー=シュレーダー夫人邸
色彩計画(シルクスクリーン用のオリジナル・ドローイング)
1958年
着彩/厚紙
49.5×64.5
ユトレヒト中央美術館
- 81 ヘリット・トーマス・リートフェルト
トゥルース・シュレーダー=シュレーダー夫人邸
アイソメトリック投影図
1924年
鉛筆、インク、水彩、フォトタイプ
84×87
ユトレヒト中央美術館
- 82 ヘリット・トーマス・リートフェルト
トゥルース・シュレーダー=シュレーダー夫人邸
平面図、立面図
1925年
鉛筆、インク/トレーシングペーパー
64.5×76.5
オランダ建築美術館
- 83 ヘリット・トーマス・リートフェルト
ショッファーの家を含むガレージの改装
平面図、側面図のカラージュ
1927年
鉛筆、インク、色鉛筆、着彩/トレーシングペーパー
着色された紙、ブループリント(カラージュ)
76×143
オランダ建築美術館
- 84 ヘリット・トーマス・リートフェルト
ブレファブ住宅計画 構想スケッチ
1929年頃
鉛筆、インク/トレーシングペーパー
26.3×24.2
ユトレヒト中央美術館
- 85 ヘリット・トーマス・リートフェルト
4住戸からなる連続住宅
平面図、立面図
1931年頃
インク/トレーシングペーパー
70×52.5
オランダ建築美術館
- 86 ヘリット・トーマス・リートフェルト
4住戸からなる連続住宅
リビング・ルームの透視図
1931年
鉛筆/トレーシングペーパー
30×50
オランダ建築美術館
- 87 ヘリット・トーマス・リートフェルト
4世帯住宅 各階平面図
1930-35年
フォトタイプ
22.5×48.5
ユトレヒト中央美術館
- 88 ロバート・ファン・ホフ
ヴィラ・ヘニー 立面図、平面図
1916年
オフプリント、インク/トレーシングペーパー
76.6×57.7
オランダ建築美術館
- 89 テオ・ファン・ドゥースブルフ
ヴィラ・アレホンダの増築、及び改築
ステンドグラスのデザイン、コンポジションV
1917-18年
インク/紙コロタイプ
109×66
オランダ建築美術館
- 90 J.J.P.アウト
ヴィラ・アレホンダの増築、及び改築 平面図、
立面図、透視図、縮尺1:100
インク/トレーシングペーパー
59×74.5
オランダ建築美術館
- 91 テオ・ファン・ドゥースブルフ
シント・アントニーホルダーの学校校舎と教員住
宅のためのステンドグラス、コンポジションIII
1917年
ステンドグラス
40×40
クレラー=ミュラー美術館
- 92 テオ・ファン・ドゥースブルフ
ヴィラ・テ・カルパトンのための5枚のステンド
グラス ステンドグラスのためのデザイン「スモー
ル・バストラル」
鉛筆、グワッシュ/紙
105.1×61.6
オランダ建築美術館

- 93
テオ・ファン・ドゥースブルフ
ヴィラ・テ・カルパートのための5枚のステンド
グラス ステンドグラスのためのデザイン「スモー
ル・パストラル」
鉛筆、グワッシュ/紙
107.4×65
オランダ建築美術館
- 94
J.J.P.アウト
保養住宅「デ・フォンク」平面図、立面図、縮尺
1:100
1917年
鉛筆、水彩/紙
63.2×38
オランダ建築美術館
- 95
テオ・ファン・ドゥースブルフ
噴水のデザイン案(レーワルデン・モニュメント)
再構成模型
1918/68年
石膏
45.3×33.5×33.5
ファン・アッペ美術館
- 96
テオ・ファン・ドゥースブルフ
バート・デ・リヒト邸のための室内色彩計画
インテリア色彩計画
1919年
鉛筆、水彩、グワッシュ/トレーシングペーパー
60.5×43
オランダ建築美術館
- 97
テオ・ファン・ドゥースブルフ(推定)
ステンドグラス
1920年
64×43
ヤーコブ・ビル氏蔵
- 98
テオ・ファン・ドゥースブルフ(推定)
ステンドグラス
1920年
64×43
ヤーコブ・ビル氏蔵
- 99
テオ・ファン・ドゥースブルフ(推定)
ステンドグラス
1920年
64×43
ヤーコブ・ビル氏蔵
- 100
フィルモス・フサール
コンポジション
1921年
ステンドグラス
69×61.5
アムステルダム市立美術館
- 101
テオ・ファン・ドゥースブルフ
ハノーヴァー・プロヴィンツィアル美術館のため
のステンドグラスによるコンポジションのデザイ
ン
1925年
鉛筆、インク、グワッシュ/紙
31.5×29
クレラー=ミユラー美術館
- 102
J.J.P.アウト
海岸遊歩道沿いの集合住宅 平面図、立面図、
縮尺1:100
1917年
インク、コロタイプ
59×108.5
オランダ建築美術館
- 103
J.J.P.アウト
ビュルメレントの工場と事務所 工場のデザイン
1919年
水彩/紙
15.3×45
オランダ建築美術館
- 104
J.J.P.アウト
ビュルメレントの工場と事務所
工場のオフィスのスケッチ(3枚)
1919年
インク/紙
26×20
オランダ建築美術館
- 105
ピート・ズワルト
ダンス研究所ガイヤール=ジョリサン 室内透視
図
鉛筆、水彩/紙
18.5×47
オランダ建築美術館
- 106
ピート・ズワルト
ダンス研究所ガイヤール=ジョリサン 食堂の色
彩計画
鉛筆、水彩/紙
48.2×37
オランダ建築美術館
- 107
ピート・ズワルト
ダンス研究所ガイヤール=ジョリサン 窓の色彩
デザイン
インク、水彩/トレーシングペーパー 58×23.7
オランダ建築美術館
- 108
ヤン・ウィルス
ノルフェルホルのダール・エン・ベルフ公共集合
住宅透視図
1919-22年
インク/紙
54×88.5
オランダ建築美術館
- 109
ヤン・ウィルス
ノルフェルホルのダール・エン・ベルフ公共集合
住宅、平面計画
インク、水彩/紙
32.5×42
オランダ建築美術館
- 110
ヤン・ウィルス、フィルモス・フサール
ベルセンプルヘ・スタジオのインテリア 再構成模
型 縮尺1:10
木
45×50×100
デルフト工科大学建築学部
- 111
J.J.P.アウト
トゥッセンデイケン公共集合住宅
立面図 縮尺1:200
コロタイプ
25×60
オランダ建築美術館
- 112
J.J.P.アウト
トゥッセンデイケン公共集合住宅
平面図、断面図 縮尺1:100
コロタイプ
25×60
オランダ建築美術館
- 113
コルネリス・ファン・エーステレン、テオ・ファン・ド
ゥースブルフ
メゾン・バルティキュリエール 模型 縮尺1:50
木
45×70×65
ハーグ市立美術館
- 114
コルネリス・ファン・エーステレン、テオ・ファン・ド
ゥースブルフ
メゾン・バルティキュリエール アクソノメトリッ
ク図
1923年
リトグラフ
56×54.7
オランダ建築美術館
- 115
テオ・ファン・ドゥースブルフ
メゾン・バルティキュリエール アクソノメトリッ
ク図
インク/トレーシングペーパー
54.5×43.2
オランダ建築美術館
- 116
テオ・ファン・ドゥースブルフ
メゾン・バルティキュリエール アクソノメトリッ
ク図
インク/トレーシングペーパー
60.5×58.5
オランダ建築美術館
- 117
テオ・ファン・ドゥースブルフ
メゾン・バルティキュリエール カウンター・コンス
トラクション
インク/トレーシングペーパー
60×48
オランダ建築美術館
- 118
テオ・ファン・ドゥースブルフ
メゾン・バルティキュリエール 四次元空間のカ
ラー・コンストラクション
1924年
グワッシュ/紙
56.8×56
アムステルダム市立美術館
- 119
テオ・ファン・ドゥースブルフ
メゾン・バルティキュリエール 東正面、色彩計画
鉛筆、着彩/紙
37×53.7
アムステルダム市立美術館
- 120
テオ・ファン・ドゥースブルフ
メゾン・バルティキュリエール 北正面、色彩計画
鉛筆、着彩/紙
37×53.7
アムステルダム市立美術館
- 121
コルネリス・ファン・エーステレン、テオ・ファン・ド
ゥースブルフ
メゾン・ダルティスト(芸術家の家)3階平面図
インク、グワッシュ/紙
51.5×49.3
オランダ建築美術館
- 122
コルネリス・ファン・エーステレン、テオ・ファン・ド
ゥースブルフ
メゾン・ダルティスト(芸術家の家)4階平面図
インク、グワッシュ/トレーシングペーパー
51.5×49.3
オランダ建築美術館
- 123
コルネリス・ファン・エーステレン
大学ホールのための色彩計画案 ホール天井
の色彩計画
1923年
着彩/トレーシングペーパー
56.2×36.2
オランダ建築美術館
- 124
コルネリス・ファン・エーステレン、テオ・ファン・ド
ゥースブルフ
大学ホールのための色彩計画案 ホール壁面、
天井、床面の投影図と色彩計画
1923年
鉛筆、インク、グワッシュ、コラーージュ/紙
16.5×25
オランダ建築美術館
- 125
J.J.P.アウト
アウト=マテネッセの現場事務所
外観模型 縮尺1:10
1922年
木、プラスチック
36×81.5×81.5
J.スタダ氏蔵
- 126
J.J.P.アウト
アウト=マテネッセの現場事務所
インテリア模型 縮尺1:10
木、プラスチック
36×41×31
J.スタダ氏蔵
- 127
J.J.P.アウト
アウト=マテネッセの現場事務所
色彩計画と平面図
1922-23年
着彩/紙
65×99.2
オランダ建築美術館
- 128
フィルモス・フサール、ヘリット・トーマス・リートフ
ェルト
ベルリンの展覧会のためのインテリア再制作模
型 縮尺1:10
着彩/木、紙
40×50×76
ティヤールダ・ミース氏蔵
- 129
コルネリス・ファン・エーステレン
ショッピング・アーケード 透視立面図、断面図
1924年
水彩、インク、コロタイプ
35×72.5
オランダ建築美術館
- 130
コルネリス・ファン・エーステレン
ノールト川沿いの住宅 アクソノメトリック図
1923/24年
着彩/紙
62.8×58.8
オランダ建築美術館
- 131
ジョージ・ファントン・ゲルロー
室内模型一机、肘掛け椅子、書棚、書き物机
1920年
白、黒、灰色に着彩/木
ヤーコブ・ビル氏蔵
- 132
ジョージ・ファントン・ゲルロー
ダイニングルーム投影図
1926年
油彩/合板
73×58
ヤーコブ・ビル氏蔵
- 133
ジョージ・ファントン・ゲルロー
ダイニングルーム投影図
1926年
油彩/合板
73×58
ヤーコブ・ビル氏蔵
- 134
テオ・ファン・ドゥースブルフ
循環都市アクソノメトリック図
縮尺1:400
インク/トレーシングペーパー
60.5×66
オランダ建築美術館
- 135
テオ・ファン・ドゥースブルフ
レストラン・シアター「オーベット」の改装
再構成模型、小ダンスホール
木
50×115×85
クレラー=ミユラー美術館
- 136
テオ・ファン・ドゥースブルフ
レストラン・シアター「オーベット」の改装
2階平面図、および照明計画のスケッチ
1927年
鉛筆、チョーク/トレーシングペーパー
オランダ建築美術館
- 137
テオ・ファン・ドゥースブルフ
レストラン・シアター「オーベット」の改装
小ダンスホールの壁面の色彩構成
1927年
鉛筆、チョーク、グワッシュ、コロタイプ
40.5×106.5
オランダ建築美術館
- 138
テオ・ファン・ドゥースブルフ
レストラン・シアター「オーベット」の改装
大ダンスホールと天井の色彩構成
鉛筆、インク、銀の着色、グワッシュ、コロタイプ
110×72.5
オランダ建築美術館

139
テオ・ファン・ドゥースブルフ
レストラン・シアター「オーベット」の改装
大ダンスホールの色構成
1927年
鉛筆、インク、銀の着色、グワッシュ/紙
46×105
オランダ建築美術館

140
J.J.P.アウト
デ・キーフークの公共集合住宅
ブレデザイン、コーナーを臨む 1区画の透視図
1925-29年
鉛筆、インク/トレーシングペーパー
34×74
オランダ建築美術館

141
テオ・ファン・ドゥースブルフ
デ・キーフークの公共集合住宅 住宅平面図
縮尺1:20
インク/トレーシングペーパー
60×88
オランダ建築美術館

142
『デ・スタイル』3巻8号
1920年6月
25.8×18.8
川畑直道

143
『デ・スタイル』6巻3/4号
1923年5/6月
20.5×25.8
川畑直道

144
テオ・ファン・ドゥースブルフ
『デ・スタイル』関連の印刷物—領収書、書籍の
帯、送付票など
印刷/紙
32.5×39.5
オランダ文化遺産コレクション

145
ヴァルター・グロピウス
バウハウス叢書第1巻『国際建築』
1925年
23.2×18.1
川畑直道

146
ピート・モンドリアン
バウハウス叢書第5巻『新しい造形』
1925年
23.2×18.1
ミサワホーム株式会社

147
テオ・ファン・ドゥースブルフ
バウハウス叢書第6巻『新しい造形芸術の基礎
概念』
1925年
23×18
ミサワホーム株式会社

148
J.J.P.アウト
バウハウス叢書第10巻『オランダ建築』
1926年
23×18.1
ミサワホーム株式会社

149
テオ・ファン・ドゥースブルフ
チーズ製品のラベル
1919年
印刷/紙
20×24.6
オランダ文化遺産コレクション

150
テオ・ファン・ドゥースブルフ
輸出業者ハゲメイヤー社のための封筒などの印
刷物
1919年
印刷/紙
32.4×40.1
オランダ文化遺産コレクション

151
テオ・ファン・ドゥースブルフ
靴製造業ファグス社のための広告デザイン
1925年
カラー、墨、写真/紙
60×42.5
オランダ文化遺産コレクション

152
テオ・ファン・ドゥースブルフ
展覧会ポスターのためのデザイン
1924年
鉛筆、墨、グワッシュ/紙
32.5×24.8
クレラー=ミュラー美術館

153
テオ・ファン・ドゥースブルフ
コンポジション
1921年頃
水彩、カラー、ジュ
25×17.7
クレラー=ミュラー美術館

154
テオ・ファン・ドゥースブルフ
リコンストラクション
1921年頃
カラー、ジュ
29.4×21
クレラー=ミュラー美術館

155
テオ・ファン・ドゥースブルフ
コンポジション(レディ・メイド)
1928年
リトグラフ
18.8×19.3
クレラー=ミュラー美術館

156
テオ・ファン・ドゥースブルフ
『メカノ』赤号(3号)
1922年
32.5×39.7
オランダ文化遺産コレクション

157
テオ・ファン・ドゥースブルフ
『メカノ』青号(2号)
1922年
32.5×39.7
オランダ文化遺産コレクション

158
テオ・ファン・ドゥースブルフ
『メカノ』定期購読の注文書
印刷/紙
9×14.5
オランダ文化遺産コレクション

159
テオ・ファン・ドゥースブルフ
『ダダ=マチネ』のためのポスター
1923年
印刷/紙
62×85
オランダ文化遺産コレクション

160
フィルモス・フサール
ミス・グランシュ・シガレットの広告リーフレット
の校正刷り
1926年
印刷/紙
14.2×11.4
アムステルダム市立美術館

161
ジョージ・ファン・トーン・ゲルロー
 $Y=x+bx+c$ 赤=緑
1935/73年
シルクスクリーン
60×45.5
兵庫県立近代美術館

162
ピート・モンドリアン
コンポジションD
1932/73年
シルクスクリーン
47×42.5
兵庫県立近代美術館

163
ハンス・アルプ
コンポジション
1930年頃/73年
シルクスクリーン
84×66
兵庫県立近代美術館

164
ゾフィー・トイバー=アルプ
青いフィルム
1935/73年
シルクスクリーン
60.6×48.5
兵庫県立近代美術館

165
テオ・ファン・ドゥースブルフ
コンポジション
1930年頃/73年
シルクスクリーン
54×54
兵庫県立近代美術館

なぜ、これがアートなの？

平成10年7月21日(火)～9月23日(水) 《56日間》 展示室8およびエントランス

展覧会「なぜ、これがアートなの？」は、一般に最も人気のある印象派の作品からビデオ・インスタレーションまで幅広い作品群によって、「アートとは何か」をやさしく伝えながら、これまでのアートに対する固定観念を緩やかに解きほぐし、ひとりでも多くの観客自らが現代美術を観ることの楽しさ、意味を見出していただくことを目的にした展覧会である。美術館教育の現場で長年、多くの人々にアート伝えてきたアメリア・アレナス女史(前ニューヨーク近代美術館教育担当)を協力者に迎え、日本人の最も苦手とする作品とのコミュニケーションにも重点を置いたこの展覧会は、学校の美術の先生との連携やギャラリー・トーカーの養成など、それぞれの地域との連携や普及の重要性を意識した企画ともいえる。

本展は、それぞれ独自の活動を試みている豊田市美術館、川村記念美術館、水戸芸術館の三館が、アメリア・アレナスとともに企画した展覧会である。しかし、この展覧会は、三館が同じ展覧会を開催するという従来の巡回展ではなく、各館の状況に鑑み、共通の出品作品にそれぞれ別の作品を加味することが可能な独自性を重視した展覧会である。こうした点からも、また企画を推進していく上でも、本展は広い視野にたった共同企画の本来のあり方を目指した試みであった。

【観覧料】 一般1,000円<800円> 高校・大学生800円<600円>

小・中学校500円<300円> <>内は20名以上の団体料金

*夏休み親子鑑賞割引:7月21日～8月30日に限り、親子で来館された場合、小・中学生の観覧料は無料

【主催】 豊田市美術館

【協賛】 トヨタ自動車株式会社

【協力】 日本航空/不二製油株式会社/名糖産業株式会社/株式会社竹尾/富士ゼロックス/東日本旅客鉄道株式会社

【出品点数】 41点

【入場者数】 11,749人 *親子鑑賞割引申込人数:1,463人
(親721人/子742人)

【関連事業】

記念講演会 「現代美術はなぜ奇妙に見えるのか？」

講師:アメリア・アレナス(前ニューヨーク近代美術館教育担当)

日時:平成10年7月25日(日)午後3時～4時30分

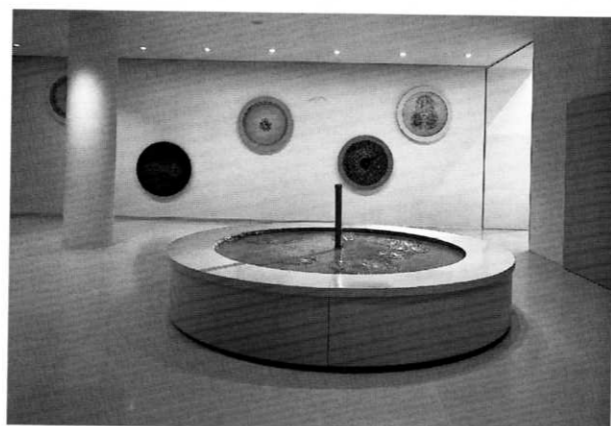
会場:豊田市美術館 講堂

なぜ、これがアートなの？

1998年7月21日(火)～9月23日(水) 豊田市美術館



ポスター



展示風景

ビデオ・シアター

内容:①映画「ダブル・ブラインド」

②ビデオ「なぜ、これがアートなの？」

日時:平成10年8月8日(土)午後1時

会場:豊田市美術館 講堂

ギャラリー・トーク

7月26日(日)から、会期中毎日午後2時より、作品ガイド・ボランティアによるギャラリー・トークを実施

子どものための鑑賞教育プログラム

「なぜ、これがアートなの？」展にあわせて製作した、学校の先生のための鑑賞教育教材「ティーチャーズ・キット」を配付、実施

【印刷物】 ポスター:B1判、B2判 チラシ:A4判

関連出版物:

書籍「なぜ、これがアートなの？」

著者/アメリア・アレナス

発行/株式会社淡交社

ビデオ「なぜ、これがアートなの? I・II」

構成・出演/アメリア・アレナス

監修/川村記念美術館・豊田市美術館

企画・製作・著作/株式会社ジャパンイメージコミュニケーションズ

【グラフィックデザイン】 峯石景子

【会場設営】 株式会社 乃村工芸社

【担当学芸員】 都筑正敏 吉竹彩子



ティーチャーズ・キット

- 1
ルネ・マグリット
無謀な企て
1928年
油彩/カンヴァス
116.0×81.1
豊田市美術館
- 2
森村 泰昌
肖像(双子)
1988年
写真、透明メEDIUM
210.0×300.0
斎藤記念川口現代美術館
- 3
上田 薫
なま玉子B
1976年
油彩、アクリル/カンヴァス
227.0×182.0
東京都現代美術館
- 4
元永 定正
作品
1965年
油彩/カンヴァス
322.0×182.6
広島市現代美術館
- 5
アド・ラインハート
抽象絵画
1960-66年
油彩/カンヴァス
150.0×150.0
川村記念美術館
- 6
マルセル・デュシャン
泉
1917/64年
陶器製の便器
62.5×69.0×59.0
京都国立近代美術館
- 7
クロード・モネ
睡蓮
1907年
油彩/カンヴァス
92.5×73.5
川村記念美術館
- 8
ステイナ・ヴァスルカ
ボレアリス(北部)
1993年
ビデオ・インスタレーション
サイズ可変
作家蔵
- 9
ヴァシリー・カンディンスキー
「エドウィン・R.キャンベルのための壁画No.4」
の習作(カーニバル冬)
1914年
油彩/カードボード
69.8×48.4
宮城県美術館
- 10
シンディ・シャーマン
無題
1987/90年
写真
229.0×152.0
メトロ・ピクチャーズ
- 11
ジャクソン・ポロック
アンナの光
緑、黒、黄褐色のコンポジション
1951年
油彩/カンヴァス
50.8×139.7
川村記念美術館
- 12
モーリス・ルイス
ガンマ・ツェータ
1960年
アクリル/カンヴァス
258.5×377.2
川村記念美術館
- 13
井上 有一
作品G
1955年
エナメル/ケント紙ほか
79.0×111.0
千葉市美術館
- 14
ルーチョ・フォンターナ
空間概念
1962年
油彩/カンヴァス
129.0×97.0
豊田市美術館
- 15
サイ・トゥオンブリー
コンポジション
1962年
油彩、鉛筆、クレヨン/カンヴァス
153.0×199.0
いわき市立美術館
- 16
カジミール・マレーヴィッチ
シュプレマティズム
1916-17年
油彩/カンヴァス
65.6×48.2
川村記念美術館
- 17
アンドレス・セラノ
無題X(弧を描く精液)
1989年
チバクローム・プリント、シリコン
102.0×152.0
ポーラ・クーバー・ギャラリー
- 18
リチャード・セラ
左角を左隅へ
1980-81年
オイルスティック、アルミニウム
271.0×264.0
北九州市立美術館
- 19
バーネット・ニューマン
アンナの光
1968年
アクリル/カンヴァス
276.0×611.0
川村記念美術館
- 20
吉原 治良
作品B
1971年
アクリル/カンヴァス
194.0×259.0
大阪市立近代美術館建設準備室
- 21
アニッシュ・カプーア
Void No.3
1989年
顔料/ファイバーグラス
122.0×122.0×91.0
個人蔵(名古屋市美術館寄託)
- 22
カール・アンドレ
Zinc-Zinc Plain
1969年
亜鉛
0.95×182.9×182.9
滋賀県立近代美術館
- 23
フランク・ステラ
トリンソン・コート・パーク
1959年
エナメル/カンヴァス
213.4×276.9
川村記念美術館
- 24
ダン・フレヴィン
無題(色画家ドナルド・ジャッドへ)
1987年
蛍光灯
137.0×610.0×10.0
ダン・フレヴィン財団
- 25
河原 温
JUNE 30, 1978
1978年
アクリル/カンヴァス、新聞紙、紙
25.5×33.0
豊田市美術館
- 26
マックス・エルンスト
入る、出る
1923年
油彩/木のドア
205.0×80.0
川村記念美術館
- 27
トム・ウェッセルマン
浴槽カラージュ#2
1963年
油彩、カラージュ/板
122.0×185.5×16.5
東京都現代美術館
- 28
ジョセフ・コース
1つと3つのシャベル
1965年
シャベル、パネル、写真
97.0×25.5(シャベル)
45.0×72.0(パネル)
114.0×37.5(写真)
滋賀県立近代美術館
- 29
ジョセフ・コーネル
鳩小屋: アメリカーナ
1950-1955年、1950年代初め
ミクストメディア、箱
34.0×20.0×10.0
川村記念美術館
- 30
ジョセフ・コーネル
無題(オオムと蝶の住まい)
1948年
ミクストメディア、箱
50.0×35.0×16.0
川村記念美術館
- 31
ジョセフ・コーネル
無題(ピアノ)
1947-48年
ミクストメディア、箱
28.0×21.0×12.0
川村記念美術館
- 32
ヨーゼフ・ボイス
ジョッキー帽
1985年
フェルト帽、ミンク・オイルほか
豊田市美術館
- 33
フェルナンダ・ゴメス
無題
1995/1998
絹糸で編み上げた毛髪ほか
作家蔵
- 34
アリストイド・マイヨール
イル・ド・フランス
1925年
ブロンズ
168.0
埼玉県立近代美術館
- 35
三宅 一生
プラスチック・ボディ
1980年
樹脂
37.0×33.0×20.0
三宅デザイン事務所
- 36
マグダレーナ・アバカノヴィッチ
ベンチの上の立像
1989年
ブロンズ
194.0×51.0×32.0
水戸市立博物館
- 37
イヴ・クライン
人体測定ANT6
1960年
水彩メEDIUM/紙、カンヴァスほか
157.0×311.0
いわき市立美術館
- 38
ジェームズ・タレル
ソフト・セル
1992年
合板、ウレタン、絨毯、白熱灯
284.5×208.3×208.3
水戸芸術館現代美術センター
- 39
ヘレン・チャドウィック
カカオ
1994年
チョコレート、アルミニウムほか
85.0×300.0×300.0
ヘレン・チャドウィック財団
- 40
ヘレン・チャドウィック
喜びの花輪
1992-95年
写真、鋼鉄、ガラス
各110.0×110.0×5.0
ヘレン・チャドウィック財団
- 41
ソフィー・カル
盲目の人々
1996年
写真、テキスト
サイズ可変
スチュアート&ジュディ・スペンス夫妻

ヴァチカン美術館展 中世のフレスコ画

平成10年9月8日(火)～11月8日(日) 〈54日間〉 展示室9

イタリア国外初の持ち出しとなる、ヴァチカン美術館所蔵の中世のフレスコ画14点を紹介した。これらのフレスコ画は、いずれもローマのサンタニューゼ教会とサン・ニコラ・イン・カルチェレ教会の壁面を飾っていたもので、そこにはキリストや諸聖人の物語、装飾的な動植物などが描かれている。

中世のフレスコ画には自然に忠実な写実性は見られないが、その素朴で明快なフォルムからは却って対照物に投影された精神性の高さを感じることができる。

【観覧料】 一般500円<400円> 高校・大学生400円<300円>

小・中学校250円<150円> <>内は20名以上の団体料金

【主催】 豊田市美術館／ヴァチカン美術館／中日新聞社／東海テレビ放送

【出品点数】 14点

【入場者数】 11,004人

【関連事業・記念講演会】

「中世とルネサンスのフレスコ壁画—その技法・機能・図像について」

講師：木俣元一氏(名古屋大学助教授)

日時：1998年10月11日(日) 午後2:00～3:30

会場：豊田市美術館 講堂

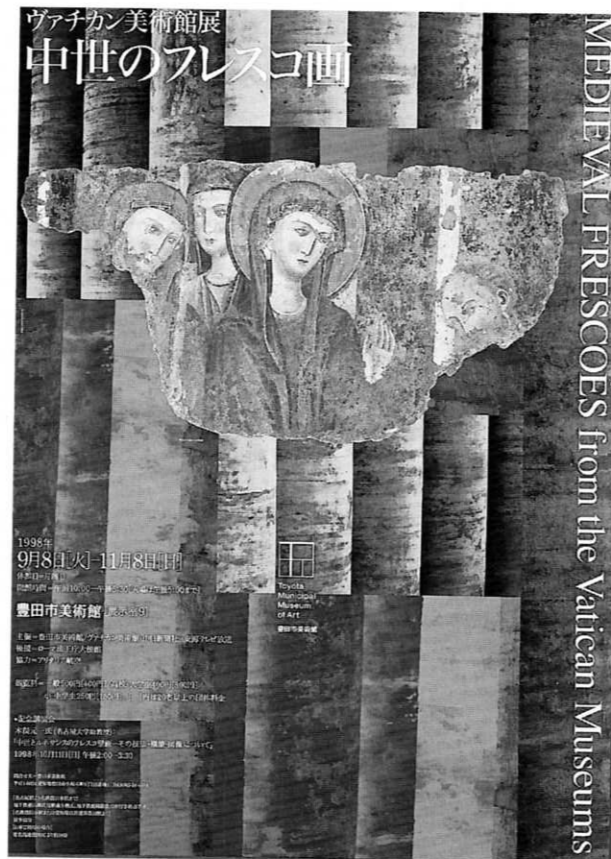
【印刷物】 ポスター：B2判 チラシ：A4判 カタログ：A4判変形 (29.7×22.4/32ページ)

【グラフィック・デザイン】 矢萩喜從郎

【作品輸送・展示】 ヤマト運輸株式会社

【会場設営】 株式会社カトウスタヂオ

【担当学芸員】 能勢陽子 北谷正雄



ポスター



カタログ



展示風景

- | | |
|--|---|
| 1
聖カタリナの斬首
13-14世紀頃
フレスコ
73.5×141.5 | 11
有翼の竜のいる装飾断片
12世紀頃
フレスコ
31.0×66.5 |
| 2
聖女の生涯からの場面
13-14世紀頃
フレスコ
55.5×107.5 | 12
イルカのいる装飾断片
12世紀頃
フレスコ
19.0×52.0 |
| 3
聖ベネディクトゥス、倒れた壁に下敷きになって死んだ修道士を生き返らせる
13-14世紀頃
フレスコ
119.5×90.5 | 13
怪物面と二頭のイルカのいる装飾断片
12世紀頃
フレスコ
54.0×39.5 |
| 4
聖マウルスと聖ブラキドゥスと共にいる聖ベネディクトゥス
13-14世紀頃
フレスコ
70.5×135 | 14
鳥のいる装飾断片
12世紀頃
フレスコ
29.0×40.0 |
| 5
雉のいる装飾文様断片
12世紀頃
フレスコ
51.0×39.0×2.6 | |
| 6
預言者エレミア
12世紀頃
フレスコ
φ 59.5 | |
| 7
キリストの洗礼
12世紀頃
フレスコ
φ 87.0 | |
| 8
壺と二頭のイルカのある装飾断片
12世紀頃
フレスコ
46.0×64.0 | |
| 9
預言者ハガイ
12世紀頃
フレスコ
φ 59.5 | |
| 10
鳥のいる装飾断片
12世紀頃
フレスコ
29.0×40.0 | |

ジャン・アルプ&ゾフィー・トイベル=アルプ

平成10年10月20日(火)ー12月20日(日) 《55日間》 展示室8

ダダ、およびシュルレアリスム運動に深く関わりながら、画家、彫刻家、そして詩人として活躍したジャン・アルプ(1886ー1966)。彼が後に妻となるゾフィー・トイベル(1889ー1943)に出会ったのはダダ運動を創始する前年(1915年)のことであった。有機的な形態を用いながら抽象画の可能性を追求していたアルプ、水平と垂直による厳格な幾何学的形態を試みていたゾフィー、異なる作風の二人が互いの個性を抑えつつ、刺激を与え合うことによって素晴らしい作品が生み出されていった。

本展覧会では、アルプの初期のドローイングから晩年の彫刻まで105点とともに、日本において紹介されることの少なかったゾフィー・トイベルの作品39点、および二人の共同制作16点を加えて、アルプ夫妻の芸術の全体像を回顧した。

【観覧料】 一般1,000円<800円> 高校・大学生800円<600円>

小・中学校500円<300円> < >内は20名以上の団体料金

【主催】 豊田市美術館／ハンス・アルプ&ゾフィー・トイベル=アルプ財団(ドイツ)／朝日新聞社／名古屋テレビ放送

【協力】 ルフトハンザドイツ航空会社

【出品作品】 160点

【入場者数】 6,094人

【関連事業】

記念講演会「ジャン・アルプとフィー・トイベル=アルプ」

講師：村上 博哉(愛知県美術館学芸員)

日時：平成10年11月3日(火、祝) 午後2時ー3時30分

会場：豊田市美術館 講堂

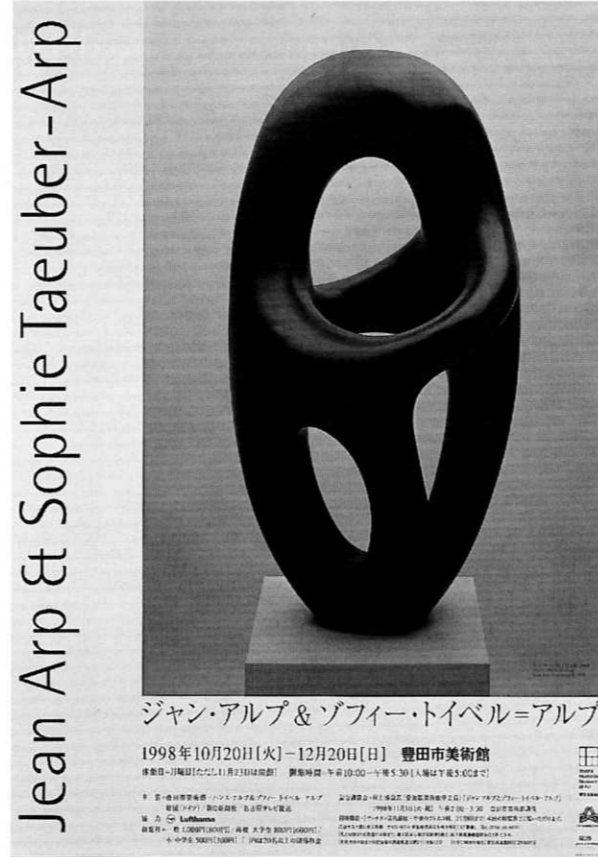
【印刷物】 ポスター：B1判、B2判 チラシ：A4判 カタログ：A4判変形(29×24cm/250ページ)

【グラフィック・デザイン】 平野湊太郎

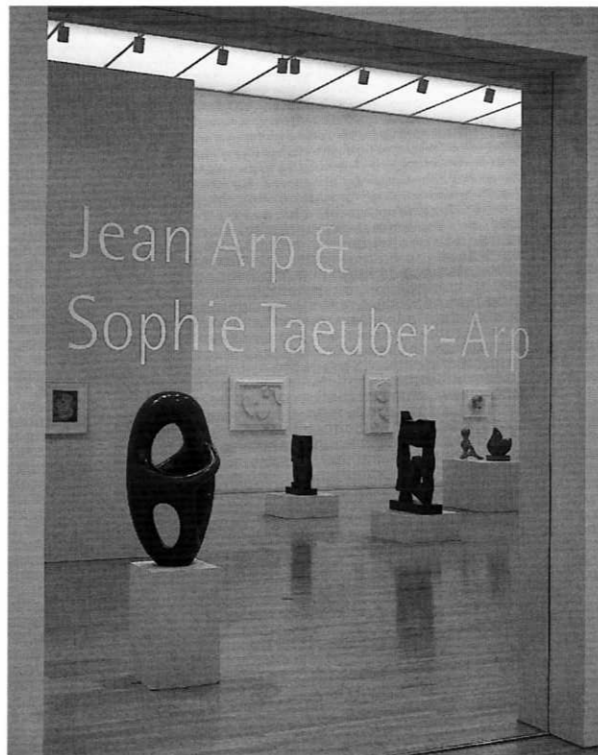
【作品展示】 ヤマト運輸株式会社

【会場設営】 株式会社富士製作所

【担当学芸員】 北谷正雄 福井由紀



ポスター



展示風景

Photo:Kotaro Hirano



カタログ

ジャン・アルプ

1 コンポジション I
1907年
油彩/カンヴァス
40.5×50.5

2 裸婦
1907年頃
鉛筆/紙
24.1×31.1

3 裸婦
1907年頃
鉛筆/紙
24.1×31.1

4 プレ・ダダ的なドローイング
1915年
墨、鉛筆/紙
15.2×19

5 プレ・ダダ的なドローイング
1915年頃
墨、鉛筆/紙
17.8×22.1

6 プレ・ダダ的なドローイング
1915-16年
墨、鉛筆/紙
17.5×22

7 基本要素による構成
1916年
コラージュ/紙
24.5×20.7

8 プレ・ダダ的なドローイング
1916年頃
墨、鉛筆/紙
22×18

9 プレ・ダダ的なドローイング
1916年頃
墨、鉛筆/紙
17.8×22.1

10 無題
1916-17年
グワッシュ/紙
89×69

11 コンポジション
1917年
コラージュ/紙
26×21

12 アローザ
1917年
墨、鉛筆/紙
18×22

13 鳥の仮面
1918年
木
19×23.5×3

14 コンポジション
1918年
コラージュ、油彩/紙
30.5×35

15 ダダ
1920年頃
墨、鉛筆/紙
27×21

16 無題
1922年
コラージュ/紙
33×25

17 トルソとヘソ
1924年
彩色された木
39.8×32×3

18 ひげを思わせる幻影
1924年
切り抜き、彩色された厚紙
80×60

19 時計
1924年
コラージュ/紙
31.8×24.7

20 振り子時計 II
1924年
コラージュ/紙
31.8×24.7

21 コンポジション
1924年
水彩/紙
23.9×33.1

22 木
1925年
コラージュ/紙
34×27.5

23 亡霊の腕
1925年
コラージュ/紙
34.2×29.3

24 コンポジション
1925年頃
グワッシュ/紙
26.4×23.2

25 石弓とヘソ
1926年
切り抜き、彩色された紙
62×50

26 頭部ースタビル
1926年
彩色された木
61×45

27 持ち上げられた平面ー“森のテーブル”
1926年
木
42×62×62

28 唇ー口
1926年
彩色された厚紙
31×22.5

29 唇
1926年
彩色された厚紙
42.5×40.5

30 椅子と瓶
1926年
彩色された厚紙
23×30

31 兜
1926年
コラージュ/紙
21.5×21

32 ダダ的な人のフォルム
1926年頃
コラージュ/紙
28.3×22.7

- | | | | | | |
|---|--|--|--|--|---|
| 33
孵化
1927年
コラージュ/紙
32.7×25 | 44
星座 III
1932年
彩色された木
83×38 | 55
ちぎった紙片
1934年
コラージュ、墨/紙
24.5×22 | 66
植物的なシンメトリー
1946年
彩色された木
55×49 | 76
人物一月のような、幽霊のような
1950年
ブロンズ
82.5×66×50.5 | 87
からみあった実体
1958年
ブロンズ
59×36×51 |
| 34
花
1928年
墨、鉛筆/紙
26.9×20.9 | 45
星座
1932年
コラージュ/紙
36.9×25.8 | 56
具体彫刻—丸い鉢の上の人物
1935年
ブロンズ
62×72×53.5 | 67
木—鉢のフォルム
1947年
ブロンズ
97×45×47 | 77
無題
1952年
鉛筆/紙
45×45 | 88
小さな劇場
1959年
ブロンズ
103.5×67×10.5 |
| 35
ひと、ひげ、へそ
1928-29年
彩色された木
80×78.8×9 | 46
シュルレアリスム的なコンポジション
1932年
コラージュ、墨/紙
32.5×24.5 | 57
幽霊の夜
1935年
コラージュ、墨/紙
23.5×19.2 | 68
鉢の上の小さなキマイラ
1947年
ブロンズ
78.5×46×43 | 78
タレスの国から
1954年
ブロンズ
24×32×24 | 89
植物のようなトルソ
1959年
ブロンズ
117×27×18 |
| 36
葉
1929年
彩色された紐/カンヴァス
73×59.7 | 47
ちぎった紙片
1932年
コラージュ/紙
16.5×25.2 | 58
灰色の上の黒い形体の星座
1937年
彩色された木
82.6×60.6 | 69
具体彫刻—丸い鉢の上の人物
1947年
ブロンズ
57×59×41 | 79
蛇の運動 II
1955年
ブロンズ
21×34×29 | 90
植物のような鋸壁のある敷居
1959年
ブロンズ
74×44.5×6.5 |
| 37
アンフォラの女
1929年
彩色された木
125×105 | 48
無題
1932年
コラージュ/紙
31.3×24 | 59
アダム以前の果実
1938年
ブロンズ
28.5×28.5×21 | 70
ちぎった紙片
1947年
コラージュ/紙
39×35.5 | 80
ダフネ
1955年
ブロンズ
122×36×30 | 91
小枝のある冠
1959年
ブロンズ
63.5×79 |
| 38
ひとつの形の上の3つの不快なオブジェ
1930年
ブロンズ
19×28.5×36.5 | 49
星座
1932年頃
彩色された木
69.5×84.2 | 60
構造
1938年
コラージュ、墨/紙
21.5×26.5 | 71
無題(ちぎられたゾフィー・トイベル=アルプのドローイング)
1947年
コラージュ/紙
32.5×24.8 | 81
顔
1955年
彩色された厚紙
44.5×30.5 | 92
うづくまるかたち
1960年
ブロンズ
42×55×22 |
| 39
葉 IV
1930年
彩色された木
19×34 | 50
具体彫刻—人物
1933年
ブロンズ
56×59×40 | 61
無題
1941年
木
33×32 | 72
無題(ちぎられたゾフィー・トイベル=アルプのドローイング)
1947年
コラージュ/紙
30×23.7 | 82
星
1956年
ブロンズ
41.5×35×6.5 | 93
デメテル
1960年
ブロンズ
65.4×35×28.5 |
| 40
果実の影
1930年
油彩/カンヴァス
69×58 | 51
無題
1933年
コラージュ、墨/紙
29.9×30.2 | 62
セイレン
1942年
ブロンズ
45×36×23 | 73
具体彫刻—丸い鉢の上の人物
1948年
ブロンズ
69.5×72×53.3 | 83
動物のおとぎ話
1956年
コラージュ/紙
27.5×22 | 94
影の彫像
1960年
ブロンズ
71×35×31 |
| 41
無題
1930年頃
グワッシュ/紙
29.9×25.8 | 52
指
1933年
コラージュ/紙
26.7×22.4 | 63
しわくちやの紙の上のドローイング
1942年
油彩/包装紙
64.5×49.5 | 74
ちぎった紙片の上に I
1948年
彩色された紙
29×23 | 84
動物のおとぎ話
1956年
コラージュ/紙
27.5×22 | 95
支配者の仮面
1960年
コラージュ/紙
49.5×34.5 |
| 42
花と果実
1930年頃
グワッシュ/紙
34.9×25.8 | 53
粗忽者
1934年
コラージュ、墨/紙
45.7×37.2 | 64
無題
1942年頃
墨、鉛筆/紙
26.5×21.5 | 75
ちぎった紙片の上に II
1948年
彩色された紙
23×29 | 85
蜘蛛
1958年
ブロンズ
43×36×2.8 | 96
翼のある存在
1961年
ブロンズ
105×24.5×27 |
| 43
トルソ
1931年
ブロンズ
30.5×18.5×14.5 | 54
コラージュ
1934年
コラージュ、墨/紙
24.5×31.1 | 65
無題(複雑な過程)
1945年
コラージュ/紙
32.5×24.6 | | 86
プトレマイオス II
1958年
ブロンズ
99×51.5×48 | 97
コンポジション
1961年
コラージュ/紙
25.5×22 |

- 98
無題
1961年
コラージュ/紙
25.4×21.7
- 99
デメテルの人形
1961年
ブロンズ
41×15×15.5
- 100
天の川の涙
1962年
ブロンズ
44×35×28
- 101
キューール
1963年
ブロンズ
98×23.5×34.5
- 102
《緑の鼻のある頭部》(1923年作)の変形
1964年
彩色された木
47×32×9
- 103
無題
1964-1966年
コラージュ/紙
25.7×21
- 104
地中海一群像
1965年
ブロンズ
77.5×92×54.5
- 105
無題
制作年不詳
墨、鉛筆/紙
31.2×25.2
- ジャン・アルプ&ゾフィー・トイベル=アルプ
- 106
さまざまな構成要素による水平と垂直
1919年
コラージュ/紙
36×36
- 107
夫婦一造形
1937年
木
39×29.5×27.5
- 108
デュオ・デッサン
1939年
墨/紙
27.4×20.9
- 109
デュオ・デッサン
1939年
クレヨン/紙
26.9×20
- 110
デュオ・デッサン
1939年
クレヨン/紙
26.8×21
- 111
デュオ・デッサン
1939年
墨/紙
27.4×20.9
- 112
デュオ・デッサン
1939年
墨/紙
27.4×20.9
- 113
デュオ・デッサン
1939年
墨/紙
27.4×20.9
- 114
デュオ・デッサン
1939年
墨/紙
27.4×20.9
- 115
デュオ・デッサン
1939年
墨/紙
27.4×21
- 116
デュオ・デッサン
1939年
墨/紙
27.4×21
- 117
デュオ・デッサン
1939年
墨/紙
27.5×21
- 118
デュオ・デッサン
1939年
墨/紙
27.5×21
- 119
デュオ・デッサン
1939年
墨/紙
27.5×21
- 120
デュオ・デッサン
1939年
墨/紙
27.5×21
- 121
デュオ・デッサン
1939年
墨/紙
27.5×21
- ゾフィー・トイベル=アルプ
- 122
水平と垂直によるコンポジション
1916年
グワッシュ/紙
21×13
- 123
水平と垂直によるコンポジション
1916年
グワッシュ/紙
21×21
- 124
水平と垂直によるコンポジション
1916年
グワッシュ/紙
7.2×8.4
- 125
水平と垂直によるコンポジション
1916年
グワッシュ/紙
9×3.5
- 126
コンポジション
1916年
グワッシュ/紙
7.9×5.7
- 127
水平と垂直によるコンポジション
1916年
クレヨン/紙
23.6×19.3
- 128
大きな三角形—水平と垂直によるコンポジ
ョン
1916年
クレヨン/紙
19.3×23.6
- 129
幾何学的形体と明るい青色の円のあるコンポ
ジション
1916-1918年
グワッシュ/紙
10.1×11.3
- 130
緊張関係にある要素
1917年
グワッシュ/紙
28.9×23.1
- 131
水平と垂直のコンポジションによる基本的な形
体
1917年
グワッシュ/紙
28×24
- 132
向かい合う三角形のある水平と垂直のコンポ
ジション
1918年
グワッシュ/紙
31.5×23
- 133
U形のあるコンポジション
1918年
水彩/紙
24.8×28.8
- 134
正方形、円、長方形、三角形からなるコンポジ
ョン
1918年
刺繍、染色した毛織物
61×62.5
- 135
水平と垂直のコンポジションによる多様な要素
1918年
グワッシュ/紙
22×19
- 136
さまざまな構成要素による水平と垂直のコン
ポジション
1919年
コラージュ/紙
20.2×20.2×50
- 137
切り取り、張り付けられた、水平と垂直の自由
なリズム
1919年
水彩/紙
30.3×21.8
- 138
さまざまな濃い色の四角形によるコンポジ
ョン
1920年
グワッシュ/紙
24×32.5
- 139
コンポジション
1920年
コラージュ、グワッシュ、水彩/紙
20.5×14.1
- 140
さまざまな濃い色の四角形によるコンポジ
ョン
1921年
グワッシュ/紙
26×35
- 141
ハリ、モンマルトル墓地
1926年
グワッシュ/紙
23×29.3
- 142
S形のあるコンポジション
1927年
グワッシュ/紙
26×32.5
- 143
鳥のモチーフによるコンポジション
1927年
グワッシュ/紙
26.5×33
- 144
鳥のモチーフによるコンポジション
1927年
水彩/紙
48×37
- 145
浜辺
1927年
グワッシュ/紙
26×35
- 146
長方形と曲がった柄のあるコンポジション
1928年
水彩/紙
27.7×37.4
- 147
長方形と曲がった柄のあるコンポジション
1928年
水彩/紙
27.5×37.6
- 148
図式化されたコンポジション
1931年
グワッシュ/紙
27.5×36.5
- 149
二つの円、二つの面、交差する線
1931年
グワッシュ/紙
25×30
- 150
扇型、円、線
1932年
グワッシュ/紙
32.6×23.5
- 151
均衡
1932年
油彩、鉛筆/カンヴァス
41.5×34
- 152
トリプティック(I—III)
1933年
油彩/カンヴァス
50×50
- 153
分割
1934年
コラージュ/紙
32.6×26
- 154
断面図のあるコンポジション
1936年
グワッシュ/紙
27×35
- 155
葉
1939年
クレヨン/紙
34.4×26.4
- 156
植生
1939年
クレヨン/紙
34.4×26.4
- 157
混沌の中の鮮やかな色彩の結び目
1940年
油彩/カンヴァス
33×41
- 158
幾何学的な線と波打つ線
1941年
クレヨン/紙
64×49.3
- 159
交差する直線、面、緑の十字架、青の十字架の
断片
1941年
クレヨン/紙
50.5×65.1
- 160
夏らしい線
1942年
油彩/厚紙
46×38

豊田市美術館所蔵作品数一覧

分野	種別	国外作家	国内作家	合計
美術	絵画	18	279	297
	水彩・素描	16	83	99
	版画	43	387	430
	彫刻・立体	46	46	92
	写真	0	33	33
	その他	2	2	4
	資料	8	63	71
	小計		263	1,062
デザイン		85	0	85
工芸		0	17	17
資料		45	152	197
小計		263	1,062	1,325
宮脇晴・綾子	絵画		30	30
	水彩・素描		11	11
	アブリケ		187	187
小計			228	228
小堀四郎	絵画		54	54
	水彩・素描		41	41
小計			95	95
高橋節郎	漆		147	147
	版画		25	25
	絵画		7	7
	陶磁		17	17
	その他		169	169
小計			365	365
合計		263	1,750	2,013

(平成11年3月31日現在)

所蔵作品数一覧

平成10年度

購入作品

寄贈作品

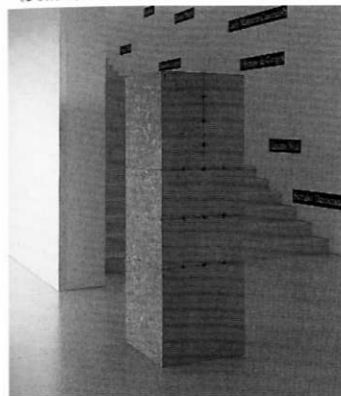
■購入作品
国外作家

《美術/絵画》

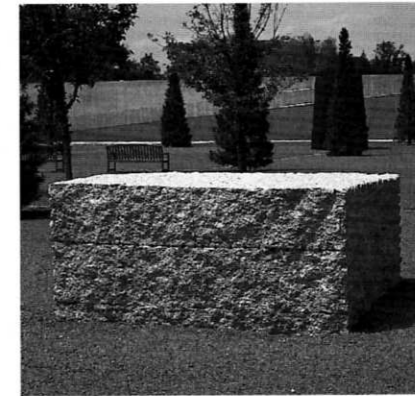


フランシス・ベーコン
Francis BACON
スフィンクス
1954年
油彩/カンヴァス
151.0×116.0

《美術/彫刻・立体》

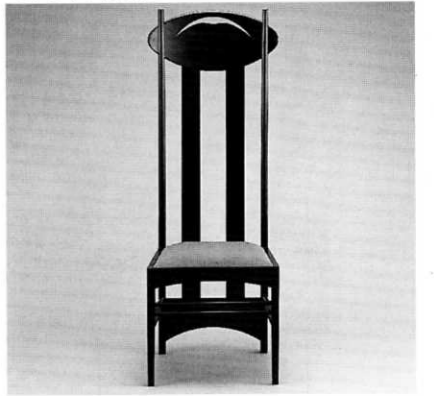


ウルリッヒ・リュックリーム
Ulrich RÜCKRIEM
無題(石柱)
1990年
砂岩
180.0×60.0×60.0

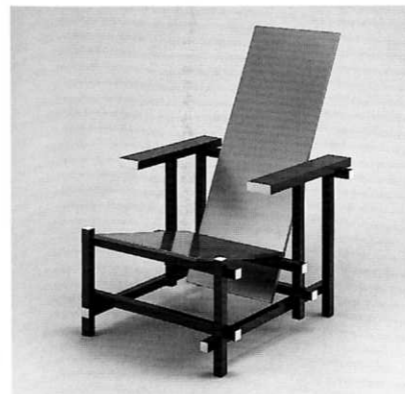


ウルリッヒ・リュックリーム
Ulrich RÜCKRIEM
無題(立方体)
1997年
御影石
100.0×240.0×240.0

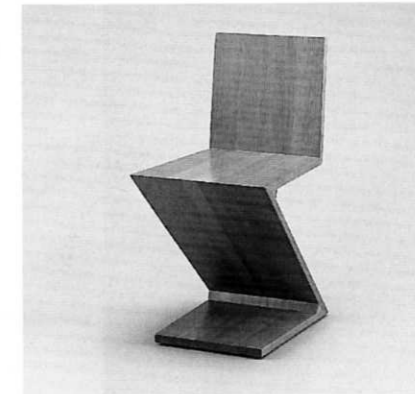
《デザイン/資料》



チャールズ・レニー・マッキントッシュ
Charles Rennie MACKINTOSH
302 アーガイル
トネリコ
137.0×51.5×46.5
※カッシーナ社による再制作品



ヘリット・トーマス・リートフェルト
Gerrit Thomas RIETVELD
635 レッドアンドブルーラウンジチェア
ブナ
88.0×65.5×83.0
※カッシーナ社による再制作品



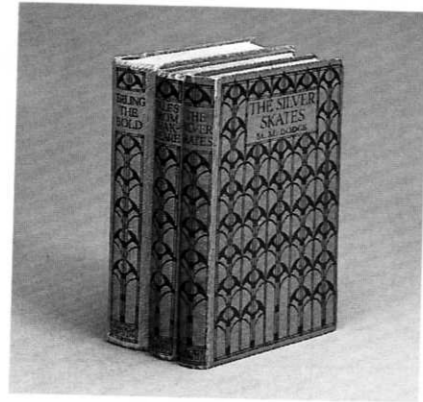
ヘリット・トーマス・リートフェルト
Gerrit Thomas RIETVELD
280 ジグザグアームレスチェア
サクラ
74.5×37.0×43.0
※カッシーナ社による再制作品



ル・コルビュジェ
Le CORBUSIER
LC4 シェーズロング
スティール、皮革
60.5×160.0
※カッシーナ社による再制作品



『ディ・フレッチェ』
1903年-04年
リトグラフ/紙
32.5×20.5



チャールズ・レニー・マッキントッシュ
Charles Rennie MACKINTOSH
ブラッキー&ソン社発行の書籍(全17点)
紙
各17.7×12.3

《美術/絵画》



菱田春草
HISHIDA Syunso
鹿
1909年
膠彩/絹布
127.8×51.0

《美術/彫刻・立体》



ジュゼッペ・ペノーネ
Giuseppe PENONE
爪の掻き傷
1997年
紙、石膏
480.0×3500.0

■購入作品
国内作家

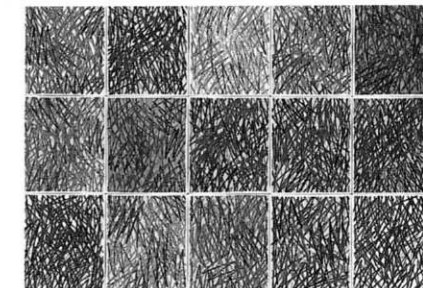
■寄贈作品
国外作家

■寄贈作品
国内作家

《美術/絵画》



小堀四郎
KOBORI Shiro
イタリア フィレンツェにて
1933年頃
油彩/ボード
18.5×23.8

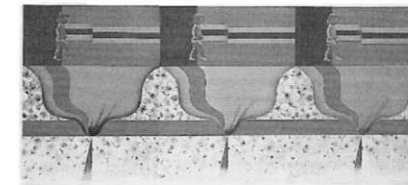


宮原ミツオ
MIYAHARA Mitsuo
"F8 senza titolo" M.15
1994年
油彩/カンヴァス
194.5×137.0

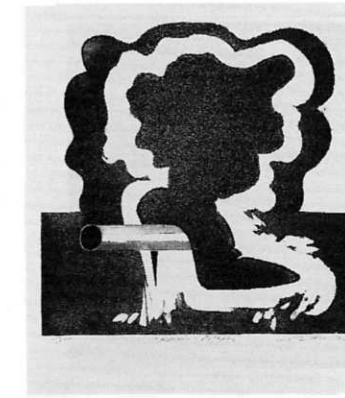
井田照一 52点
《版画》



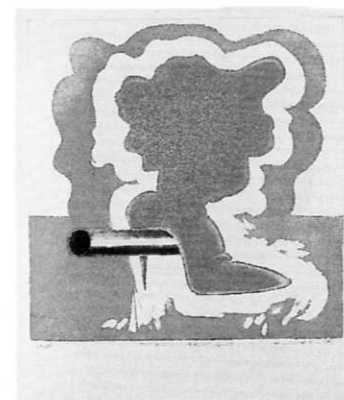
井田 照一
IDA Shoichi
Week Day
1966年
リトグラフ/紙
72.0×54.5



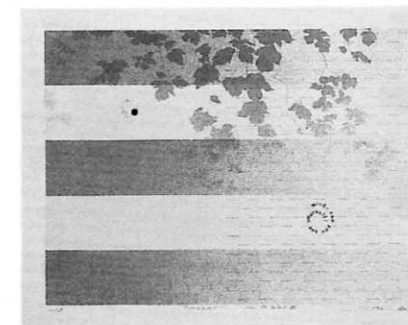
井田 照一
IDA Shoichi
Pansy-No.3
1969年
リトグラフ/紙
70.0×156.0



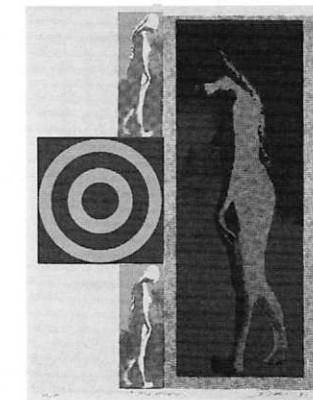
井田 照一
IDA Shoichi
Rain Tokyo
1970年
アクアティント/紙
37.5×32.5



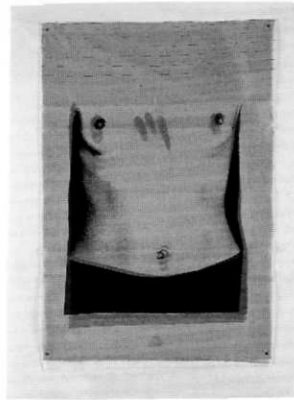
井田 照一
IDA Shoichi
Rain New York
1970年
アクアティント/紙
37.5×32.5



井田 照一
IDA Shoichi
Noon
1970年
リトグラフ/紙
27.0×34.5



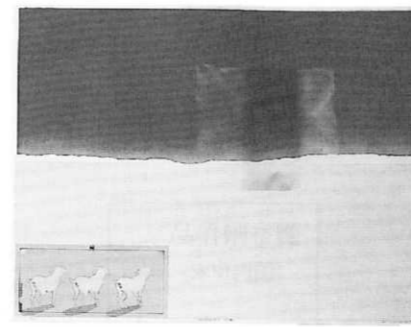
井田 照一
IDA Shoichi
The Door
1971年
リトグラフ/紙
33.3×25.2



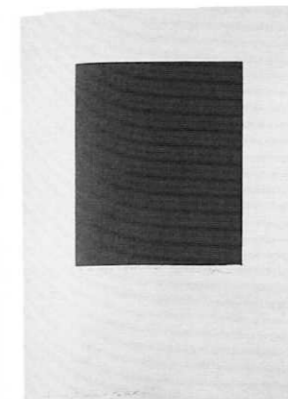
井田 照一
IDA Shoichi
Series-In front of, In back of-"Surface Hotel"
1972-74年
スクリーンプリント、リトグラフ、ホットスタンプ
/紗
95.0×64.0



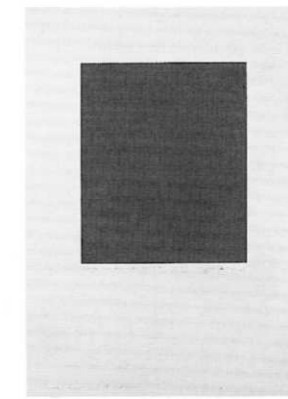
井田 照一
IDA Shoichi
Wind Dance
1973年
リトグラフ/紙
73.7×56.5



井田 照一
IDA Shoichi
Sprayed Dog
1973年
リトグラフ/紙
55.5×70.8



井田 照一
IDA Shoichi
Surface is the Between E-60
1979年
アクアティント/紙
70.5×50.0



17 井田 照一
IDA Shoichi
Surface is the Between E-62
1979年
アクアティント/紙
70.5×50.0



井田 照一
IDA Shoichi
Surface is the Between - Paper on Paper -
Between Vertical and Horizon - "Paper
Between Brook and Reflected moon"
1980年
スクリーンプリント、リトグラフ、シーヌコレ/紙
81.2×61.1



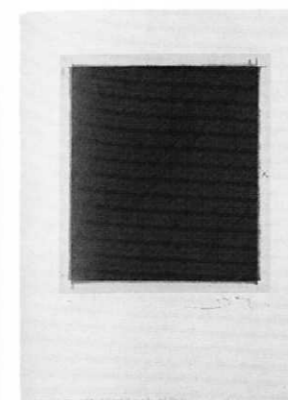
井田 照一
IDA Shoichi
The Spy Surrounds the Spy 7
1974年
リトグラフ/紙
43.5×43.5



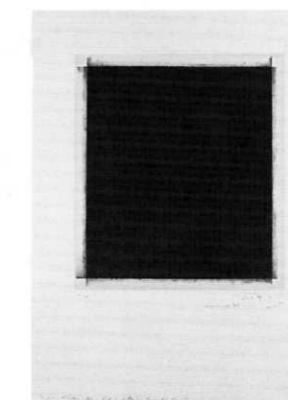
井田 照一
IDA Shoichi
The Spy Surrounds the Spy 8
1974年
リトグラフ/紙
44.2×43.7



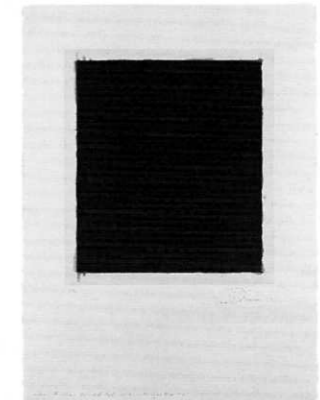
井田 照一
IDA Shoichi
Eleven Great Masters
1975-76年
リトグラフ/紙
92.5×65.5×5.5



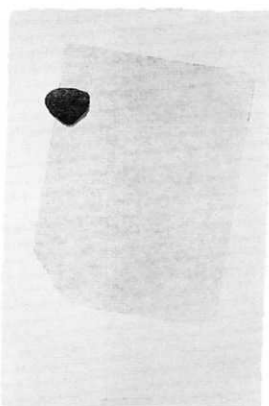
井田 照一
IDA Shoichi
Surface is the Between - Between Vertical
and Horizon - "Descended Blue No.1"
1982年
ラインエッチング、アクアティント、ドライポイン
ト、スピットバイト、シーヌコレ/紙
76.5×56.5



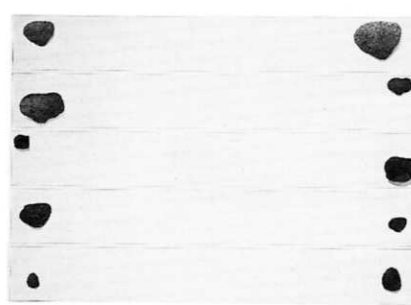
井田 照一
IDA Shoichi
Surface is the Between - Between Vertical
and Horizon - "Descended Blue No.2"
1982年
ラインエッチング、アクアティント、ドライポイン
ト、スピットバイト、シーヌコレ/紙
76.5×56.5



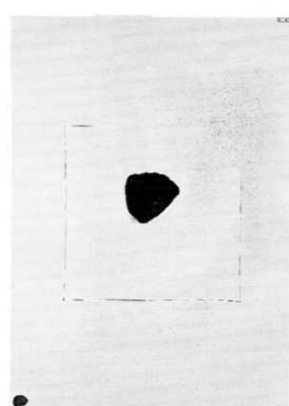
井田 照一
IDA Shoichi
Surface is the Between - Between Vertical
and Horizon - "Descended Blue No.3"
1982年
ラインエッチング、アクアティント、ドライポイン
ト、スピットバイト、シーヌコレ/紙



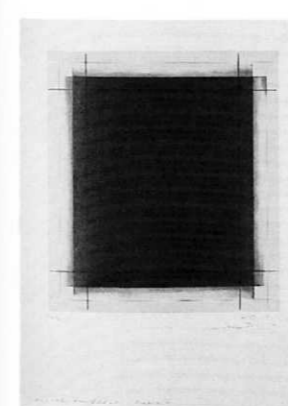
井田 照一
IDA Shoichi
Surface is the Between - Between Vertical
and Horizon - "Stone, Paper and Stone"
1976年
リトグラフ/和紙
93.0×62.0



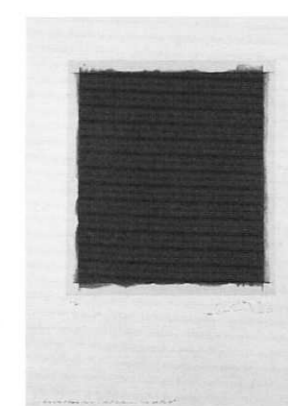
井田 照一
IDA Shoichi
Surface is the Between - Between Vertical
and Horizon - "Ten Some Stones"
1976年
リトグラフ/紙
63.5×90.9



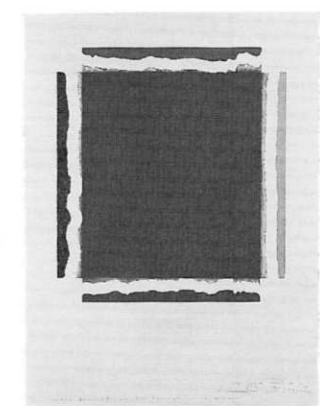
井田 照一
IDA Shoichi
Surface is the Between - Between Vertical
and Horizon - "Stone for Paper"
1976年
リトグラフ/紙



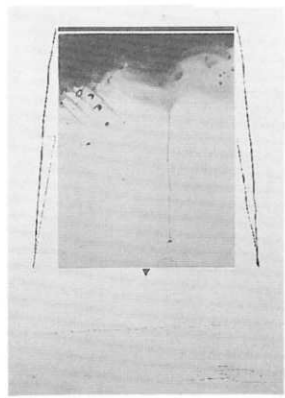
井田 照一
IDA Shoichi
Surface is the Between - Between Vertical
and Horizon - "Descended Blue No.4"
1982年
ラインエッチング、アクアティント、ドライポイン
ト、スピットバイト、シーヌコレ/紙
76.5×56.5



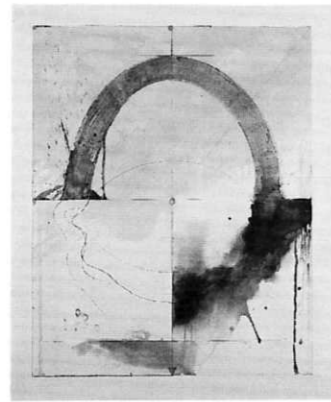
井田 照一
IDA Shoichi
Surface is the Between - Between Vertical
and Horizon - "Descended Blue No.5"
1982年
ラインエッチング、アクアティント、ドライポイン
ト、スピットバイト、シーヌコレ/紙
76.5×56.5



井田 照一
IDA Shoichi
Surface is the Between - Between Vertical and Horizon -
"Between Corrosion of Iron, Copper, Silver and Gold No.1"
1986年
スピットバイト、ラインエッチング、ドライポイン
ト、アクアティント/紙
78.0×58.0

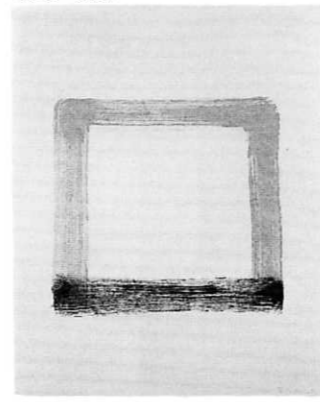


井田 照一
IDA Shoichi
Between Ascended Horizon and Descended
Horizon No.1 - Descended Triangle
1987年
スピットパイト、ドライポイント、ソフトグランド、
シーヌコレ/紙
99.5×70.0

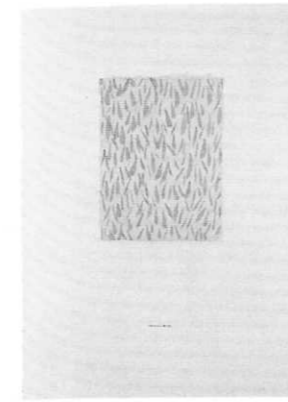


井田 照一
IDA Shoichi
Surface is the Between - Between Vertical and
Horizon - Descended Triangle (Circle)
1987年
カラーエッチング、ドライポイント、アクアティン
ト、シーヌコレ/紙
129.5×105.5

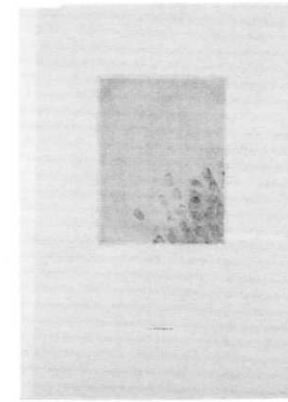
(水彩・素描)



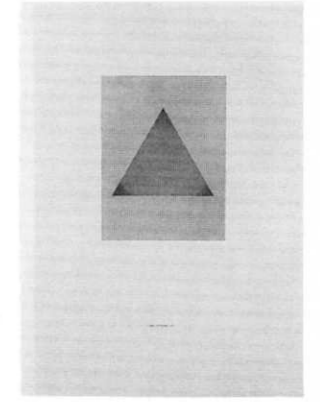
井田 照一
IDA Shoichi
Surface is the Between - Between Vertical
and Horizon - "Square No.52" 1976年
墨、シーヌコレ/和紙
75.5×61.0



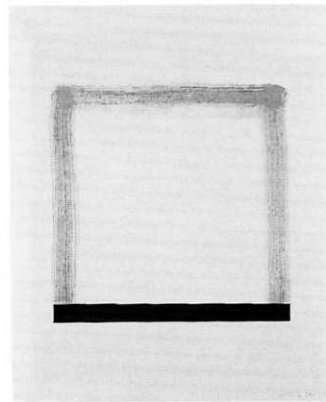
井田 照一
IDA Shoichi
Surface is the Between
1977年
水彩、シーヌコレ/紙
63.8×45.5



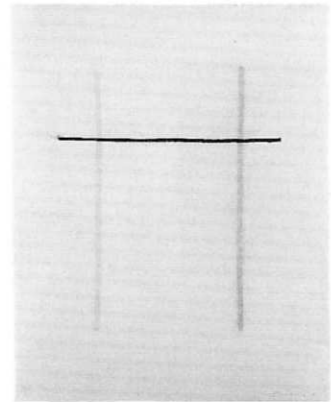
井田 照一
IDA Shoichi
Surface is the Between
1977年
パステル、シーヌコレ/紙
63.3×45.8



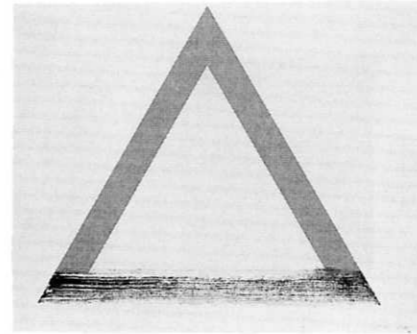
井田 照一
IDA Shoichi
Surface is the Between
1977年
パステル、鉛筆、シーヌコレ/紙
63.3×45.5



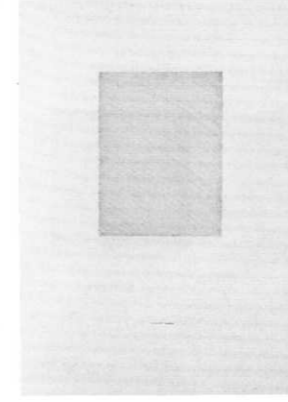
井田 照一
IDA Shoichi
Surface is the Between - Between Vertical
and Horizon - "Square No.60"
1976年
墨、シーヌコレ/和紙



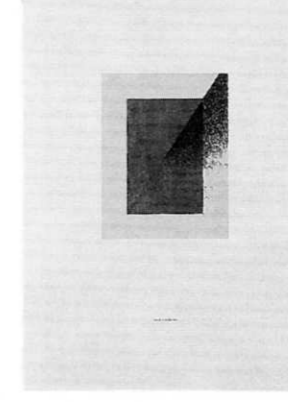
井田 照一
IDA Shoichi
Surface is the Between - Between Vertical
and Horizon - "Crossing No.20" 1976年
木炭、シーヌコレ/和紙
75.5×60.8



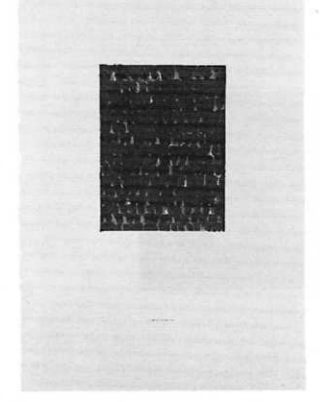
井田 照一
IDA Shoichi
Surface is the Between - Between Vertical
and Horizon - "Triangle No.56" 1976年
墨、シーヌコレ/和紙
60.5×75.5



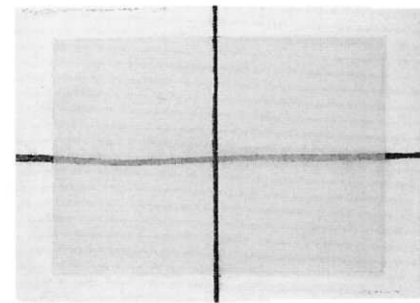
井田 照一
IDA Shoichi
Surface is the Between
1977年
パステル、シーヌコレ/紙
63.8×45.5



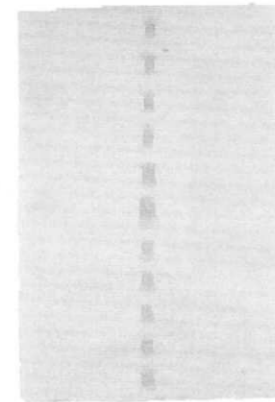
井田 照一
IDA Shoichi
Surface is the Between
1977年
パステル、インク、シーヌコレ/紙
63.0×45.3



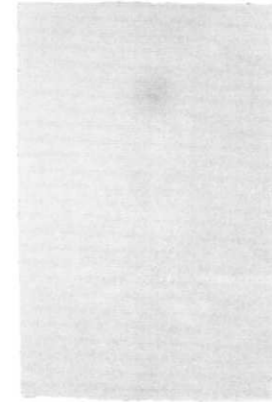
井田 照一
IDA Shoichi
Surface is the Between
1977年
顔料、シーヌコレ/紙
63.5×45.2



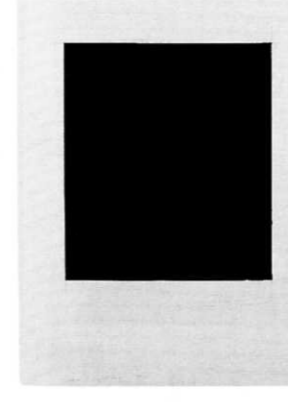
井田 照一
IDA Shoichi
No.11 Between Line to Line
1976-77年
木炭、シーヌコレ/紙
56.5×90.9



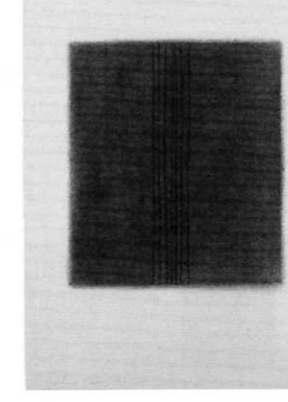
井田 照一
IDA Shoichi
Surface is the Between - Between Vertical and Horizon
- "Effect with Colored Water No. 60 - Pink"
1977年
水彩/和紙
62.5×94.5



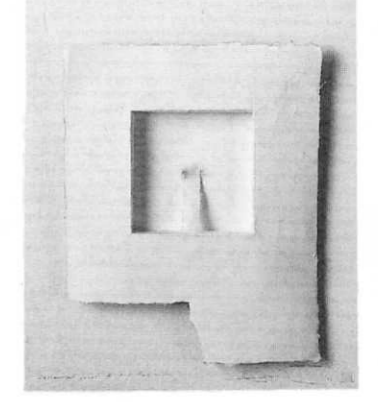
井田 照一
IDA Shoichi
Water and Watercolor
1977年
水彩/和紙
94.0×62.3



井田 照一
IDA Shoichi
Surface is the Between
1979年
パステル/紙
65.7×55.0

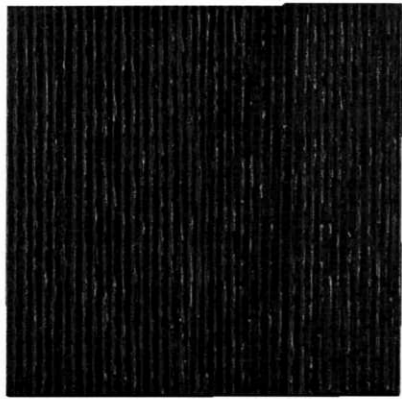


井田 照一
IDA Shoichi
Surface is the Between
1979年
パステル/紙
65.7×55.0

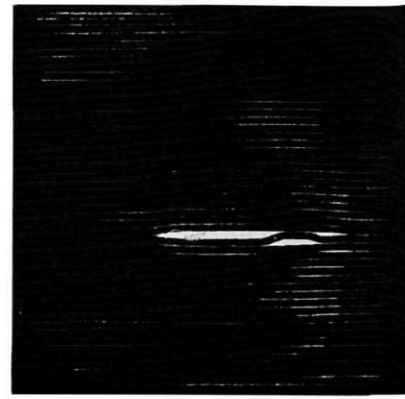


井田 照一
IDA Shoichi
Descended Level No.207 Red Water
1983年
型/紙
50.0×42.4×4.0

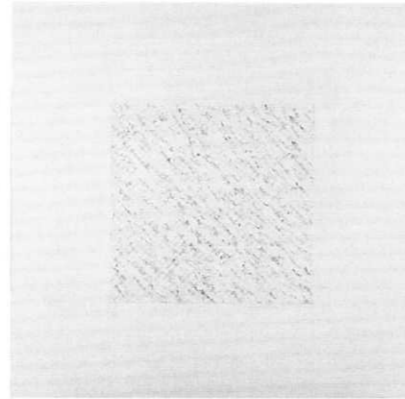
〈絵画〉



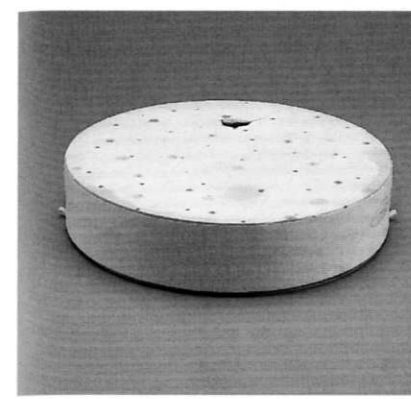
井田 照一
IDA Shoichi
Surface is the Between - Between Vertical and Horizon, T108
1979年
油彩/カンヴァス
50.0×50.0×4.0



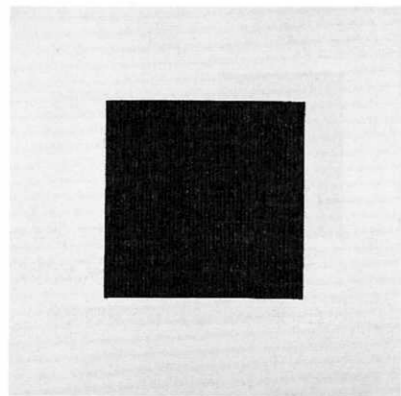
井田 照一
IDA Shoichi
Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Complex Contact - Finger Echo - Black No.150
1981年
アクリル、顔料、繊維引き抜き/カンヴァス
50.0×50.0×10.0



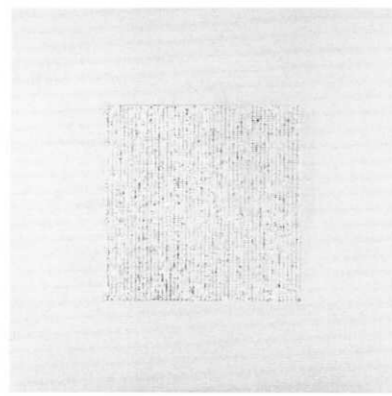
井田 照一
IDA Shoichi
Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Complex Contact - Finger Echo - Yellow and White No.97
1982年
油彩/カンヴァス
100.0×100.0×5.5



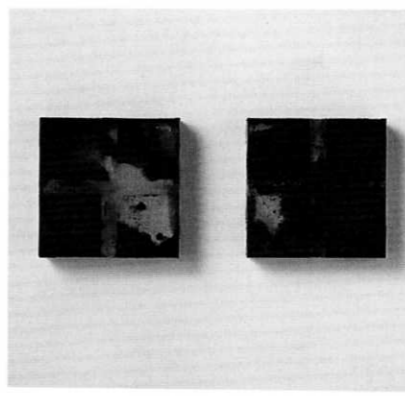
井田 照一
IDA Shoichi
Paper Drum
1987年
リトグラフ/紙
H 8.0、φ 38.2



井田 照一
IDA Shoichi
Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Complex Contact - Finger Echo - Red and Black No.98
1983年
油彩/カンヴァス
100.0×100.0×5.0

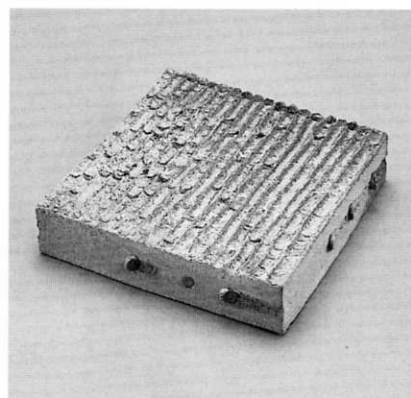


井田 照一
IDA Shoichi
Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Complex Contact - Finger Echo - Yellow and White No.95
1983-85年
油彩/カンヴァス
100.0×100.0×5.0

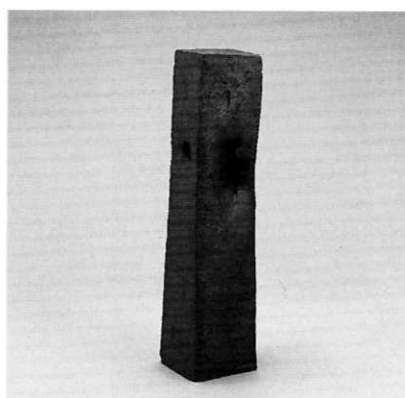


井田 照一
IDA Shoichi
Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Contact Paint - Material Echo No.7
1983年
油彩/カンヴァス
20.0×20.0×5.0 2点組

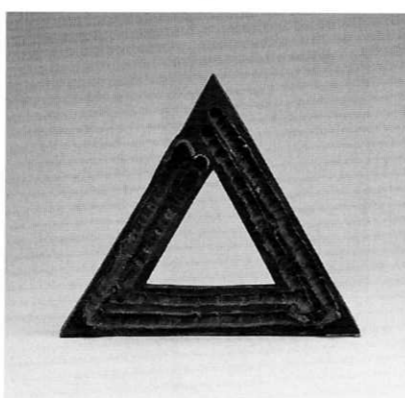
〈彫刻・立体〉



井田 照一
IDA Shoichi
Complex Contact - Touch the Earth - Locus Sutra - Square No.20
1982年
陶
25.0×25.0×5.5



井田 照一
IDA Shoichi
Fossilized Locus No.49 -column-
1983年
陶
48.0×11.0×11.0



井田 照一
IDA Shoichi
Fossilized Locus No.50 -Triangle-
1983年
陶
37.0×42.4

宮脇綾子作品
MIYAWAKI Ayako

1
伊勢えび
1982年
アブリケ/紙
82.5×58.2

2
はりえ日記
1972-90年
水彩、アブリケ/布、紙、折本/70冊
各30.2×21.0

3
木綿藍型染干柿
1973-88年
アブリケ/布、紙、折本/16冊
28.7×18.1

4
木綿縞乾柿型集
アブリケ/布、紙、折本/15冊
28.7×18.1

5
縞魚型文様集
アブリケ/布、紙、折本/22冊
28.7×8.9

6
布置刺繍
アブリケ/布、紙、製本/1冊
55.0×19.7

7
すずめ
1948年
アブリケ/布
53.0×13.0

8
かれい
1955年
アブリケ/布
32.0×40.5

9
干しがれい
1957年
アブリケ/布
103.0×177.0

10
春
1957年
アブリケ/布
34.0×44.0

11
なす
1960年
アブリケ/布
26.5×50.0

12
さんまと干柿
1963年
アブリケ/布
30.5×48.0

13
あやめ
1963年
アブリケ/布
54.0×34.5

14
かやつり草
1964年
アブリケ/布
60.0×30.0

15
夏水仙
1964年
アブリケ/布
37.0×24.0

16
つゆくさ
1964年
アブリケ/布
32.0×27.0

17
ねこじゃらし
1964年
アブリケ/布
57.5×27.5

18
にろぎ50尾
1964年
アブリケ/布
44.0×34.0

19
根曲り(根曲り竹)
1964年
アブリケ/布
90.0×59.0

20
どくだみ
1965年
アブリケ/布
39.0×29.5

21
にわとり
1968年
アブリケ/布
26.0×23.5

購入作品
寄贈作品

22
小さな魚たち
1968年
アブリケ/布
108.5×140.0

23
どくだみ(バック赤茶)
1969年
アブリケ/布
34.5×18.0

24 はぜ
1969年
アブリケ/布
21.0×35.0

25 かぼちゃ(刺し子)
1972年
アブリケ/布
43.0×29.5

26
みつばとねぎの根
1973年
アブリケ/布
13.0×24.0

27
日本レモン
1973年
アブリケ/布
30.0×35.5

28
干柿 のれん
1973年
アブリケ/布
94.0×62.0

29
縞の魚百尾
1973年
アブリケ/布
85.0×197.0

30
鮭
1973年
アブリケ/布
107.0×37.0

31
藍型染綴合せ壁掛
1973年頃
アブリケ/布
189.5×181.2

32
黄色の魚たち
1974年
アブリケ/布
27.0×24.0

33
花になったふきのとう
1975年
アブリケ/布
59.5×29.5

34
日本南半島の日の出
1976年
アブリケ/布
20.0×27.5

35
新ごぼう
1976年
アブリケ/布
41.0×33.5

36
蕪の花
1976年
アブリケ/布
49.0×34.0

37
芽キャベツ
1977年
アブリケ/布
68.0×33.5

38
野菜
1977年
アブリケ/布
68.0×33.5

39
京人参
1977年
アブリケ/布
60.5×36.5

40
はもの干もの
1978年
アブリケ/布
75.5×31.0

41
小鯛のひもの
1978年
アブリケ/布
81.0×31.0

42
いちじく
1978年
アブリケ/布
42.0×32.0

43
れんこん
1978年
アブリケ/布
114.8×66.5

44
ハンドバックで作った魚
1978年
アブリケ/布
55.0×36.5

45
すいかの切り口
1978年
アブリケ/布
44.0×35.0

46
玉ねぎ断面
1979年
アブリケ/布
34.0×21.0

47 枝豆
1979年
アブリケ/布
39.0×29.0

48
縞のひょうたん
1980年
アブリケ/布
59.0×29.5

49
いちご
1980年
アブリケ/布
31.0×38.0

50
うぐい
1980年
アブリケ/布
38.0×36.0

51
芽の伸びたこんにゃく芋
1985年
アブリケ/布
94.0×34.0

52
蟹
1985年
アブリケ/布
41.5×78.0

53
こごみ
1986年
アブリケ/布
25.5×37.0

54
かぼちゃ
1987年
アブリケ/布
35.5×53.0

55
芽の出たさつまいも
1987年
アブリケ/布
32.5×46.0

56
あかごち
1989年
アブリケ/布
31.0×35.0

57
たいやき
1989年
アブリケ/布
35.0×36.5

58
鈍豆
1989年
アブリケ/布
54.0×90.0

59
パイナップル
アブリケ/布
38.0×27.0

60
さしみを取ったあとのかわい
アブリケ/布
37.0×22.5

61
鱈とハタハタ
アブリケ/布
24.0×33.2

平成10年度作品貸出実績

※会期が複数年度にまたがる巡回展は、平成10年度分のみを記した。

作家名	作品名	展覧会名(期間) 会場	会期
宮脇綾子	柿 ほか74点	アプリケ芸術50年—宮脇綾子 (平成9年4月3日—平成10年4月13日:15館巡回) 柏・高島屋	平成10年4月2日—4月13日
高松次郎	紐 (黒No.1)	OUT OF ACTION: BETWEEN PERFORMANCE AND THE OBJECT, 1994-1979 (平成10年2月8日—平成11年4月11日:3館巡回) Österreichisches Museum für angewandte Kunst, Vienna Museu d'Art Contemporani de Barcelona, Barcelona 東京都現代美術館	平成10年6月17日—9月6日 平成10年10月15日—1月6日 平成11年2月11日—4月11日
草間彌生	No. AB.	Love Forever: Yayoi Kusama, 1958-1968 (平成10年3月8日—平成11年3月7日:3館巡回) The Museum of Modern Art, New York The Walker Art Center, Minneapolis	平成10年7月9日—9月22日 平成10年12月13日—平成11年3月7日
菱田春草	春色	天心傘下の巨匠たちⅡ—朦朧体期を中心として 飯田市美術博物館	平成10年4月25日—5月24日
オスカー・ココシュカ	コロナ I	生誕百年記念東郷青児展 (平成10年4月28日—10月18日:3館巡回) 安田火災東郷青児美術館 岡崎市美術館 北海道立近代美術館	平成10年4月28日—6月28日 平成10年8月5日—8月23日 平成10年9月5日—10月18日
和田英作	高岡風景	和田英作展 (平成10年8月1日—11月3日:2館巡回) 静岡県立美術館 鹿児島市立美術館	平成10年8月1日—9月20日 平成10年10月1日—11月3日
和田英作	静物		
アルベルト・ジャコメッティ	ディエゴの胸像	パトロンと芸術家—井上房一郎の世界 群馬県立近代美術館、高崎市美術館	平成10年9月19日—11月3日
小堀四郎	ブルー・ニューの男	没後10年 小磯良平展 兵庫県立近代美術館 小倉遊亀展 高岡市美術館	平成10年9月12日—11月8日 平成10年9月12日—10月11日
小堀四郎	黄衣の女		
小倉遊亀	山茶花		
ジュゼッペ・ペノーネ	息吹 No.7	かたちの領分—機能美とその転生— 東京国立近代美術館工芸館	平成10年10月3日—11月23日
加藤農明	舞妓「まめ鶴」	湯河原ゆかりの美術館開館記念特別展 加藤農明展 湯河原ゆかりの美術館	平成10年10月1日—11月17日
加藤農明	唱		
加藤農明	弾く「長谷川弥生」		
加藤農明	粧		
加藤農明	寄「前野冴子」		
加藤農明	舞妓「福鶴」		
加藤農明	響「長谷川陽子」		
加藤農明	黒いドレス「長谷川弥生」		
加藤農明	静日「下川姉妹」		
加藤農明	舞妓「豆春」		
河原温	JUNE 30, 1978	なぜ、これがアートなの? (平成10年7月21日—平成11年3月21日:3館巡回) 川村記念美術館 水戸芸術館現代美術センター	平成10年10月8日—12月6日 平成10年12月19日—平成11年3月21日
ルネ・マグリット	無謀な企て		
ルーチョ・フォンターナ	空間概念	エコール・ド・パリの異邦人—バスキンを中心に— 稲沢市萩須記念美術館	平成10年10月29日—11月29日
ヨーゼフ・ボイス	ジョッキー帽		
クリスチャン・ボルタンスキー	聖遺物箱(プリームの祭り)/川村会場のみ		
マリノ・マリーニ	ジョヴィネッタ:若い女		
コンスタンティン・ブランクーシ	雄鶏		
伊豆原麻谷	山本人物花鳥図巻	町政40周年記念特別展 郷土の画人 伊豆原麻谷 三好町立歴史民族資料館	平成10年11月21日—12月20日
速水御舟	林檎 (果物)	近代の美術—洋画家・日本画家たちの模索と展開 愛媛県美術館	平成10年11月26日—平成11年1月10日
安田毅彦	風来山人	日本美術院創立100周年記念展 広島県立美術館	平成10年12月15日—平成11年1月15日
島田章三	子供の領分	島田章三展 (平成11年1月5日—5月16日:3館巡回) 三重県立美術館 笠間日動美術館	平成11年1月5日—2月14日 平成11年2月20日—4月4日

教育普及

*1 財団法人 豊田市美術文化振興財団主催
*2 財団法人 高橋記念芸術振興財団主催

[1] 講座

①美術講座

美術館学芸員による展示及び所蔵作品についての美術講座を開催

- ・日時 午後2時～午後3時30分 年6回 (随時)
- ・会場 美術館講堂
- ・入場料 無料

②漆実技講座*2

漆の魅力を体験できる実技講座を開催

- ・日時 平成10年9月27日～11月15日
までの毎日曜日 全8回
A: 午後0時～午後2時
B: 午後3時～午後5時の2コース
(各12名) / 有料
- ・会場 高橋節郎館アトリエ

[2] 講演会

企画展に関連した記念講演会を開催*1

- ・日時 年4回 午後2時～午後3時30分
- ・会場 美術館講堂
- ・入場料 無料 (ただし、当日の観覧券が必要)

[3] 啓発活動*1

ビデオシアター 映像による作家の生きた情報を提供することにより、美術作品を鑑賞する手助けとする

- ・日時 年5回 午後1時～
- ・会場 美術館講堂
- ・入場料 無料

[4] 芸術文化活動

美術館コンサート*2

- ・日時、内容

日時	内容
平成10年6月21日	フルーツとピアノ
平成10年10月4日	歌とアンサンブル
平成11年2月14日	オフェリアス弦楽四重奏

※時間は、いずれも午後2時～午後3時30分

- ・会場 美術館講堂
- ・入場料 無料 (ただし、当日の観覧券が必要)

[5] カタログ制作

①企画展

カタログ名	規格	ページ数	販売価格	発行
ヴァチカン美術館展 中世のフレスコ画	A4判変形 (29.7×22.4cm)	32P	1,350円	平成10年9月
Jean Arp & Sophie Taubert-Arp	A4判変形 (29.9×22.7cm)	250P	3,900円	平成10年10月

※デ・ステイル展の「DE STIJL」はセゾン美術館が制作したもの(305P、3,990円)、なぜ、これがアートなの?展の「なぜ、これがアートなの?」は株式会社制作したもの(200P、2,625円)を販売した。

②所蔵品によるテーマ展示

カタログ名	規格	ページ数	販売価格	発行
Modern Design in Vienna -ウィーンのデザイン-	A4判変形 (29.7×22.7cm)	20P	1,200円	平成10年7月

[6] ミュージアムグッズ制作

①所蔵品関係

品目名	種類	販売価格	製作
ポストカードセット	宮脇綾子 I、II	各1,000円	平成11年3月

[7] 視聴覚資料一覧

①ビデオソフト (VHS)

	タイトル	巻・号	サブタイトル	制作・発行
1	ヨーロッパ美術史	1	永遠なるギリシャ	NHKソフトウェア・日本文教出版
2	ヨーロッパ美術史	2	古代ローマの遺産	NHKソフトウェア・日本文教出版
3	ヨーロッパ美術史	3	ピサンチンの栄光	NHKソフトウェア・日本文教出版
4	ヨーロッパ美術史	4	聖なる世界ロマネスク	NHKソフトウェア・日本文教出版
5	ヨーロッパ美術史	5	大聖堂の時代ゴシック	NHKソフトウェア・日本文教出版
6	ヨーロッパ美術史	6	人間賛歌ルネサンス	NHKソフトウェア・日本文教出版
7	ヨーロッパ美術史	7	華麗なるバロック	NHKソフトウェア・日本文教出版
8	ヨーロッパ美術史	8	悦楽の美ロココ	NHKソフトウェア・日本文教出版
9	日本美術史	1-1	呪術の形と装飾	美術出版デザインセンター
10	日本美術史	2-1	仏教文化と仏像の美	美術出版デザインセンター
11	日本美術史	2-2	寺院建築の変遷	美術出版デザインセンター
12	日本美術史	3-1	密教美術の成立	美術出版デザインセンター
13	日本美術史	3-2	王朝文化の成熟	美術出版デザインセンター
14	日本美術史	4-1	中世美術の流れ	美術出版デザインセンター
15	日本美術史	5-1	水墨画・庭園・城・障壁画	美術出版デザインセンター
16	日本美術史	5-2	南蛮美術	美術出版デザインセンター
17	日本美術史	6-1	江戸時代の美術	美術出版デザインセンター
18	日本美術史	6-2	浮世絵の系譜と西洋への影響	美術出版デザインセンター
19	日本美術史	7-2	日本画の伝統と変革	美術出版デザインセンター
20	極める 匠の世界	漆工芸1	漆芸の完成を求めて	テレビ東京・丸善
21	極める 匠の世界	漆工芸3	花を蒔く	テレビ東京・丸善
22	極める 匠の世界	漆工芸4	色漆の心を彫る	テレビ東京・丸善
23	極める 匠の世界	漆工芸6	蘇る女の髪	テレビ東京・丸善
24	極める 匠の世界	漆工芸7	漆箱の宇宙	テレビ東京・丸善
25	極める 匠の世界	漆工芸9	強くしなやかに	テレビ東京・丸善
26	極める 匠の世界	漆工芸11	漆の美を支えて	テレビ東京・丸善
27	極める 匠の世界	木工芸3	かしらに生命をこめる	テレビ東京・丸善
28	極める 匠の世界	木工芸4	竹と語り美を編む	テレビ東京・丸善
29	極める 匠の世界	木工芸5	木と語る匠	テレビ東京・丸善
30	極める 匠の世界	木工芸7	彩りをかざる	テレビ東京・丸善
31	極める 匠の世界	木工芸8	能の心を打つ	テレビ東京・丸善
32	極める 匠の世界	木工芸9	木の息を聴く	テレビ東京・丸善
33	極める 匠の世界	木工芸10	桐にいのちを	テレビ東京・丸善
34	art video library	1	マルセル・デュシャン事件	オン・サンデーズ
35	art video library	2	ギルバート&ジョージの世界	オン・サンデーズ
36	art video library	4	ピカソ：天才の遺産	オン・サンデーズ
37	art video library	5	クリスト：制作中	オン・サンデーズ
38	art video library	6	ニュー・ベインティングの旗手たち	オン・サンデーズ
39	art video library	7	アンディ・ウォーホル	オン・サンデーズ
40	art video library	9	キュレイター：ヤン・フォート	オン・サンデーズ
41	art video library	11	ドクメンタ9	オン・サンデーズ
42	art video library	12	ジャクソン・ポロック	オン・サンデーズ
43	art video library	13	フランシス・ベーコン	オン・サンデーズ
44	art video library	14	デヴィッド・ホックニー	オン・サンデーズ
45	art video library	15	ジャスパー・ジョーンズ	オン・サンデーズ
46	art video library	16	ロイ・リキテンスタイン	オン・サンデーズ
47	宮脇綾子の世界			
48	ローランド・コレクション	470	チャールズ・レニー・マッキントッシュ	
49	ローランド・コレクション	480	エクトロジエ	
50	ローランド・コレクション	500	カンディンスキー	
51	ローランド・コレクション	505	ブリュッケ	
52	ローランド・コレクション	508	ケーテ・コルヴィッツ	
53	ローランド・コレクション	510	エミール・ノルデ	
54	ローランド・コレクション	513	ココシユカ	
55	ローランド・コレクション	515	パウハウス	
56	ローランド・コレクション	517	人間と仮面	
57	ローランド・コレクション	518	バウル・クレー	
58	ローランド・コレクション	560	マックス・エルンスト	
59	ローランド・コレクション	570	慈善週間	
60	ローランド・コレクション	572	幻想の世界	
61	ローランド・コレクション	575	スタインバーク	
62	なぜ、これがアートなの？			淡交社

①レーザーディスク

	タイトル	巻・号	サブタイトル	制作・発行
1	霧の画家 牧野義雄			豊田市美術館
2	漆芸作家高橋節郎の世界			豊田市美術館
3	豊田市美術館 (概要)			豊田市美術館
4	平成7-8年度自主企画展の記録			豊田市美術館
5	平成9年度自主企画展の記録			豊田市美術館
6	平成10年度自主企画展の記録			豊田市美術館

②ハイビジョン

	タイトル	巻・号	サブタイトル	制作・発行
1	漆芸作家高橋節郎の世界			豊田市美術館
2	永遠の美クリムトの女性肖像画			豊田市美術館
3	エゴン・シーレ			豊田市美術館
4	19世紀フランス美術の世界4	19世紀の絵画運動1	新古典主義 理性の美	ハイビジョンミュージアム推進協議会、東京ハイビジョン
5	19世紀フランス美術の世界4	19世紀の絵画運動2	ロマン主義 情熱の美	ハイビジョンミュージアム推進協議会、東京ハイビジョン
6	19世紀フランス美術の世界4	19世紀の絵画運動3	バルビゾン派 自然との対話	ハイビジョンミュージアム推進協議会、東京ハイビジョン
7	19世紀フランス美術の世界4	19世紀の絵画運動4	レアリスム 時代を生きる	ハイビジョンミュージアム推進協議会、東京ハイビジョン
8	19世紀フランス美術の世界4	19世紀の絵画運動5	アカデミズム 主流派の美学	ハイビジョンミュージアム推進協議会、東京ハイビジョン
9	19世紀フランス美術の世界4	19世紀の絵画運動6	ジャポニスム 日本との出会い	ハイビジョンミュージアム推進協議会、東京ハイビジョン
10	19世紀フランス美術の世界4	19世紀の絵画運動7	印象派 光の中へ	ハイビジョンミュージアム推進協議会、東京ハイビジョン
11	19世紀フランス美術の世界4	19世紀の絵画運動8	新印象派 点描の科学	ハイビジョンミュージアム推進協議会、東京ハイビジョン
12	19世紀フランス美術の世界4	19世紀の絵画運動9	象徴主義 幻想の美学	ハイビジョンミュージアム推進協議会、東京ハイビジョン
13	19世紀フランス美術の世界4	19世紀の絵画運動10	ボン＝タヴェン派とナビ派	ハイビジョンミュージアム推進協議会、東京ハイビジョン
14	シカゴ美術館コレクション		新しい自然の発見 ロマン派から	ハイビジョンミュージアム推進協議会、三洋電機
15	シカゴ美術館コレクション		光の賛歌 フランス印象派の華	ハイビジョンミュージアム推進協議会、三洋電機
16	シカゴ美術館コレクション		光と闇 後期印象派の精髓	ハイビジョンミュージアム推進協議会、三洋電機
17	シカゴ美術館コレクション		20世紀美術の曙	ハイビジョンミュージアム推進協議会、三洋電機
18	シカゴ美術館コレクション		アメリカ美術のメッセージ	ハイビジョンミュージアム推進協議会、三洋電機
19	連作の魅力		ボブラ (モネ)	ハイビジョンミュージアム推進協議会
20	連作の魅力		積み藁 (モネ)	ハイビジョンミュージアム推進協議会
21	連作の魅力		ルーアン大聖堂 (モネ)	ハイビジョンミュージアム推進協議会
22	連作の魅力		踊り子 (ドガ)	ハイビジョンミュージアム推進協議会
23	連作の魅力		浴女 (ドガ)	ハイビジョンミュージアム推進協議会
24	連作の魅力		浴女たち (ルノワール)	ハイビジョンミュージアム推進協議会
25	連作の魅力		ひまわり (ゴッホ)	ハイビジョンミュージアム推進協議会
26	連作の魅力		太陽と星空 (ゴッホ)	ハイビジョンミュージアム推進協議会
27	連作の魅力		楽園タヒチ (ゴッホ)	ハイビジョンミュージアム推進協議会
28	連作の魅力		サント・ヴィクトワール山 (セザンヌ)	ハイビジョンミュージアム推進協議会
29	連作の魅力		くだもの (セザンヌ)	ハイビジョンミュージアム推進協議会
30	連作の魅力		水浴図 (セザンヌ)	ハイビジョンミュージアム推進協議会

[8] 蔵書数一覧

	国内美術	国外美術	工芸	デザイン	教育普及	一般・その他	計
購入	1,617	2,129	728	881	336	334	6,025
寄贈	2,280	1,215	250	149	76	415	4,385
計	3,897	3,344	978	1,030	412	749	10,410

[9] 広報用印刷物制作

種 類	規 格	発行部数	発 行
館内のご案内(増刷)	A4判	10,000部	平成10年12月
展覧会のご案内1999-2000	21.0×8.5cm(21.0×42.5cm・5つ折り)	40,000部	平成11年 3月
施設のご案内	21.0×10.5cm(21.0×42cm・変形4つ折り)	40,000部	平成11年 3月
豊田市美術館NEWS Vol.4	A4判 (3つ折り)	2,000部	平成10年 9月
豊田市美術館NEWS Vol.5	A4判 (3つ折り)	5,000部	平成10年11月
常設展ギャラリーガイド	変形A4判 (3つ折り)	6,000部	平成10年10月
ギャラリーニュース	A4判 (3つ折り)	2,000部	平成11年 3月

[10] 小・中学校美術館学習

市内すべての小学6年生と中学2年生を対象に実施。小学校52校は、平成10年9月～12月、中学校20校は平成11年1月～2月に来館し、合計8,177人の児童・生徒が常設展を観覧した。

●学習プログラム

- ①施設と主な作品の説明 (10分)
- ②観覧マナーの説明 (5分)
- ③「豊田市美術館紹介ビデオ」上映 (10分)
- ④観覧 (クラス単位で行動/60分)

[11] 博物館実習

・実習期間 平成10年8月5日(水)～11日(火)
※土・日曜日を除く。計5日間
午前10時30分～午後5時

・カリキュラム

	実 習 内 容
1日目	ガイダンス、館内見学
	美術館の役割 豊田市美術館の収集活動
	企画展の立案から実施
2日目	美術館教育及び普及活動 美術品の取扱い・保存・展示
	〃
3日目	美術館の管理 運営 作品調査
	作品調書作成
4日目	作品調書提出
	図書整理
5日目	実習のまとめ

・実 習 生 10人(9大学)

利用実績

[1] 観覧者数

①月別観覧者数

(人)

年 月	企 画 展			常 設 展		
	日数	観覧者数	1日平均	日数	観覧者数	1日平均
10 4	9	1,129	125	26	1,255	48
5	28	5,174	185	28	626	22
6	18	4,459	248	19	561	30
7	11	1,612	147	28	1,738	62
8	26	6,070	233	26	267	10
9	26	5,403	208	26	741	29
10	27	3,859	143	27	2,318	86
11	26	3,699	142	26	2,105	81
12	18	1,816	101	21	446	21
11 1	0	—	—	24	3,303	138
2	0	—	171	24	5,905	246
3	2	255	128	27	4,390	163
合 計	191	33,476	175	302	23,655	78

※3月の企画展は、常設特別展示・宮脇綾子アブリケ展に係わる数字である。

②年度別観覧者数

(人)

年 度	企 画 展			常 設 展			合 計		
	日数	観覧者数	1日平均	日数	観覧者数	1日平均	日数	観覧者数	1日平均
7年度	57	50,600	888	119	20,881	175	119	71,481	601
8年度	148	59,858	404	311	36,444	117	311	96,302	310
9年度	235	35,479	151	302	29,686	98	302	65,165	216
10年度	191	33,476	175	302	23,655	78	302	57,131	189
合 計	631	179,413	284	1,034	110,666	107	1,034	290,079	281

※平成7年11月11日開館

※平成8年7月23日(218日目)来館者10万人達成

※平成9年11月9日(621日目)来館者20万人達成

③観覧者・ギャラリー等入場者累計

(人)

年 度	観覧者数	ギャラリー入場者	合 計
7年度	71,481	—	71,481
8年度	96,302	23,581	119,883
9年度	65,165	18,089	83,254
10年度	57,131	22,696	79,827
合 計	290,079	64,366	354,445

④企画展観覧者数

開 催 期 間	展 覧 会 名	日数(日)	観覧者数(人)	1日平均(人)
平成10年4月21日～10年6月21日	デ・スタイル展	55	10,762	196
10年7月21日～10年9月23日	なぜ、これがアートなの?展	56	11,749	210
10年9月8日～10年11月8日	ヴァチカン美術館展	54	11,104	206
10年10月20日～10年12月20日	ジャン・アルプ&ゾフィー・トイベル=アルプ展	55	6,094	111
11年3月30日～11年3月31日	宮脇綾子アブリケ展	2	255	128

※1=7月20日の開会式招待者の人数を含む

※2=常設展特別展示、開催期間は11年5月16日まで

[2] ギャラリー利用状況

開催期間	日数(日)	展覧会名	主催者	種別	入場者数(人)
平成10年3月31日～4月12日	12	横江栄一20代展	横江栄一	日本画	522
4月14日～4月26日	12	97-01#2展	井上トモヒロ	平面、立体	496
4月28日～5月10日	13	平田隆宏展	平田隆宏	平面、立体	734
5月12日～5月17日	6	第4回三河・名古屋形象派展	三河形象派	洋画	527
5月20日～5月31日	11	GLASS-MEDIA展	グラスアート協会	ガラス作品	1,135
6月2日～6月14日	12	日本の山岳写真展	「日本の山岳写真80年」実行委員会	モノクロ写真	4,434
6月16日～6月21日	6	SCENES 1998展	猿渡重雄	抽象絵画	537
8月28日～8月30日	3	能装束展	豊田市	能装束の展示	631
11月17日～11月23日	7	第1回豊田市障害者作品展	豊田市	絵画、工芸他	997
12月1日～12月6日	6	NEWCOMERS展	成瀬広子	絵画、彫刻他	510
12月8日～12月13日	6	三浦篤正作品展	三浦篤正	絵画	311
12月15日～12月20日	6	中條直人展	中條直人	平面	386
平成11年1月5日～1月10日	6	第6回私にも描きました展	キミ子方式を楽しむ会	水彩画	783
1月26日～2月14日	18	第48回豊田美術展	豊田市	工芸、書道	4,141
2月16日～2月21日	6	伊藤よし子個展	伊藤よし子	洋画	991
合計			15件		17,135

※第48回豊田美術展の日本画、洋画、写真、彫塑、グラフィックの部門は、展示室8で開催(入場者数5,561人)

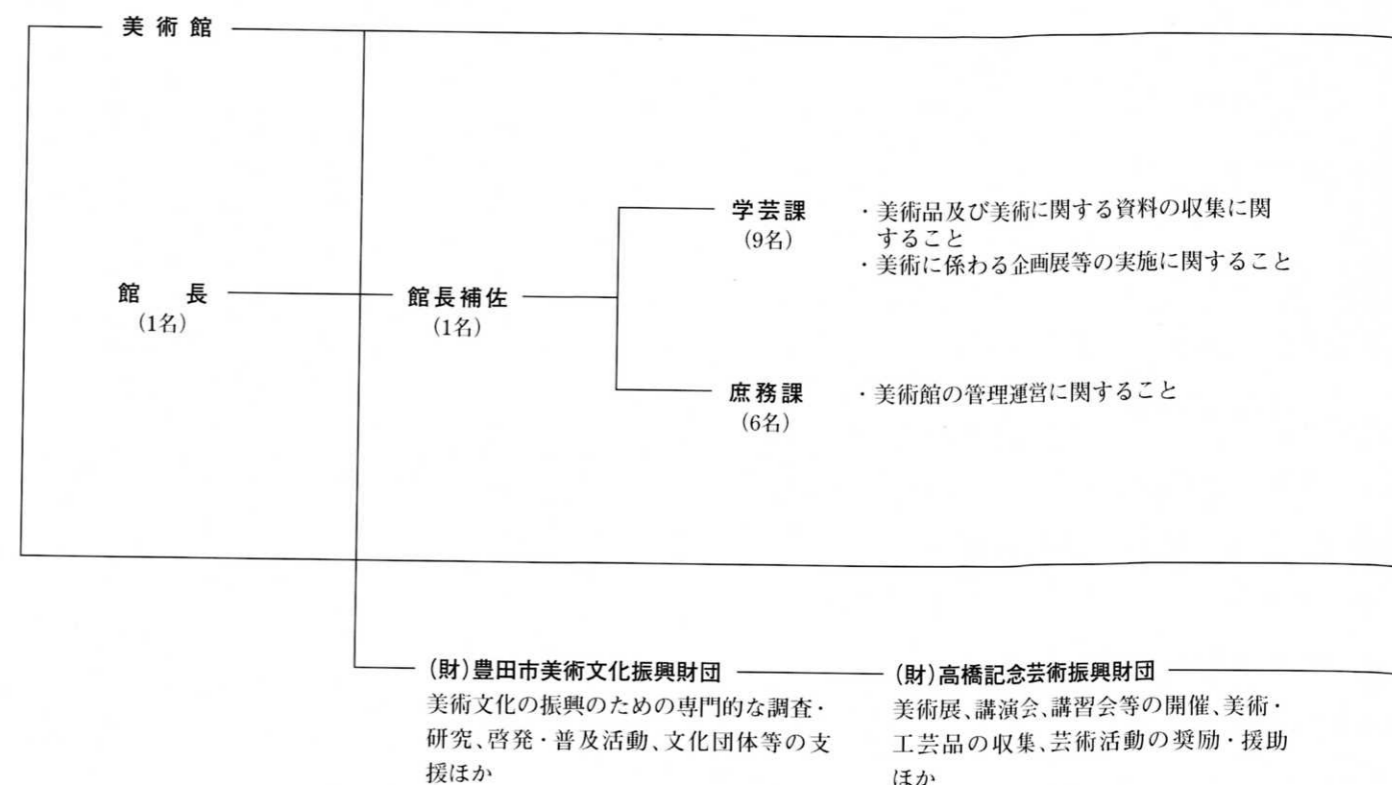
[3] 図書閲覧室

年 月	利用人数
平成10年4月	197人
5月	426人
6月	320人
7月	260人
8月	450人
9月	422人
10月	349人
11月	322人
12月	181人
平成11年1月	186人
2月	387人
3月	398人
合計	3,898人
1日平均	13人



組織

[1] 組織図 ※平成10年4月1日現在



※美術館の職員は、教育委員会の権限に属する次の事務を補助執行する。

- ・豊田市美術館の利用に関する事
- ・豊田市美術館の管理運営に関する事
- ・美術品及び美術に関する資料の収集、保管及び展示に関する事
- ・美術の調査研究に関する事
- ・美術の啓蒙に関する事

※(財)豊田市美術文化振興財団及び(財)高橋記念芸術振興財団の事務局は、豊田市美術館内に置き、美術館の職員は両財団の業務を兼務する。

[2] 美術品選定委員会

①委員 6名 ※平成10年4月1日現在

②平成10年度委員会開催実績

第1回／平成10年7月3日(金)
第2回／平成10年12月2日(水)

[3] 美術館ボランティア

高齢者や障害者が気軽に来館できるように、1階エントランスに常時一人以上のボランティアが待機し、介助や案内を行った。

①制度開始 平成7年11月

②登録人数 43人 ※平成10年4月1日現在

③活動内容 ・高齢者及び障害者等の介助、誘導
・館内の案内(作品の解説は除く)
・庶務業務の補助ほか

④活動方法 活動する日数、時間は自由とし、毎月25日までにボランティア控室にある翌月の活動予定表にボランティアが各々予定を記入し、予定表に従って活動する。

[4] 作品ガイドボランティア

①制度開始 平成9年7月

②登録人数 24人 ※平成10年4月1日現在

③活動内容 常設展、企画展のギャラリー・トーク(作品ガイド)

④活動方法 a.平日
ボランティアの活動日に来館者の要望により随時行う。
b.土・日曜日、祝日
午後2時から行う。来館者へは、案内看板と館内放送で周知する。

関係法規

豊田市美術館条例

(趣旨)

第1条 この条例は、博物館法(昭和26年法律第285号)第18条の規定に基づき、豊田市美術館の設置及び管理に関し、必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 美術に関する市民の知識及び教養の向上を図り、市民文化の発展に寄与するため、豊田市美術館(以下「美術館」という。)を豊田市小坂本町8丁目5番地1に設置する。

(事業)

第3条 美術館においては、次に掲げる事業を行う。

- (1) 美術品及び美術に関する資料(以下「美術品等」という。)を収集し、保管し、及び展示すること。
- (2) 美術に関する専門的な調査研究を行うこと。
- (3) 美術に関する解説書、図録、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- (4) 美術に関する講演会、講習会等を開催すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、美術館の設置目的を達成するため、教育委員会が必要と認めた事業。

(観覧料)

第4条 美術館が主催して展示する美術品等を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納付しなければならない。ただし、次に掲げる者は、この限りでない。

- (1) 小学校就学前の者
- (2) 常設展示を観覧しようとする中学生及び小学生又はこれらに準ずる者

(利用の許可)

第5条 別表第2に掲げる施設(以下「施設」という。)を利用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

- 2 学術研究等のため、美術品等の撮影、模写、模造、熟覧等(以下「美術品等の利用」という。)をしようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。
- 3 教育委員会は、美術館の管理上必要があると認めるときは、前2項の許可に条件を付することができる。

(利用の不許可)

第6条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、施設の利用及び美術品等の利用を許可しない。

- (1) 利用目的に違反すると認めるとき。
- (2) 商業宣伝、営業等の行為が主たる目的であると認めるとき。
- (3) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認めるとき。
- (4) その他管理上支障があると認めるとき。

(許可の取消し等)

第7条 教育委員会は、第5条第1項又は第2項の規定により許可を受けた者(以下「利用者」という。)が次の各号のいずれかに該当するときは、又は公益上特に必要があると認めるときは、許可を取り消し、利用の中止若しくは停止を命じ、又は許可に付された条件を変更することができる。

- (1) この条例又はこれに基づく教育委員会規則の規定に違反したとき。
- (2) 許可に付された条件に違反したとき。
- (3) 偽りその他不正な手段により許可を受けたとき。
- 2 前項の規定による許可の取消し等によって利用者に損害が生じた場合においても、市は、その責めを負わないものとする。

(使用料)

第8条 利用者(第5条第1項の規定により許可を受けた者に限る。)は、許可を受けたときにおいて、別表第2に定める使用料を納付しなければならない。

(観覧料等の減免)

第9条 市長は、特別の事由があると認めるときは、観覧料及び使用料を減免することができる。

(観覧料等の不還付)

第10条 既納の観覧料及び使用料は、還付しない。ただし、市長において特別の事由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

(権利の譲渡等の禁止)

第11条 利用者は、その利用の権利を他に譲渡し、又は転貸してはな

らない。

(設備の承認及び原状回復)

第12条 利用者は、その利用に際して特別の設備をしようとするときは、あらかじめ教育委員会の承認を受けなければならない。

- 2 利用者は、前項の規定により特別の設備をしたときは、利用後速やかに原状に回復しなければならない。
- 3 利用者が前項の義務を履行しないときは、市がこれを代行し、その費用を利用者から徴収することができる。

(入館の制限)

第13条 教育委員会は、美術館内の秩序を乱し、又は乱すおそれがあると認めるときは、入館を拒絶し、又は退館を命ずることができる。

(損害賠償)

第14条 美術館の入館者及び利用者は、故意又は過失により建物、附属設備又は物品を破損し、又は滅失したときは、その損害を賠償しなければならない。ただし、市長が損害を賠償させることが適当でないとき認めるときは、この限りでない。

(委任)

第15条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附則

(施行期日)

1 この条例は、平成7年11月11日(以下「施行日」という。)から施行する。

(準備行為)

2 この条例の規定に基づく利用許可の申請その他の準備行為は、施行日前においても行うことができる。

別表第1(第4条関係)

豊田市美術館観覧料

区 分	単 位	観 覧 料 (円)		
		個 人	20人以上の団体	
常設展示	一 般	1人1回	300	250
	大学生又は高校生	1人1回	200	150
常 設 特 別 展 示	1人1回	2,000円以内で市長がその都度		
企 画 展 示	1人1回	定める額		

備考

- 1 「一般」とは、満15歳以上の者(「大学生又は高校生」及び中学生又はこれに準ずる者を除く。)をいう。
- 2 「大学生又は高校生」とは、大学、短期大学、高等学校、高等専門学校若しくは専修学校に在学する学生若しくは生徒又はこれらに準ずる者をいう。

別表第2(第5条、第8条関係)

豊田市美術館使用料

1 ギャラリー使用料

区 分	利用目的	単 位	使 用 料 (円)
ギ ャ ラ リ ー	美術に関する展覧会等の開催	1 日	12,000

2 茶室使用料

区 分	利用目的	使 用 料 (円)		
		午 前 (9:00~13:00)	午 後 (13:00~17:00)	夜 間 (17:00~21:00)
茶 室	茶会の開催	5,000	5,000	5,000

豊田市美術館管理規則

(趣旨)

第1条 この規則は、豊田市美術館条例（平成7年条例第1号。以下「条例」という。）第15条の規定に基づき、豊田市美術館（以下「美術館」という。）の管理に関し、必要な事項を定めるものとする。

(開館日及び開館時間)

第2条 美術館の開館日は、次に掲げる日を除く日とする。

(1) 月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日当たる日を除く。）

(2) 12月28日から翌年1月4日まで

2 美術館の開館時間は、午前10時から午後5時30分までとする。ただし、茶室にあっては、午前9時から午後9時までとする。

3 前項の規定にかかわらず、美術館が主催して展示する美術品等（条例第3条第1号に規定する美術品等をいう。以下同じ。）の展示会場（以下「展示会場」という。）へ入場できる時間（次項において「入場時間」という。）は、午前10時から午後5時までとする。

4 前3項の規定にかかわらず、教育委員会は、特に必要があると認めるときは、臨時に開館日、開館時間及び入場時間を変更することができる。

(観覧券の交付)

第3条 美術館が主催して展示する美術品等を観覧しようとする者（条例第4条各号に規定する者、第10条の規定により観覧料の全額を免除される者及び第11条に規定する優待券及び招待券により観覧しようとする者を除く。）は、観覧料の納付と引換えに豊田市美術館観覧券（様式第1号。以下「観覧券」という。）の交付を受けるものとする。

(観覧券の提示)

第4条 前条の規定により観覧券の交付を受けた者は、展示会場へ入場する際に当該観覧券を入口の係員に提示しなければならない。

(利用の手続)

第5条 条例第5条第1項の規定により施設の利用許可を受けようとする者又は同条第2項の規定により美術品等の利用許可を受けようとする者（以下「申請者」という。）は、豊田市美術館利用許可申請書（様式第2号。以下「申請書」という。）を教育委員会に提出しなければならない。

2 前項の場合において、条例第5条第2項の美術品等の利用の申請者は、利用しようとする美術品等が寄託されたものであるときは当該寄託者の同意を得た書面を、他に著作権者があるものであるときは当該著作権者の同意を得た書面をそれぞれ必要に応じて添付しなければならない。

3 申請者は、前2項の申請書その他必要な書面を別表第1に定める区分に従い同表に掲げる期間内に提出しなければならない。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、この限りでない。

(利用許可書の交付)

第6条 教育委員会は、利用を許可したときは、豊田市美術館利用許可書（様式第3号。以下「許可書」という。）を申請者に交付する。

(利用期間)

第7条 施設を引き続き利用することのできる期間（以下「利用期間」という。）は、12日間とする。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、この限りでない。

2 利用期間には、休館日を含めないものとする。

(利用の変更)

第8条 利用許可を受けた者（以下「利用者」という。）は、許可書に記載された事項を変更しようとするときは、豊田市美術館利用変更許可申請書（様式第4号）に許可書を添えて教育委員会に提出し、その許可を受けなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定により利用の変更を許可したときは、豊田市美術館利用変更許可書（様式第5号。以下「変更許可書」という。）を利用者に交付する。

3 前項の規定により利用の変更を許可された場合において、既納の使用料の額が変更後の使用料の額に対して不足額を生じるときは、利用者は、直ちに当該不足額を納入しなければならない。

(利用許可の取消し)

第9条 利用者は、許可の取消しを受けようとするときは、豊田市美術

館利用許可取消申請書（様式第6号）に許可書又は変更許可書を添えて、教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定により許可を取り消したときは、豊田市美術館利用許可取消通知書（様式第7号）を利用者に交付する。

(観覧料等の減免)

第10条 条例第9条の規定により観覧料及び使用料を減免することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

(1) 豊田加茂広城市町村圏内の中学校若しくは小学校又はこれらに準ずる学校の教育課程に基づく教育活動の一環として生徒又は児童の引率者が美術館の常設展示を観覧しようとする場合 観覧料の全額

(2) 豊田加茂広城市町村圏内の高等学校又はこれに準ずる学校の教育課程に基づく教育活動の一環として生徒及びこれらの者の引率者が美術館の常設展示を観覧しようとする場合 観覧料の全額

(3) 豊田加茂広城市町村圏内に住所を有する者で次に掲げる手帳のいずれかの交付を受けているもの及びその介添者が当該手帳を係員に提示し確認を受けて美術館の常設展示を観覧しようとする場合 観覧料の全額

ア 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項に規定する身体障害者手帳

イ 戦傷病者特別援護法（昭和38年法律第168号）第4条に規定する戦傷病者手帳

ウ 厚生大臣の定めるところにより交付された療育手帳

(4) 豊田加茂広城市町村圏内に住所を有する者で次に掲げる証書のいずれかの交付を受けているものが当該証書を係員に提示し確認を受けて美術館の常設展示を観覧しようとする場合 観覧料の全額

ア 老人保健法施行規則（昭和58年厚生省令第2号）第5条に規定する医療費受給者証

イ 市町村が実施する母子家庭等医療費支給事業において当該母子家庭等医療費の受給者に対し交付する受給者証

(5) 市又は市の機関が主催し、又は他の団体と共催する行事に施設を利用する場合 使用料の全額

(6) その他教育委員会が特別の事由があると認めた場合 その都度教育委員会が定める額

2 前項（第3号及び第4号を除く。）の規定により観覧料の減免を受けようとする者は観覧日の前7日までに豊田市美術館観覧料減免申請書（様式第8号）を、使用料の減免を受けようとする者は第5条第1項に規定する申請書の提出に併せて豊田市美術館使用料減免申請書（様式第9号）を教育委員会に提出しなければならない。ただし、教育委員会が特に必要ないと認めるときは、この限りでない。

3 教育委員会は、観覧料の減免申請を承認したときは豊田市美術館観覧料減免承認書（様式第10号）を、使用料の減免申請を承認したときは豊田市美術館使用料減免承認書（様式第11号）を交付する。

(優待券等)

第11条 教育委員会は、特に必要があると認めるときは、優待券又は招待券を発行することができる。

(観覧料等の還付)

第12条 条例第10条ただし書の規定による観覧料及び使用料の還付は、別表第2に定める基準によるものとする。

(利用責任者)

第13条 利用者は、美術館の施設及び美術品等の利用に係る規律を保持するため、あらかじめ利用責任者を定めておかななければならない。

(事前打合せ)

第14条 利用者は、事前に係員と利用方法その他必要な事項について打合せを行わなければならない。ただし、教育委員会が特に必要ないと認めるときは、この限りでない。

(利用後の届出等)

第15条 利用者は、利用が終わったときは、直ちにその旨を届け出て、係員の点検を受けなければならない。

(利用者の遵守事項)

第16条 利用者は、次に定める事項を守らなければならない。

(1) 利用許可を受けていない施設及びその附属設備並びに美術品等の利用をしないこと。

(2) 次条各号に規定する行為をしないこと。

(3) 施設の利用に当たっては、入場者の安全確保の措置を講じ、及び入場者に次条各号に規定する行為をさせないこと。

(4) 美術品等の利用に当たっては、美術品等の保存に悪影響を与え、及び観覧者の観覧に支障を来す行為をしないこと。

(5) 係員の指示に従うこと。

(入館者の遵守事項)

第17条 入館者は、次に定める事項を守らなければならない。

(1) 施設及びその附属設備並びに美術品等を汚損し、又は損傷するおそれのある行為をしないこと。

(2) 図書閲覧室その他館内の所定の場所以外で図書、文献その他の閲覧等をしないこと。

(3) 所定の場所以外で飲食又は喫煙をしないこと。

(4) 騒音又は大声を発する等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。

(5) 他人に危害又は迷惑を及ぼすおそれのある物品又は動物を持ち込まないこと。

(6) 許可を受けないで美術館内及び敷地内において物品を販売し、又は金品の募集等の行為をしないこと。

(7) その他美術館の運営に支障を来す行為をしないこと。

(委任)

第18条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附則

(施行期日)

1 この規則は、平成7年11月11日（以下「施行日」という。）から施行する。

(準備行為)

2 この規則の規定に基づく利用許可の申請その他の準備行為は、施行日前においても行うことができる。

別表第1（第5条関係）

利用申請期間

利用区分	期 間	
施設の利用	ギャラリー	利用日の属する月が1月から3月までの場合 前年の1月5日から1月31日までの間
		利用日の属する月が4月から6月までの場合 前年の4月1日から4月30日までの間
	茶 室	利用日の属する月が7月から9月までの場合 前年の7月1日から7月31日までの間
		利用日の属する月が10月から12月までの場合 前年の10月1日から10月31日までの間
美術品等の利用	利用日の属する月の前6月から利用日までの間	

備考 引き続き2日以上利用しようとする場合の「利用日」とは、その最初の日をいう。

別表第2（第12条関係）

観覧料還付の基準

区 分	還 付 率
災害その他観覧料を納付した者の責めに帰すことができない事由によって観覧ができなくなった場合	100%
その他教育委員会が特別の事由があると認めた場合	その都度教育委員会が定める還付率

使用料還付の基準

区 分	還 付 率
災害その他利用者の責めに帰すことができない事由による取消し	100%
利用日前30日までに取消申請がなされた場合	90%
利用日前20日までに取消申請がなされた場合	60%
利用日前10日までに取消申請がなされた場合	30%
その他教育委員会が特別の事由があると認めた場合	その都度教育委員会が定める還付金

沿革

- 昭和54 (1979)年 7月 市民意識調査で、市民の20%が美術館の建設を望む結果
- 59 (1984)年 3月 第4次豊田市総合計画 (1984—1990) の文化施設整備で、(仮称) 豊田市美術館の建設を発表
- 平成2 (1990)年 4月 (仮称) 豊田市美術館構想委員会を設置
- 3 (1991)年 3月 (仮称) 豊田市美術館構想委員会が(仮称)豊田市美術館構想を答申
- 4月 (仮称) 豊田市美術館美術品収集委員会 (平成6年8月に同選定委員会に改称) を設置
- 9月 (仮称) 豊田市美術館・高橋節郎記念館基本計画を策定
- 4 (1992)年 3月 (仮称) 豊田市美術館建設基本設計を策定
- 5 (1993)年 3月 (仮称) 豊田市美術館建設実施設計を策定
- 6月 建設工事着工
- 10月 ヴァチカン美術館との友好交流提携に調印
- 7 (1995)年 3月 豊田市美術館条例公布
- 6月 建設工事竣工
- 11月 豊田市美術館開館
- 8 (1996)年 7月 入館者10万人を達成
- 9 (1997)年11月 入館者20万人を達成
- 10 (1998)年 4月 博物館登録

豊田市美術館年報No.3 (平成10年度)

2000年3月31日発行

編集・発行：豊田市美術館

〒471-0034 愛知県豊田市小坂本町8丁目5番地1

Tel.0565-34-6610 (代表)

制作：東名印刷株式会社
